



TEAM GUIDE
チームガイド
&
国際大会開催
報告
REPORT

ASIA UNIVERSITY TENNIS TEAM



Mens Future & Womans Cup 2017

亞細亞大学
テニス部

武藏野キャンパス 紹介

ここで勉強します!

最寄り駅はJR中央線の武蔵境駅です。基本的に授業は武蔵野キャンパスで行なわれます。学生に必要な設備はすべて整っており、勉強に関して困ることはありません。テニス部の場合、平日はここで授業を受けて、終了後、日の出キャンパスに移動して練習します。



3号館



1号



2号館



屋上庭園



太田耕造記念館(図書館)



展示雑誌コーナー



総合研究館



8号館(国際交流会館)



5号館



オープンPCフロア



AVゴーフ



アクセス

武藏境駅まで

- ・「新宿駅」から約20分、「東京駅」から約35分（JR中央線利用）
 - ・「大宮駅」から約50分（JR中央線、埼京線利用）

武藏境駅からキャンバスまで

 - 北口から徒歩12分
 - 北口から小田急バス「境21」「団地上水端（団地入口経由）」で「亞細亞大学北」下車、徒歩1分
 - 北口からムバースで「境5丁目」または「亞細亞大学南門」下車、徒歩0分
 - 西武新宿線「田無駅」北口から西武バス「武藏境行」で「武藏境駅」（終点）下車、徒歩12分

日本テニスの育成には大きな課題があります。ひとつは18歳以上の強化です。多くのジュニアや高校生は、指導者や親とともに夢と希望をもってテニスに取り組んできています。テニスは決して18歳までに完成することができない、奥の深いスポーツですが、それを18歳以上でどのように磨くかが日本テニス最大のテーマのはずです。ということは、大学の役割は非常に大きく、特に重要なのが指導力です。選手が転戦するだけでは身につかないもの、または、それ以上のものを大学が提供できなければ意味がありません。

次に重要なのが環境の強化です。関東の大学では春闘（関東学生）、夏闘、新進戦、リーグ戦と4つの大会のみです。全国大会はインカレ、インカレ・インドア、大学王座の3つの大会です。これらの大会は同世代だけが参加します。しかし、実は戦う相手はもっと別の世界にもいます。知っている人と戦うことよりも、まったく知らない人と戦うことがどれだけ人をワクワクさせるでしょうか。大学4年間であらゆる世代やレベルや地域を越えたテニスを体験し、挑むことほど、素晴らしいものはありません。自分が今までつくり上げたテニスを試す“最高ステージ”は、大学テニスの世界以外にあるのです。

当然、「負け」や「失敗」が付きまとい、自分を見失うこともあることでしょう。しかし、「負け」を嫌い、「失敗」をたくさんしない学生が、いつどうやってそこから這い上がる精神を身につけることができるでしょうか。私は学生こそ

「失敗することが仕事」だと思っています。そこからしか創意工夫や独創性は生まれてきません。

能力があるにもかかわらず、挑戦を恐れ、安全で安定な道にすがっている精神のテニスには、困難を乗り越える力が備わりません。いつかラケットを置いたときに、就職したときに残るのは、テニスの技術や記録だけではなく、未知を乗り越えてきた精神力であってほしいのです。

私はその一環として、アメリカの大学との対抗戦、韓国体育大学との交流合宿を行なってきました。1月のオーストラリアン・オープン観戦では「これが本物」と感じることができます。そして、いまは春に男女の国際テニス大会（1万ドル）を学内で開催しています。学生主体のこの大会は、まさに選手しか経験のない学生たちに、テニスへの取り組み方から、技術、体力、精神力、戦術、歴史、経済、経営、哲学にいたるすべてを、外国選手やスポンサー、観客など、テニスにかかわる人々から学ばせてもらっています。国際大会は最高のコーチングになっているのです。

初めは国際大会レベルのパワーやスピードや意識の違いに弾き飛ばされていたものの、徐々にそれに近づくための行動が起こってきました。「機会」が学生を育てていることを実感します。国際大会という環境は学生に大学テニスに明け暮れる=守りの伝統を、攻める「機会」へと発展させていることは間違ひありません。

私は亞細亞大学に奉職して25年になりますが、冒頭の理想には残念ながらまだ到達しません。それでも、これまで

理想に向かっていっしょに闘った多くの学生たちや卒業生には感謝しています。永遠にチームは完成できないかもしれません。しかし、向上に悩める学生に出会ったときには、自分の未来を信じて戦う意思がある学生と出会ったときには、いっしょに青春時代を闘いたい。私は自らの可能性を信じる本気の選手を歓迎します。

テニスは18歳までには決して完成しません。
自らの可能性を信じて
未来に向かって挑戦する
本気の選手を歓迎します。

堀内昌一

（亞細亞大学教授 / テニス部監督）



日の出キャンパス 紹介

ここがテニス部のホームです!

最寄り駅はJR五日市線「武蔵引田」駅です。ここにはテニスコートをはじめ、野球場、サッカー場、陸上トラックなど、スポーツ関係の研究施設があります。屋外競技のクラブは主にここで練習をします。



テニスコート

ハードコート8面と砂入り人工芝コート2面の合計10面のテニスコートがあります。面数が多いので、少人数で効率よく、充実した練習ができます(全面ナイター完備)。



日の出 キャンパス 案内図



トレーニングセンター

機材が整っており、学生はいつでも自由に利用することができます。夜遅くまで筋トレをしている学生もいます。トレーニングルームに隣接して鏡張りの大きな部屋があり、雨の日でもラダーなどのフィールドトレーニングを室内で行なうことができます。

クラブハウス

2010年に完成しました。男子部室、女子部室、監督・コーチ室のほか、ユーティリティーがあります。ユーティリティーでは、全体ミーティングを行なうほか、テレビやスライドを使って映像の確認や勉強会を行なっています。



セミナーハウス(宿泊施設)

テニス部は、12月の年末合宿、2、3月の強化合宿、国際大会開催期間などに利用します。また、他校の学生が練習に訪れているときに宿泊することもあります。施設内には大広間もあり、ミーティングや講義が行なわれます。

※学生2000円、ビジター3000円(朝夕食付)

アクセス

武蔵引田駅まで

- ・「新宿駅」から約90分、「東京駅」から約100分(JR中央線、青梅線、五日市線利用)
- ・「大宮駅」から約120分(JR埼京線、川越線、八高線、五日市線利用)
- ・武蔵引田駅から日の出キャンパス「亞細亞大学セミナーハウス」まで
- ・武蔵引田駅の改札口は北口1ヶ所、下車後、踏切まで戻り、北(左)に向かって徒歩7分

所在地

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井1449-1 TEL042-597-0714



私たち、平成29年度亜細亜大学硬式庭球部は男女共に毎年10月に行われる全日本大学対抗王座決定試合（王座）で優勝することを目標に日々活動しています。昨年、男女共に関東大学テニスリーグ1部で戦い、男子は6位、女子は4位という成績を収めました。男子は最下位の6位の為2部リーグに所属している大学と入れ替え戦となり、昨年は筑波大学と対戦。私もレギュラーとして戦い単複通算6対3で勝利し1部残留を決めました。しかし、私たちの目標としている王座優勝を成し遂げるには関東大学テニスリーグ1部で上位2校に入る必要があります。同リーグには早稲田大学や慶應義塾大学、明治大学などの強豪校が所属していますが、私は必ず王座優勝を成し遂げられると信じています。なぜなら、亜細亜大学にはハードコート8面、オムニコート2面全部で10面のテニスコートという好環境と堀内昌一監督をはじめ森稔詞コーチ、宮崎靖雄コーチが指導にあたって下さりコーチングの面でも充実しているからです。しかし、亜細亜大学では常に答えを与えられる存在になるのではなく、自らが考え方行動していける人間を育てることをモットーにしています。なので、私を含めた4年生が中心となり練習メニューからトレーニングメニューなどを考えており、どのようにすれば部活をより良くしていけるのか

試行錯誤しています。答えを与えられず迷うこともあります、その迷いが自分自身をより大きな人間にしてくれていると私は思います。テニスは常に考えるスポーツでそれを一人で行わなければいけないのでこのような環境で過ごせていることはとても良いことだと感じますし、テニス以外の面でも役に立っていると思います。それを学べる亜細亜大学は最高だと思います。

また、毎年3月にはプロテニスプレイヤーの登竜門といえる国際大会を男女共に開催しています。男子は11年目、女子は6年目の大会を終えました。この大会では、「機会」を大切にしています。大会を学生自ら資金を集めたり、様々なイベントを行って盛り上げたりして運営出来ている機会もそうですが、実際に大会に出場して自らを強くする機会や国内や国外からレベルの高い選手が来てくれるといった機会など様々です。そのような数々の機会を学生自ら拾い上げて自分のレベルアップに繋げていくのがこの国際大会です。

亜細亜大学では、テニスを通して人間力や社会性を向上させていくことが出来る環境が整っており、一緒に切磋琢磨していける仲間もいます。まずは、気軽に亜細亜大学硬式庭球部に体験に来てください。是非、私たちと一緒に高みを目指しましょう。



最高の環境、
最高の仲間
そんな大学テニスが
私を成長させて
くれました。
橋本大貴

(亜細亜大学硬式庭球部主将／4年)

入学案内 スポーツ推薦のご案内

(平成30年度)

亞 細亞大学のスポーツ推薦は「経営学部経営学科」「経済学部経済学科」「法学部法律学科」「国際関係学部国際関係学科」「国際関係学部多文化コミュニケーション学科」「都市創造学部都市創造学科」の5学部6学科があります。テニス部は30年度、「経済学部経済学科」「経営学部経営学科」「法学部法律学科」「国際関係学部国際関係学科」の4つから選択することができます。

テニス部には「経済学部」「法学部」「国際関係学部」「経営学部」のほか、「都市創造学部」の学生が在籍しています。

私たちの中には、スポーツ推薦入試だけでなく一般入試やAO入試、指定校推薦などで入部した学生もいます。みんなテニスが大好きな学生ばかりです。部員一同、みなさんの入部をお待ちしています。

亞細亞大学が求める学生像
募集するスポーツの技能に優れた将来性のある者

スポーツ推薦の詳細は亞細亞大学HPにてご確認ください



亞細亞大学

〒180-8629 東京都武蔵野市境5-24-10
入試課直通 TEL0422-36-3273

<http://www.asia-u.ac.jp/>

e-mail:nyushi@asia-u.ac.jp



1

995年卒業の宮地弘太郎です。私の同期には、昨年引退した本村剛一プロと2つ下に岩渕聰プロがおり、柳川高校時代から良きライバルでした。

彼らはプロの道を選択し、私は大学進学の道を選択。亞細亜大学入学当初から、「大学テニスに留まらない競技生活を送る」ことをテーマに4年間を過ごしました。

なぜ亞細亜大学に進学したのか——亞大には日本のトップジュニアが多数在籍しており、大学を経由して世界を目指す集団、大学からプロを目指せるというイメージが定着していたことに加え、大学テニスのパイオニアでもある堀内先生の「大学はさらなる飛躍に挑戦する場所であり、大学からグランドスラムに挑戦する」という考えに共感したからです。

卒業後、さまざまな企業のサポートを受け、約8年間プロテニス選手として、ATPランキング100位を目指し、世界を転戦しましたが、目標に到達することはできませんでした。

その後、28歳で現役を引退し、指導者の道へ進むことを決意しました。そこで主たる研究テーマは、硬式テニス（球技／対人／ネットラケット型）のゲーム分析（エリート選手、大学生選手の技術や戦術の様相）や、競技特性に応じた体力組成の分析により効果的な指導方法論を導き出し、大学生選手の技術に関しては総合的研究を行ない、ドリルの効果も検討していくことを目指しました。

選手から研究者へという転身は、テニス選手では珍しく、テニス漬けで過ごした私がその道に進むことに周りは驚いて

いましたが、当の本人は、これから新たな人生に向けて30歳手前ながら、胸ときめいていました。私の強みは、実体験で得た知見や、経験で培った実技ですが、現在大学テニスを指導する上でのテーマは、主観的コーチング+客観的コーチングです。テニスは日々進化し、トレーニング方法も年々変容してきています。現場+研究からの知見を学生にフィードバックし、大学生からでも世界を目指せる環境整備や、大学テニスの醍醐味を学生に伝えていくことが私の使命ではないかと考えています。

近年、残念なことは高校生プレーヤー、大学生プレーヤーに夢がないことです。大学進学のための『テニス』ではなく、夢の実現のための『テニス』でしょう。私の夢は“日本のテニスを自分が変える！”ことでした。日本のテニスを変える=大学出身者がグランドスラムに出場すること。そのためには、大学や国内一般の試合だけに留まらず、海外ヘトライし、さまざまなプレーヤーと対戦し、自分のスタイルを確立することです。いま日本のテニスは世界と拮抗しています。錦織圭選手、添田豪選手、伊藤竜馬選手と世界のトップ選手=「テニスで飯が見える」時代に突入してきました。これは、先を見据えたJTAの強化活動の成果だと思います。私はいまこそ、大学テニスプレーヤーがそこに食い込んでいく絶好のタイミングと考えています。

亞細亜大学時代に培われたもの——『考える』ことが『人間を成長させる』ことに繋がり、上達に『近道』ではなく、強くなるには『人と違うこと』を『人の倍努力する』ということを学びました。高校生のみなさん、大学生活はあつという間です。『夢』を持って『夢』の実現に向けて精進してください。

**学生時代の私の夢は“日本のテニスを変える!”ことでした。
いまは大学出身者がグランドスラムに出場する—
その夢をもって指導しています。**

宮地弘太郎

(大阪体育大学専任教授)

みやち・こうたろう◎1974年2月18日生まれ。広島県出身。柳川高校卒。91年インターハイ団体準優勝、単ベスト8、複ベスト4。92年亞細亜大学に入学。93、95年インカレ優勝。94年全日本準優勝。95年ユニバーシアード銅メダル獲得(27年ぶり)。卒業後プロ転向し、ジャパンオープン・ベスト16。99年全豪予選決勝敗退。元デ杯日本代表。ATP最高位は303位(98年7月)、JOP3位。03年に現役を引退し、日本体育大学大学院を経て、07年4月から現職。ユニバーシアード男子監督。S級エリートコーチ





井藤祐一

(ライフ・エヌ・ピー/17年亜細亜大学国際オープンテニスシングルスベスト16)

いとうゆういち◎1986年8月6日。30歳。大阪府八尾市出身。八尾市立八尾中、清風高卒。10年亜細亜大学国際オープンシングルス優勝。15年亜細亜大学国際オープンダブルス準優勝。16年昭和の森オープンテニスダブルス優勝、インドフューチャーズダブルス優勝。ATP最高位シングルス325位(2010年7月)/ダブルス328位(2013年7月)

僕 がテニスと出会ったのは、両親の趣味がテニスだったこともあり、6歳の時です。テニススクールに週一回通い始めましたが、一年後に友達と遊びたいからという理由でテニスから離れました。テニスには不思議な魅力があるのか、僕の記憶にはないのですが、テニスから離れてから一年後、テニスをやらせて欲しいと両親にお願いをしたそうです。他にも水泳、野球といろんなスポーツを経験しましたが、テニスはボールを打ち合うだけでも楽しめるスポーツで年齢が離れていても誰とでもできる良いスポーツだと僕は思います。

僕がプロになったのは清風高校を卒業をしたあとで、その頃は亜細亜大学フューチャーズや他大学で、フューチャーズの試合はまだなかったと思います。大学フューチャーズシリーズを開催して頂くようになってから、海外遠征に行かないとポイントが取れない状況から国内でもポイントを取れるチャンスをもらうことができ、過去に亜細亜大学フューチャーズでは、優勝も一度することができました。優勝した年は、大学生に花道を作ってもらったり、時計にその日戦った時の写真を入れてくれたり、本当に温かい大会で、学生の皆様が朝も僕ら選手が来る前から準備をし、帰ってからも夜遅くまで、一生懸命運営をしてくれて、その中でテニスをさせてもらえるのは幸せです。

もう一つ、大学フューチャーズは学生の選手がいつでもヒッティングに応えてくれるので、練習もたくさんできる大会で嬉しいです。大学生が強くなっているのも年々感じるのと、国内で試合を見てもえることにもなりますし、僕達選手のモチベーションにもなります。スポンサーがつきにくい今、こうして大会を継続して頂き、今年はクリニックも参加させてもらったりと、地域一体となってテニスを盛り上げ、大会を継続してもらい、選手一同感謝しています。

僕は今年31歳になりますが、年齢はただの数字です。怪我でここ何年間は苦労しましたが、グランドスラムで活躍できる選手を目指し、まだまだ挑戦していきます。

堀内監督、森コーチ、亜細亜大学の皆様、スポンサーの皆様のおかげで、国内でプレーすることができ、僕、選手の夢を実現させる為にも今後も素晴らしい大会、亜細亜大学フューチャーズでplayしたいです。

充 実した一週間でした！

毎年、亜細亜国際オープンに出場させて頂いていますが、ATPポイントが取れずに敗退が続いていました。

しかし今年は違いました！日本国際大会シリーズ最初に行われる、この亜細亜国際オープンで優勝する事ができ、良いスタートダッシュを切ることができました。テニス界ではダブルスへの評価があまり高くはないですが、私はダブルスでグランドスラム出場が目標です。

グランドスラム出場する為に、ポイントを取得していく中でフューチャーズ大会に年間に何大会も出場していますが年々、スポンサー減少や資金関係で国際大会やその他大会が無くなっているのが現状です。しかし亜細亜国際オープンは毎年変わらず開催して頂き、選手にチャレンジする機会を与えて貰い本当に感謝しております。

また学生が主体として、練習コート案内やビデオ撮影等、様々な仕事をして下さいました。

女子の大会も含め2週間。準備も含めると2週間以上自分達の練習より、選手の為に動いて頂き大会を運営して頂きました。

学生を始めスタッフの皆様、ありがとうございました。

今回のダブルス優勝を機にさらにランキングを上げて、目標であるグランドスラム出場を目指して日々精進していきたいと思います。

今後も学生のフレッシュな雰囲気で明るい亜細亜国際オープンを是非継続して下さい！

長尾克己

(エキスパートシズオカ/17年亜細亜大学国際オープンテニスダブルス優勝)

なかおかつき◎1989年4月14日。28歳。和歌山県和歌山市出身。和歌山市立高橋中、長尾谷高、上武大卒。11年全日本学生テニスダブルス優勝。16年全日本テニス選手権ダブルス優勝、昭和の森オープンテニスダブルス優勝、軽井沢オープンダブルス準優勝、トルコフューチャーズダブルス準優勝。ATP最高位シングルス843位(2016年5月)/ダブルス437位(2017年4月)





高畠寿弥

(橋本総業ホールディングス/17年亞細亞大学国際テニス大会ダブルス優勝)

たかはた・ことみ◎1989年11月17日。27歳。静岡県浜松市出身。静岡県西遠女子学園中、長尾谷高、相愛大卒。15年全日本選手権ダブルス優勝。16年橋本総業有明国際テニスダブルス優勝、中国大連125Kダブルス優勝。17年亞細亞大学国際テニスダブルス優勝。WTA最高位シングルス562位(2010年10月)/ダブルス108位(2016年10月)

私が初めて亞細亞国際に出場したのは大学を卒業してプロ転向した1年目の年でした。卒業したばかりでランキングも高くなかったので、多くの人に出場のチャンスを与えてくれるこの大会に出るのを嬉しく思ったのを覚えています。

次の出場は2年後でした。ダブルスで準優勝をしてその年はランキンギを100位台まで上げることが出来た年で、1年の良いスタートとなりました。そして2年後の今年には、ダブルスで優勝する事が出来ました。このように、私にとって亞細亞国際はターニングポイントであったり、自分のテニスを確認出来たりする貴重な大会です。

また、この大会の大きな特徴は学生さんが運営してくれているということですが、手作りの選手紹介ボードや手書きのポスター、ビデオデータの配布などたくさんの工夫溢れる大会だと感じました。インタビュー記事等のメディア発信は一般の方々に私を知ってもらえる機会が増えて有難かったです！もっとお客様を呼べるように頑張らなければと思いました！笑

また学生さんと豊富に練習が出来、試合への準備がしやすいのもこの大会の特徴です。そして、表彰式後に花道を皆さんで作ってくれたのですが、そういった経験は初めてなので嬉しかったです。大会を運営する為に様々な取り組みをテニス部の皆さんでしていただいていると聞いています。おかげ様で1週間充実して戦う事ができました。

また、亞細亞大学さんは指導者の方、コート面数、トレーニング施設、練習相手、国際大会運営といった抜群の環境の中でテニスに取り組む事が出来、選手側だけではなく学生にもチャンスの場が開かれてると思います。

大学卒のプロとして、大学が国際大会を開いてくれる事に対して親近感を感じますし、国際大会が身近に行われる事により、大学のオリンピックであるユニバーシアードでの日本的大学生選手の活躍も期待が出来ると思います。

まだまだですが、私は大学卒からでもプロの世界で活躍できることを証明したいと思っています。このようなたくさんのチャンスを与えてくれることに感謝をして今期も邁進したいです。

この大会はシーズン最初の日本の国際大会で、1年ごとに自分がどれだけ成長したかが測れる大会です。1年目は予選WC選手権にも出場させていただきました。予選で6040から負けてしまい、プロの強さを味わいました。2年目は本戦で大学生選手と試合をし、その貴禄を感じました。3年目ではシングルスベスト4、ダブルス優勝という結果を残すことができました。そういう私にとって大事な大会のひとつです。

大学主催の大会は他の公認大会より手作りで、アットホームだと言われます。しかしそれはもちろんのこと、大学主催のほうが線審やボールボーイなど、テニスを熟知しているテニス部の方々が務めてくださるので、コートに立った選手としてはプレーがしやすいです。あうんの呼吸でコールをしたりボールを渡してくださいるので気持ちよくプレーに入れます。これがギクシャクすると意外に足元をすぐわれて、へんなところで気になってプレーにでることがあります。そんな何気無いリズムが影響します。そういう意味で、かえって大会の質は上のように思います。だから私は大学主催の国際大会が大好きです。

最初にプロの舞台に立つには、当然ポイントがないと大会に出たくても出られません。そこで私のような新米プロにはこの大会が欠かせません。そして私が思い出に残っているのは、大会に出場する権利を獲得できる2015年の予選WC選手権です。その予選WC大会当日は雨。しかも春の長雨。試合はどうしてもできません。そこでいよいよ参加選手によるくじ引きでWC選手を選出するということになりました。女子はくじ引きでシード選手が選ばれ、そんなに違和感がなかったのですか、男子は思わず方が選ばれたようで。国際大会の登録もしていない人で本人はびっくりしているし、周りの友達は大笑いしているし、「ぼく選ばれちゃったんだけど」と親御さんに電話している姿が忘れられなくて。彼にとってはこの予選WC大会で試合ができることが目的だったのでしょう。ジュニア選手にとって国際大会の予選WC大会だってそれだけの価値がある試合なのです。昨年の大会では同期の村松千裕選手と組んで、ダブルスで決勝まで進めることができました。ところが、決勝の日程は次の甲府で行われる国際大会の予選と重なっていました。そこで時間を遅らせてしまって15時スタートの試合となり、私は甲府で予選の試合を朝早くして、急いで日の出町に戻って試合を行いました。そしたらなんと、相手の選手もちょうど大学の卒業式で、試合スタートの時間を遅らせてもらうことをリクエストしていたのでした。そういう計らいをしていただき、ありがとうございました。決勝戦の入場では可愛いエスコートガールもいて、また表彰式も立派で、スピーチもさせていただき、私にとっては色々な意味で国際大会の登竜門としての経験を積ませていただいた大会です。

小堀桃子

(橋本総業ホールディングス/17年亞細亞大学国際テニス大会シングルスベスト4/ダブルス優勝)

こぼり・ももこ◎1998年8月22日。18歳。埼玉県所沢市出身。所沢市立東中、大成高卒。14年全日本ジュニアシングルス優勝。15年全国高校総体シングルス優勝。16年亞細亞大学国際テニスダブルス準優勝。17年亞細亞大学国際テニスシングルスベスト4、ダブルス優勝。WTA最高位シングルス523位(2017年4月)/ダブルス594位(2017年4月)



CONTENTS

大学案内

02 武蔵野キャンパス 04 日の出キャンパス 06 平成30年度入学案内

PART 1 部活動紹介

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 03 挨拶～堀内昌一(亜細亞大学教授 / テニス部監督) | |
| 16 部活の素晴らしさ、信念 | 18 テニス部主要Topics[年表] |
| 21 過去(1988～)の主な戦績 | 25 リーグ結果 |
| 26 亜細亞の部活 | 30 1年間の流れ |
| 32 我々は本物のテニスを追求する。 | 33 挨拶～森稔詞(亜細亞大学テニス部コーチ) |

PART 2 チーム紹介

- | | |
|--|--------------------|
| 05 挨拶～橋本大貴(4年/男子主将) | |
| 34 栗田充治学長挨拶 | 35 宇田川裕部長、金子国彦部長挨拶 |
| 36 指導スタッフ紹介 | |
| 38 男女部員名簿 | 43 亜細亞大学テニス部の寮 |
| 44 自宅生の1日/吉満優希(1年) | 45 寮生の1日/清水奎吾(1年) |
| 46 自宅生の1日/李淑玲(1年) | 47 寮生の1日/川村周子(1年) |
| 48 「部員からひと言」高校生のみんなへ | |
| 50 文武両道～学生は部活と授業の両立を目指す。 | |
| 学部紹介 | |
| 52 法学部 高山裕哉(2年)の場合 | 53 経済学部 坂本徹(4年)の場合 |
| 54 國際関係学部 伊達芽依(2年)の場合 | |
| 55 経営学部 ホスピタリティマネジメント学科 堀匡毅(2年)の場合 | |
| 56 経営学部 経営学科 四釜泰知(4年)の場合 | |
| 57 都市創造学部 山田将弘(1年)の場合 | |
| 58 大学に入って、こんなに変わりました! | |
| 田中文彩(4年)／加藤翔馬(2年)／松田美咲(1年)／高橋玲奈(3年)／堀内竜輔(1年) | |

PART 3 卒業後の進路

- | | |
|--------------------------|--|
| 07 挨拶～宮地弘太郎(亜細亞大学テニス部OB) | |
| 62 2003年、亜細亞大学、メルボルンに行く。 | |
| 「大学に行ったら世界に行けないなんて言わせない」 | |
| 文◎吉松忠弘 記事提供◎テニスマガジン | |
| 64 海外ITF遠征レポート | |
| 68 卒業生、それぞれの道 | 高田充／駒田政史／宮崎靖雄／西岡靖雄／平良和己
中村聰利／新谷啓／森嶋修／野田雄希／細谷亮太／遠藤真理子
三上英和／佐藤俊介／宮脇駿／高橋良平／津布久萌 |
| 77 就職ガイダンス | |

PART 4 国際大会報告

- | | |
|---|----------------|
| 09 参加選手を代表して～井藤祐一プロ(ライフ・エヌ・ピー)、長尾克己プロ(エキスパートシズオカ) | |
| 11 参加選手を代表して～高畠寿弥プロ、小堀桃子プロ(橋本総業ホールディングス) | |
| 80 2016国際大会開催レポート | |
| [男子]亜細亞大学国際オープン [女子]亜細亞大学国際女子オープン | |
| 86 歴代優勝者一覧 | 88 学部レポート |
| 90 2017男子本戦S結果 | 91 2017男子本戦D結果 |
| 92 2017女子本戦S結果 | 93 2017女子本戦D結果 |
| 94 2017男子予選結果 | 95 2017女子予選結果 |
| 96 男子WC選手権大会結果 | 97 女子WC選手権大会結果 |
| 98 私たちはこうやって大会を作りました | |
| 第1回亜細亞大学国際オープン2007『国際大会開催までの全記録』 | |
| 102 チャリティクリニック | |
| 105 ご協賛いただきました皆様 | 107 ASC |
| 110 日の出に世界がやってきた。 文◎武田 薫 記事提供◎テニスマガジン | |
| 112 亜細亞大学主催 チャリティクリニックのお知らせ | 114 参加者の声 |
| 116 亜細亞大学国際オープン2018大会告知 | |

2017 亜細亞大学 テニス部

チームガイド
TEAM GUIDE



国際大会開催報告
REPORT

©ここに掲載する記事、写真、および図版の無断転載を厳禁します。

STAFF

●Editorial supervisor
堀内昌一 Shoichi Horiuchi
森 稔詞 Toshitsugu Mori

●Editor in chief
梅岡優大(4年) Yudai Umeoka

●Editor
岡庸輔(2年) Yousuke Oka
志賀隼(2年) Hayato Shiga
高橋もも(2年) Momo Takahashi
伊達芽依(2年) Mei Date

●Design / Printing
株式会社 文伸 Bunshin Corporation



Editor's MEMO

●今年でアジパン係3年目となり、リーダーを任せで頂くことになりました。作成していく上で今まで知らなかったことを知ることも出来ました。今年のアジパンを楽しみにしてください! (梅岡/写真中央上)

●昨年もアジパンを担当させて頂いて、今年で二年目になりました。昨年の良かった事や、苦戦してしまった部分など経験を活かして率先して頂いたと思います。アジパンをお楽しみください!(志賀/写真左上)

●今回初めてアジパンの制作に参加させて頂きました。分からぬことばかりでしたが色々な人に助けて頂き作り上げることが出来ました。楽しんで頂けるとうれしいです。(岡/写真右上)

●今年初めて制作に携わらせて頂きました。昨年に比べて新しいページも増え、より良いものが完成しました。亜細亞大学に興味を持って頂けたら嬉しいです。(高橋/写真左下)

●アジパン制作2年目です。チーフ梅岡さんと同期4人で、密な話し合いを重ねてきました。アイデアを出し合い、より良いものをを目指しました。隅々まで見て頂ければと思います!(伊達/写真右下)





大学に勤めて28年になります。最近では教え子の結婚式に毎月のように招待されるような歳になりました。ひと回りもふた回りも大きくなった教え子の成長を見るたびに、ただ驚くばかりです。そこには同期たちも集まってきたから、その成長ぶりにも驚かされてしまいます。

あれほどやんちゃだった学生時代からは想像もできないくらい、社会でもまれ、成長した姿を見るにつけ、たった4年の間だったけれど、ともに過ごした時間のありがたさを感じています。同期や同僚たちが披露するエピソードを聞き、スナップ写真を見て、当時を想い出し、私はうなづくばかりです。

入学式に卒業式、そして結婚式と、繰り返される“集合写真”こそ、まさに“部活”的証。それぞれが真剣にテニスに取り組み、いっしょに戦ってきたからこそ迎えられる瞬間だと思います。その当時は、そんな未来を想像することもできなかったでしょうが、大人になり、みんなで再び顔を合わせたときに、“部活”的のすばらしさを感じてくれていると私は確信しています。

“部活”は一見ややこしそうですが、実はとてもシンプルなものです。

私はいつも学生たちに「できるまでやれ」と指導しています。課題を与えると、すぐにできるヤツ、すぐにできないヤツ、まったくできないヤツに、できるまでやろうとしないヤツと、さまざまですが、いずれに対しても“部活”は容赦しません。ヒントは与えますが、答えは自分で見つけなければならないのです。私が答えをあげることはできません。答えを見つけるのは自分。見つけるまでにはおそらく相当な時間がかかります。でも、“待つこと”も私の仕事。そうしているうち、失敗してしまうこともしばしばありますが、それでもいいと思っています。失敗が教えてくれるものもある。それがまた、大きな財産となるからです。

コートにはコーチと部員がいますが、最終的

には、部員自身が課題を解決する力を身につけなければ意味がないと思っています。課題や目標を達成するために必要となるのは、自身の力であるとともに、重要なのは仲間の力。そのことに気づき、みんなで結束してこそ、乗り越えられるものがあることにも気づいてほしいのです。そのことに気づき、その力の大きさを知ったときに、喜びを分ち合える関係になります。ひとりでは到底できないことにも、みんなの力を合わせれば必ず近づくことができる、達成できる。私はそれが“部活”だと思います。

部活って、本当にすばらしい！ 高校生諸君、私たち亜細亜大学でいっしょに部活をやろう!!

文◎堀内昌一

高校生諸君、私たち亜細亜大学でいっしょに部活をやろう

すばらしい！ 部活って、

亞細亞大学テニス部

過去29年間の
主要Topics

1987年(昭和62年)

- ・衛藤瀧吉学長就任(1987~95年)。一芸入試を導入。(写真①)
- ・堀内昌一が講師およびテニス部監督に就任。

1988年(昭和63年)

- ・男子7部リーグ優勝/6部リーグ昇格
- ・女子5部リーグ3回戦敗退

1989年(平成元年)

- ・男子6部リーグ優勝/5部昇格
- ・女子5部リーグ優勝/4部昇格
- ・亞大初となる全国タイトル。インカレ・インドアで山崎史子が単優勝。
- ・アメリカプログラム(AUAP/正規単位取得型の留学プログラム)開始。

1990年(平成2年)

- ・男子5部リーグ優勝/4部昇格
- ・女子4部リーグ優勝/3部昇格
- ・男子初となる全国タイトル。インカレ単優勝・森稔詞、複優勝・岡田岳二/坂口雄二。
- ・国際関係学部国際関係学科開設。

1991年(平成3年)

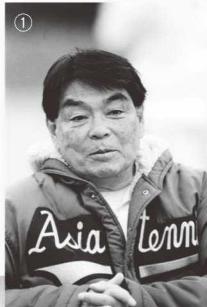
- ・男子4部リーグ優勝/3部昇格
- ・女子3部リーグ優勝/2部昇格
- ・日の出トレーニングセンター完成。
- ・海外のITFサーキットに岡田・森・高田の3名が参戦。約4ヶ月間、オーストラリア・アメリカ・韓国を回る。そこで亞大生初となるATPポイントを獲得(岡田3ポイント、森1ポイント)。
- ・第16回ユニバーシアード(イギリス)日本代表選手に森、伊東新、山崎、赤堀奈緒の4名が選ばれる。また堀内昌一監督も日本代表コーチに就任。

1992年(平成4年)

- ・男子3部リーグ優勝/2部昇格
- ・女子2部リーグ優勝/1部昇格
- ・ITFサーキットに単身、宮地弘太郎が遠征(フィリピン)。ATP3ポイント獲得。
- ・女子初となるインカレ・タイトルを獲得。赤堀が単優勝。

93年、女子が大学王座初制覇

②



衛藤瀧吉学長



93年、UCLAへ。堀内監督の隣りの女性はビート・サンプラス姉

1993年(平成5年)

- ・男子2部リーグ優勝/1部リーグ昇格
- ・女子1部リーグ初優勝/女子王座初優勝(写真②)
- ・全米遠征(93年~97年)で、強豪大学(USC/UCLA/スタンフォード大など)と対抗戦。(写真③)
- ・第17回ユニバーシアード(アメリカ)で赤堀が平木理化(青学)とのペアで銀メダル獲得。
- ・日本経済短期大学と亞細亞大学が統合、亞細亞大学短期大学部開設。

1994年(平成6年)

- ・男子1部リーグ初優勝/大学王座初優勝(写真④)
- ・女子1部リーグ優勝2連覇/大学王座3位
- ・関東1部リーグで初のアベック優勝。
- ・全日本選手権複数で、佐藤博康/駒田政史が学生として33年ぶりに優勝。(写真⑤)

1995年(平成7年)

- ・男子1部リーグ優勝2連覇/大学王座2連覇
- ・女子1部リーグ優勝3連覇/大学王座3位
- ・関東1部リーグで2度目のアベック優勝。
- ・全日本選手権男子単で宮地が決勝進出。
- ・第18回ユニバーシアード(福岡)男子単で宮地が27年ぶりに銅メダルを獲得。
- ・ジャパンオープン男子単で宮地が3回戦進出(ベスト16)。

1996年(平成8年)

- ・男子1部リーグ優勝3連覇/大学王座準優勝
- ・女子1部リーグ優勝4連覇/大学王座準優勝
- ・関東1部リーグで3度目のアベック優勝。

1997年(平成9年)

- ・男子1部リーグ優勝4連覇/大学王座準優勝
- ・女子1部リーグ優勝5連覇/大学王座2度目の優勝
- ・関東1部リーグで4度目のアベック優勝。



(4)

94年、男子が初の大学王座日本一

- ・第19回ユニバーシアード(イタリア)女子複で岡本聖子が銅メダル獲得。

1998年(平成10年)

- ・男子1部リーグ優勝5連覇/大学王座4位
- ・女子1部リーグ優勝6連覇/大学王座2連覇達成(3度目の優勝)
- ・関東1部リーグ5度目のアベック優勝。
- ・コーチ帯同で3週間、岡本聖子がアメリカのITFサーキットに参戦。(写真⑥)

1999年(平成11年)

- ・男子1部リーグ準優勝/大学王座準優勝
- ・女子1部リーグ優勝7連覇/大学王座3位
- ・ITFサーキット(アメリカ/メキシコ)参戦。
- ・第20回ユニバーシアード(スペイン)の日本代表監督に堀内昌一が就任。

2000年(平成12年)

- ・男子1部リーグ6度目の優勝/大学王座準優勝
- ・女子1部リーグ8連覇/大学王座準優勝
- ・関東1部リーグは6度目のアベック優勝。

2001年(平成13年)

- ・男子1部リーグ準優勝/大学王座3位
- ・女子1部リーグ4位(関東リーグ9連覇ならず)

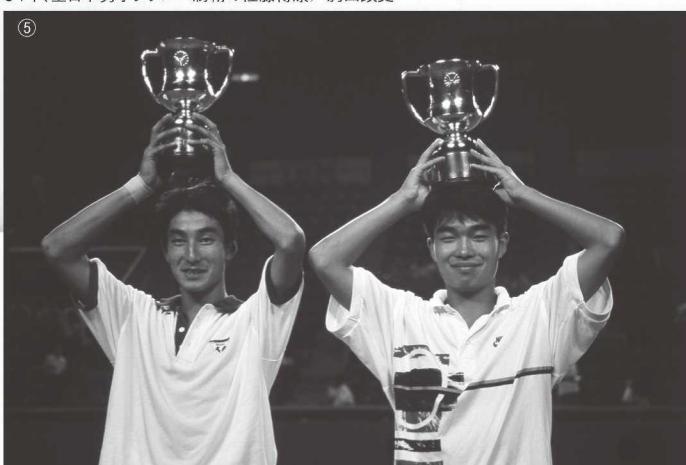
2002年(平成14年)

- ・男子1部リーグ3位
- ・女子1部リーグ9度目の優勝/大学王座3位
- ・テニス部専任コーチにOBの森稔詞就任。

2003年(平成15年)

- ・男子1部リーグ7度目の優勝/大学王座3位
- ・女子1部リーグ10度目の優勝(写真⑦)/大学王座4位
- ・関東1部リーグ7度目のアベック優勝。
- ・四大大会のひとつ、オーストラリアン・オープン観戦遠征を開始。以来、有志を募っての恒例行事に。

94年、全日本男子ダブルス制覇の佐藤博康／駒田政史



(5)

- ・韓国体育大学と合同合宿。韓国と日本を交互に遠征(03年～06年)

2004年(平成16年)

- ・男子1部リーグ5位/1部残留
- ・女子1部リーグ準優勝/大学王座4位
- ・関東リーグで5位となった男子は、初の2部との入れ替え戦へ。勝利して1部残留が決定。
- ・デ杯日本代表チームのオーストラリア合宿に宮崎靖雄が参加。

2005年(平成17年)

- ・男子1部リーグ6位/1部残留
- ・女子1部リーグ準優勝/大学王座4位
- ・関東リーグで6位の男子は2度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・デ杯日本代表チームのオーストラリア合宿に、男子は比嘉明人、女子は遠藤真理子と高橋令が参加。ボブ・ブレットコーチの指導を仰ぐ。

2006年(平成18年)

- ・男子1部リーグ5位/1部残留
- ・女子1部リーグ準優勝/大学王座準優勝
- ・関東リーグで5位の男子は、3度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・オーストラリアン・オープン観戦遠征。
- ・コーチ帯同で3週間、オーストラリアのITFサーキットに参戦。

2007年(平成19年)

- ・男子1部リーグ4位
- ・女子1部リーグ3位
- ・男子フューチャーズ『第1回亞細亞大学国際オープン』(1万ドル)を開催。篠川智大が本戦1回戦に勝利し、ATP1ポイントを獲得。
- ・国際大会開催にあたり、「チャリティー・テニスクリック」を始める。収益のすべてを運営費に充て、年間20回を目標に開催。
- ・アメリカプログラム(AUAP)の参加学生数が1万人突破。
- ・ユニバーシアード(バンコク)の日本代表監督に森稔詞が就任。
- ・堀内昌一助教授が教授に昇格。
- ・テニス部強化に尽力を注いだ元学長、衛藤瀧吉先生逝去。享年84才。

98年、インカレを制した岡本聖子

(6)



19



03年、10度目の関東リーグ優勝

2008年(平成20年)

- ・男子1部リーグ4位
- ・女子1部リーグ準優勝/大学王座準優勝
- ・第2回男子フューチャーズ開催。
- ・スポーツケア・アローズと年間50日間の専属トレーナー契約を交わす。

2009年(平成21年)

- ・男子1部リーグ4位
- ・女子1部リーグ6位/2部降格
- ・関東リーグで6位の女子は、初の2部との入れ替え戦へ。最後はエース宮本紗織が敗れて、2部降格へ。1989年に5部で優勝してから王座優勝、その後は常勝し、1部を死守してきたが、ついに力尽きる。
- ・第3回男子フューチャーズ開催。

2010年(平成22年)

- ・男子1部リーグ5位/1部残留
- ・女子2部リーグ優勝/1部昇格
- ・関東リーグで6位の男子は、4度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・関東リーグ2部で優勝の女子は、1部との入れ替え戦で日本大学に勝利し、1部復帰。
- ・全日本選手権・混合複で篠川智大(／瀬間詠里花プロ)が初優勝。
- ・第4回男子フューチャーズ開催。
- ・森コーチ帯同で、ボルトガルのITF女子サーキットに3週間遠征。メンバーは宮本紗織・荒木史織・山本翔子。
- ・新しい部室が完成。

2011年(平成23年)

- ・男子1部リーグ6位/1部残留
- ・女子1部リーグ準優勝/大学王座準優勝
- ・関東リーグ6位の男子は、5度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・全日本選手権・混合複で篠川智大(／田中真梨プロ)が2連覇。
- ・第5回男子フューチャーズ開催も、予選サイン当日に東日本大震災が起きる。予選を消化するも、ITF、JTA、春のフューチャーズシリーズ大会ディレクターらと協議の結果、大会中止を決定。
- ・亞細亞大学建学70周年。
- ・テニス部創部50周年。

明治との入替戦勝利後1部残留



⑧

・部室前に駐車場が完成。

2012年(平成24年)

- ・男子と並び、女子サーキット『第1回亞細亞大学国際女子オープン』(1万ドル)を開催。伊波佳苗が単ベスト8進出。
- ・第6回男子フューチャーズ開催。
- ・男子1部リーグ6位/1部残留
- ・女子1部リーグ4位
- ・関東リーグ6位の男子は、6度目の2部との入れ替え戦へ。勝利し、1部残留。
- ・亞細亞大学文部科学省「グローバル人材育成推進事業」採択

2013年(平成25年)

- ・男子1部リーグ5位/2部降格
- ・女子1部リーグ4位
- ・関東リーグ5位の男子は7度目の2部との入れ替え戦へ。敗北し、1994年から続いた1部から降格する。
- ・亞細亞大学新5号館完成
- ・第7回男子フューチャーズ開催。
- ・第2回亞細亞大学国際女子オープン開催。山本翔子が単ベスト8進出。

2014年(平成26年)

- ・第8回フューチャーズ開催。
- ・第3回亞細亞大学国際女子オープン開催。
- ・1年生の田中亮寛がインカレ単ベスト8
- ・男子2部リーグ2位で1部リーグとの入れ替え戦へ。惜しくも敗北し2部残留。
- ・女子1部リーグ5位で2部リーグとの入れ替え戦へ。勝利し1部残留。

2015年(平成27年)

- ・第9回フューチャーズ開催。主将の仲村元希が1回戦勝利し、初のATPポイント獲得。
- ・第4回亞細亞大学国際女子オープン開催。
- ・軽井沢フューチャーズで田中亮寛が初のATP獲得。単ベスト8
- ・亞細亞大学の食堂、アジアプラザ完成。
- ・男子2部リーグ1位で1部リーグとの入れ替え戦へ。勝利し1部昇格。(写真⑨)
- ・女子1部リーグ6位で2部リーグとの入れ替え戦へ。勝利し1部残留(写真⑧)。

日大との入替戦勝利後1部復帰昇格



⑨



第6回亞細亞大学国際女子オープン ダブルス表彰式

2016年(平成28年)

- ・亞細亞大学建学75周年。
- ・関東学生新進テニス選手権大会において、山藤彩香がシングルス優勝、田中文彩がベスト4、大塚陽平/伊藤陸組がベスト8になる。
- ・田中文彩、高橋玲奈が堀内監督引率の元、中国ITFに3週間参戦。
- ・第10回フューチャーズ開催。加藤翔馬が1回戦勝利、初のATPポイントを獲得。
- ・第5回亞細亞大学国際女子オープン開催。高橋玲奈が1回戦を勝利し、WTAポイント獲得(通算7ポイント目)。また、本戦WCで出場した楚南美波/中沢夏帆組がベスト4進出。山藤彩香/田中文彩組(WC)、高橋玲奈/南文乃組(WC)もベスト8進出。
- ・男子1部リーグ6位で2部リーグとの入れ替え戦へ。勝利し1部残留。
- ・女子1部リーグ4位で1部残留。

2017年(平成29年)

- ・関東学生新進テニス選手権大会において、男子ダブルス橋本大貴/恒松拓未組が準優勝になる。
- ・田中文彩、松田美咲が堀内監督引率の元、中国ITFに2週間参戦。
- ・加藤翔馬が宮崎靖雄コーチ引率の元、インドネシアITFに2週間参戦。
- ITFからの通達により、今回、男女大会ともに\$10,000から\$15,000へ賞金額増額され開催。
- ・第11回フューチャーズ開催(写真⑪)。
- ・第6回亞細亞大学国際女子オープン開催(写真⑩)。
- ・関東学生テニストーナメント選手権大会にて、女子シングルスで1年生の松田美咲が初優勝。

第11回亞細亞大学国際オープン 男子シングルス決勝後



亞細亞大学テニス部 過去(1988年~)の主な戦績

関東大学テニスリーグ&

全日本大学対抗テニス王座決定試合

年度	関東大学リーグ		大学王座	
	男子	女子	男子	女子
1988年(昭和63年)	6部昇格	5部		
1989年(平成元年)	5部昇格	4部昇格		
1990年(平成2年)	4部昇格	3部昇格		
1991年(平成3年)	3部昇格	2部昇格		
1992年(平成4年)	2部昇格	1部昇格		
1993年(平成5年)	1部昇格	優勝	優勝	
1994年(平成6年)	優勝	優勝	優勝	3位
1995年(平成7年)	優勝	優勝	優勝	3位
1996年(平成8年)	優勝	優勝	準優勝	準優勝
1997年(平成9年)	優勝	優勝	準優勝	優勝
1998年(平成10年)	優勝	優勝	4位	優勝
1999年(平成11年)	準優勝	優勝	準優勝	準優勝
2000年(平成12年)	優勝	優勝	準優勝	準優勝
2001年(平成13年)	準優勝	4位	3位	
2002年(平成14年)	3位	優勝	3位	
2003年(平成15年)	優勝	優勝	3位	4位
2004年(平成16年)	5位	準優勝	4位	
2005年(平成17年)	6位	準優勝	4位	
2006年(平成18年)	5位	準優勝	準優勝	
2007年(平成19年)	4位	3位		
2008年(平成20年)	4位	準優勝	準優勝	
2009年(平成21年)	4位	2部降格		
2010年(平成22年)	5位	1部昇格		
2011年(平成23年)	6位	準優勝	準優勝	
2012年(平成24年)	6位	4位		
2013年(平成25年)	2部降格	4位		
2014年(平成26年)	2部1位	1部5位		
2015年(平成27年)	1部昇格	1部6位		
2016年(平成28年)	1部6位	1部4位		

全日本学生テニス選手権大会&全日本学生室内テニス選手権大会 出場人数

年度	インカレ				インカレインドア			
	男子出場人数		女子出場人数		男子出場人数		女子出場人数	
	S	D	S	D	S	D	S	D
1989年(平成元年)	3人	2組	1人		3人	1組	1人	
1990年(平成2年)	3人	2組	1人	1組	3人	2組	2人	2組
1991年(平成3年)	3人	4組	6人	4組	4人	4組	2人	2組
1992年(平成4年)	5人	4組	2人	4組	1人	1組	3人	4組
1993年(平成5年)	10人	5組	7人	3組	2人	3組	2人	2組
1994年(平成6年)	7人	5組	3人	2組	3人	1組	2人	2組
1995年(平成7年)	6人	3組	8人	3組	1人	1組	2人	1組
1996年(平成8年)	6人	2組	7人	3組	1人	1組	2人	1組
1997年(平成9年)	4人	3組	6人	1組	3人	1組	5人	1組
1998年(平成10年)	5人	2組	6人	4組			2人	2組
1999年(平成11年)	5人	4組	4人	2組	2人	2組	1人	1組
2000年(平成12年)	6人	4組	5人	3組	3人	1組	2人	
2001年(平成13年)	4人	1組	4人	2組	1人	1組	2人	2組
2002年(平成14年)	5人	3組	4人	2組	3人	1組	3人	2組
2003年(平成15年)	4人	2組	4人	2組	1人	1組	2人	1組
2004年(平成16年)	2人	4組	4人	4組	2人		1人	2組
2005年(平成17年)	3人	2組	7人	5組	1人		2組	
2006年(平成18年)	5人	2組	7人	3組	1人		1人	2組
2007年(平成19年)	7人	1組	5人	3組	2人		2人	1組
2008年(平成20年)	5人	3組	6人	2組	3人	1組	1人	
2009年(平成21年)	6人	3組	5人	2組	2人	1組	1人	1組
2010年(平成22年)	6人	4組	6人	3組	1組		3人	1組
2011年(平成23年)	2人	1組	7人	4組			1組	2組
2012年(平成24年)	3人		3人	1組			1組	2組
2013年(平成25年)	2人		4人	2組				
2014年(平成26年)	2人	2組	1人	なし	2人	2組	1人	なし
2015年(平成27年)	2人	1組	4人	1組			4人	1組
2016年(平成28年)	1人	2組	3人	1組	1人	1組	1人	1組

個人戦績

年度	出場選手	インカレ		インカレインドア	
		S	D	S	D
1989年 平成元年	男子	坂口雄二	準優勝	ベスト16	1R
		森 稔詞	ベスト8	ベスト4	1R
		岡田岳二	ベスト16		ベスト4
		高田 充		ベスト4	
		桜井和人		ベスト16	ベスト4
	女子	山崎史子	ベスト4		優勝
1990年 平成2年	男子	森 稔詞	優勝		ベスト4
		岡田岳二	ベスト4	優勝	ベスト8
		坂口雄二	ベスト8	優勝	ベスト8
		高田 充			ベスト8
	女子	山崎史子	準優勝	準優勝	優勝
		三輪陽子		準優勝	1R
		赤堀奈緒		ベスト8	1R
		石田恵子			準優勝
1991年 平成3年度	男子	森 稔詞	優勝	優勝	準優勝
		伊東 新	準優勝	ベスト16	優勝
		高田 充	ベスト16	ベスト4	ベスト4
		岡田岳二	優勝	ベスト16	準優勝

年度	出場選手	インカレ		インカレインドア	
		S	D	S	D
		駒田政史		ベスト4	
		城間和人		ベスト4	
		須藤陽史		ベスト4	
		坂口雄二		ベスト16	ベスト8
		佐藤武文			
		佐藤博康			
	女子	赤堀奈緒	ベスト4	優勝	優勝
		山崎史子	ベスト8	優勝	準優勝
		三輪陽子	ベスト32		
		釣 雅美	ベスト32		
		萱嶋奈穂	ベスト32		
		土方千代	ベスト32	ベスト16	
		北野由美		ベスト8	
		辻麻千香		ベスト8	
		斎藤裕子		ベスト16	
		井上朋子		ベスト16	
		浅見玲子		ベスト16	
		石田恵子			
1992年 平成4年度	男子	伊東 新	準優勝	ベスト16	ベスト8
		宮地弘太郎	ベスト8		
		佐藤博康	ベスト4	ベスト4	
		駒田政史	ベスト32		
		馬越浩也	ベスト32		
		鈴木 潤			
		久田英登			
		佐藤武文	ベスト4		
		城間和人		ベスト16	
		須藤陽史		ベスト16	
		紀 有二		ベスト16	
	女子	赤堀奈緒	優勝	準優勝	優勝
		石田恵子	ベスト4	準優勝	ベスト4
		浅見玲子		ベスト4	
		土方千代		ベスト4	
		三輪陽子		ベスト8	ベスト8
		石田友子		ベスト8	
		廣津文子		ベスト8	
		萱嶋菜穂		ベスト8	
		斎藤裕子			
		釣 雅美			
1993年 平成5年度	男子	宮地弘太郎	優勝	ベスト8	ベスト8
		伊東 新	準優勝	ベスト8	
		馬越浩也	ベスト4	ベスト16	ベスト4
		佐藤博康	ベスト4	準優勝	2R
		土屋哲史	ベスト16	ベスト16	ベスト8
		酒井俊亮	ベスト16		2R
		久田英登	ベスト32	ベスト8	
		竹下和史	ベスト32		
		水島 亮	ベスト32		
		紀 有二	ベスト32		
		駒田政史		準優勝	ベスト8
		須藤陽史		ベスト4	2R
		城間和人		ベスト4	本戦
		鈴木 潤		ベスト8	本戦
	女子	赤堀奈緒	準優勝		
		吉田亜梨	ベスト8	ベスト8	本戦
		土方千代	ベスト16	ベスト16	
		釣 雅美	ベスト16		本戦
		辻麻千香	ベスト8	ベスト16	本戦
		常盤 安	ベスト32	ベスト16	ベスト8
		大竹山理映	ベスト32	ベスト8	本戦
		浅見玲子		ベスト16	
1994年 平成6年度	男子	伊東 新	優勝	ベスト4	本戦
		宮地弘太郎	準優勝	ベスト4	
		馬越浩也	ベスト4	ベスト8	ベスト8
		土屋哲史	ベスト16	ベスト8	ベスト8
		竹下和史	ベスト16	準優勝	
		酒井俊亮	ベスト32		
		佐藤博康	ベスト32	ベスト4	
		山下大介		準優勝	
		駒田政史			
		久田英登		ベスト16	準優勝
		杉田光徳		ベスト16	



年度		出場選手	インカレ		インカレインドア	
			S	D	S	D
1995年	平成7年度	須藤陽史				
		城間和人				
		女子 吉田亜梨	準優勝	準優勝	本戦	
		常盤 安	ベスト8	準優勝	2R	準優勝
		土方千代	ベスト32	ベスト8		準優勝
		石田玲奈		ベスト8		優勝
		山岸尚子				優勝
		高梨清乃				
		男子 宮地弘太郎	優勝	ベスト16		
		竹下和史	ベスト8	優勝		
1996年	平成8年度	馬越浩也	ベスト8	ベスト16		
		山下大介	ベスト16	優勝	2R	
		酒井俊亮	ベスト16	ベスト8		
		紀 有二	ベスト32			
		土屋哲史		ベスト8		
		橋本吉弘				
		越智 亘				優勝
		女子 横井佑未	ベスト4			優勝
		吉田亜梨	ベスト8	ベスト4	2R	
		坂井美紗江	ベスト16			
1997年	平成9年度	小沢 愛	ベスト16	ベスト16	ベスト4	
		中川 彩	ベスト16			優勝
		石田玲奈	ベスト32	ベスト16		
		常盤 安	ベスト32			優勝
		柴田孝子	ベスト32	ベスト16		
		常磐 安		ベスト4		
		高梨清乃		ベスト16		
		弓削イチロウ	ベスト8		本戦	
		竹下和史	ベスト8	ベスト4		
		芳野 猛	ベスト16			
1998年	平成10年度	越智 亘	ベスト32	ベスト16		
		橋本吉弘		ベスト16	準優勝	
		横井佑未	ベスト8	優勝		
		中川 彩	ベスト16			
		吉田亜梨	ベスト32	ベスト4		
		小沢 愛	ベスト32	ベスト8	ベスト4	
		石田玲奈	ベスト32	ベスト8		優勝
		片倉 恵		優勝		優勝
		弓削元比アン		ベスト16		
		女子 岡本聖子	準優勝	ベスト4	準優勝	準優勝
		横井佑未				
		吉川真司	ベスト16			
		越智亘	ベスト32	準優勝	本戦	
		橋本吉弘		準優勝	本戦	ベスト4
		芳野 猛		ベスト16		ベスト4
		白田 学		ベスト16		
		鈴木広幸		ベスト16		
		弓削元比アン		ベスト16		
		女子 岡本聖子	準優勝		本戦	
		横井佑未	ベスト8		優勝	
		田口景子	ベスト16	優勝	本戦	
		久保陽子	ベスト16			ベスト4
		木根渕晶子	ベスト16		本戦	
		片倉 恵	ベスト32	優勝	2R	
		吉川真司	ベスト16	ベスト16		ベスト4
		竹下順二	ベスト16			
		鈴木道広	ベスト32			
		石浦純一	ベスト32	ベスト16		
		相原 玲	ベスト32			
		石神理貴		ベスト8		
		辻 雄馬		ベスト8		
		岡本聖子	優勝	優勝	ベスト8	
		木根渕晶子	ベスト4		ベスト4	優勝
		横井佑未	ベスト16	ベスト16		ベスト4
		田口景子	ベスト16	優勝	ベスト8	優勝
		金井奈央子	ベスト16	ベスト8		
		片倉 恵	ベスト32	ベスト8		
		永井圭子		ベスト16		
		森井景子		ベスト16		
		坂井美紗江		ベスト16		

年度		出場選手	インカレ		インカレインドア	
			S	D	S	D
1999年	平成11年度	堀川奈緒子				
		石浦純一	ベスト16	ベスト16		ベスト4
		石神理貴	ベスト16	ベスト16	優勝	優勝
		三好 勲	ベスト16		本戦	
		辻 雄馬	ベスト32	ベスト16		
		国吉智規	ベスト32			本戦
		朴 潤九		ベスト16	2R	
		吉川真司		ベスト16	ベスト4	本戦
		菊池 恒		ベスト16		
		宮下知朗		ベスト16		優勝
		山下智史		ベスト16		
2000年	平成12年度	女子				
		岡本聖子				
		田口景子	準優勝	準優勝	本戦	準優勝
		金井奈央子	ベスト16			準優勝
		片倉 恵	ベスト32	準優勝		
		飯田京子	ベスト32			
		川野美季		ベスト16		
		中川 麗		ベスト16		
		石神理貴	ベスト4	ベスト8	2R	
		吉川真司	ベスト4			準優勝
2001年	平成13年度	男子				
		三好 勲	ベスト16	ベスト32	2R	ベスト4
		大迫幸輝	ベスト32			
		朴 潤九	ベスト32	ベスト8		
		宮崎靖雄	ベスト32	ベスト8		
		辻 雄馬		ベスト8		
		後藤光弘		ベスト8		
		石浦純一				
		女子				
		田口景子	準優勝	優勝	ベスト4	ベスト4
2002年	平成14年度	男子				
		金井奈央子	ベスト16	優勝		
		平田育子	ベスト16	2R		
		水野衣里子	ベスト16	本戦		
		五藤かおり	ベスト32	2R	本戦	
		宮崎靖雄	ベスト4	準優勝	ベスト8	
		朴 潤九	ベスト8	準優勝		本戦
		国吉智規	ベスト32			本戦
		比嘉明人	ベスト32			
		女子				
2003年	平成15年度	男子				
		北崎悦子	ベスト4	準優勝	優勝	準優勝
		乾祥一郎	ベスト8	ベスト8	ベスト8	準優勝
		後藤光弘		ベスト16		
		大山謙一		ベスト16		準優勝
		女子				
		平田育子	準優勝	ベスト16	ベスト4	ベスト4
		北崎悦子	ベスト8	ベスト8	ベスト8	ベスト4
		五藤かおり	ベスト16	ベスト16		準優勝
		水野衣里子	ベスト16	ベスト4	ベスト8	ベスト4
2004年	平成16年度	男子				
		宮崎靖雄	準優勝	ベスト8		準優勝
		比嘉明人	ベスト8		ベスト8	
		中川 亮	ベスト32	ベスト8		
		乾祥一郎	ベスト32			本戦
		後藤光弘		ベスト8		
		大山謙一		ベスト8		
		女子				
		水野衣里子	ベスト4	ベスト8	ベスト8	本戦
		平田育子	ベスト8	ベスト32		優勝

年度		出場選手	インカレ		インカレインドア	
			S	D	S	I
2005年	平成17年度	男子	安田絢子	ベスト32	ベスト32	ベスト4
			川崎光美	ベスト32	ベスト16	
			上條いずみ		ベスト16	
			原由紀代		ベスト32	
			森 美紀		ベスト16	ベスト4
		女子	高橋 令		ベスト32	ベスト8
			富田真吉	ベスト32		ベスト8
			大塚真之助	ベスト64		
			佐地竜介	ベスト128	ベスト16	
			古城泰裕		ベスト16	
2006年	平成18年度	男子	村居誠悟		ベスト32	
			新谷 啓		ベスト32	
			森 美紀	ベスト16	優勝	
			原由紀代	ベスト32	ベスト16	ベスト4
			川崎光美	ベスト32	ベスト64	ベスト8
		女子	津布久萌	ベスト64	ベスト16	
			高橋 令	ベスト64	ベスト16	ベスト8
			宮崎優実	ベスト64		
			坪奈津美	ベスト128	優勝	
			遠藤真理子		ベスト64	ベスト4
2007年	平成19年度	男子	土屋奈夏		ベスト32	
			角田良美		ベスト8	
			富田真吉	ベスト16		ベスト16
			大塚真之助	ベスト32		
			牛田敦之	ベスト32		
		女子	新谷 啓	ベスト64	ベスト32	
			小出侑門	ベスト64		
			佐地竜介		ベスト8	
			古城泰裕		ベスト8	
			高橋 隼		ベスト32	
2008年	平成20年度	男子	森 美紀	ベスト64	ベスト16	
			津布久萌	ベスト32	ベスト16	ベスト4
			高橋 令	ベスト32	ベスト16	準優勝
			坪奈津美			
			土屋奈夏	ベスト16	ベスト16	ベスト4
		女子	角田良美	準優勝	ベスト8	ベスト16
			宮崎優実	ベスト16	ベスト8	
			木下ミサ	ベスト32		
			井上貴博		ベスト32	
			風早一樹		ベスト32	
2009年	平成21年度	男子	宮崎優実	ベスト16	ベスト8	ベスト4
			角田良美	ベスト16	ベスト8	ベスト8
			長谷川梨紗	ベスト64	ベスト16	ベスト8
			荒木史織	ベスト128		
			美濃越彩	ベスト128		
		女子	井上貴博	ベスト8	ベスト8	ベスト16
			篠川智大	ベスト16	ベスト8	ベスト8
			牛田敦之	ベスト32	ベスト32	ベスト16
			大原文平	ベスト64		
			土居諒大		ベスト32	

年度		出場選手	インカレ		インカレインドア	
			S	D	S	D
2010年	平成22年度	女子	井原 力	ベスト64		
			木下ミサ	ベスト16	ベスト16	ベスト8
			荒木史織	ベスト64	ベスト16	準優勝
			美濃越彩	ベスト64		準優勝
			長谷川梨紗	ベスト128		
			宮本紗織	ベスト128	ベスト32	
			下村恵那		ベスト32	
2011年	平成23年度	男子	井上貴博	ベスト16	ベスト8	
			土居諒大	ベスト64	ベスト4	ベスト8
			篠川智大	ベスト64	ベスト4	
			田村和也	ベスト64	ベスト64	ベスト8
			井原 力	ベスト64	ベスト64	
			高橋良平	ベスト128		
			長久保大樹		ベスト64	
			風早一樹		ベスト8	
			岡部慎一郎		ベスト64	
			宮本紗織	ベスト16	ベスト32	ベスト16
2012年	平成24年度	女子	山本翔子	ベスト16	ベスト32	ベスト16
			鈴木直子	ベスト64		
			荒木史織	ベスト64	ベスト8	
			伊波佳苗	ベスト64	ベスト32	ベスト16
			長谷川梨紗	ベスト128	ベスト32	
			田村和也	ベスト32	ベスト32	
			林 倫正	ベスト32		ベスト8
			長久保大樹		ベスト32	
			宮本紗織	ベスト8	ベスト16	ベスト8
			長谷川梨紗	ベスト16	ベスト16	
2013年	平成25年度	男子	荒木史織	ベスト16		
			伊波佳苗	ベスト32	ベスト16	ベスト8
			山本翔子	ベスト32	ベスト16	
			伊藤優花	ベスト64		
			境 有紀		ベスト32	
			高橋良平	ベスト64		
			林 倫正	ベスト64		
			仲村元希	ベスト64		
			山本翔子	準優勝	準優勝	ベスト4
			伊波佳苗	ベスト16	準優勝	ベスト16
2014年	平成26年度	女子	伊藤優花	ベスト64		優勝
			白井卓也	ベスト96		優勝
			仲村元希	ベスト32		
			山本翔子	ベスト8	ベスト4	
			伊波佳苗	ベスト32	ベスト4	
			伊藤優花	ベスト32	ベスト16	
			松本千広	ベスト64	ベスト16	ベスト8
			小堺遼馬		ベスト32	
			仲村元希	ベスト96	ベスト32	
			田中亮寛	ベスト8	ベスト48	ベスト16
2015年	平成27年度	男子	橋本大貴		ベスト48	
			松本千広	ベスト32		ベスト16
			仲村元希		ベスト48	
			大塚陽平	ベスト96		
			田中亮寛	ベスト16		
			橋本大貴		ベスト48	
			松本千広	ベスト32	ベスト32	ベスト4
			山藤彩香	ベスト32		
			辻本有佳里	ベスト64		
			田中文彩		ベスト32	
2016年	平成28年度	女子	高橋玲奈	ベスト8		
			橋本大貴		ベスト32	
			恒松拓未		ベスト32	
			加藤彰馬	ベスト64	ベスト32	
			吉田 慎		ベスト32	
			山藤彩香		ベスト32	
			田中文彩	ベスト64	ベスト32	
			高橋玲奈	ベスト32		

平成28年度 関東大学テニスリーグ1部(男子)対戦表

	早稲田大学	慶應義塾大学	明治大学	法政大学	中央大学	亞細亞大学	勝ち点	勝ポイント	失セット	順位
早稲田大学		複1-2 単4-2 計5-4 ○	複2-1 単3-3 計5-4 ○	複3-0 単3-3 計6-3 ○	複3-0 単4-2 計7-2 ○	複3-0 単6-0 計9-0 ○	5勝	32勝13敗	32	1
慶應義塾大学	複2-1 単2-4 計4-5 ×		複2-1 単1-5 計3-6 ×	複2-1 単3-3 計5-4 ○	複2-1 単2-4 計4-5 ×	複2-1 単4-2 計6-3 ○	2勝	22勝23敗	50	3
明治大学	複1-2 単3-3 計4-5 ×	複1-2 単5-1 計6-3 ○		複2-1 単5-1 計7-2 ○	複3-0 単4-2 計7-2 ○	複2-1 単6-0 計8-1 ○	4勝	32勝13敗	37	2
法政大学	複0-3 単3-3 計3-6 ×	複1-2 単3-3 計4-5 ×	複1-2 単1-5 計2-7 ×		複3-0 単3-3 計6-3 ○	複3-0 単3-3 計6-3 ○	2勝	21勝24敗	55	4
中央大学	複0-3 単2-4 計2-7 ×	複1-2 単4-2 計5-4 ○	複0-3 単2-4 計2-7 ×	複0-3 単3-3 計3-6 ×		複2-1 単5-1 計7-2 ○	2勝	19勝26敗	56	5
亞細亞大学	複0-3 単0-6 計0-9 ×	複1-2 単2-4 計3-6 ×	複1-2 単0-6 計1-8 ×	複0-3 単3-3 計3-6 ×	複1-2 単1-5 計2-7 ×		0勝	9勝36敗	79	6

平成28年度 関東大学テニスリーグ1部(女子)対戦表

	早稲田大学	慶應義塾大学	専修大学	筑波大学	山梨学院大学	亞細亞大学	勝ち点	勝ポイント	失セット	順位
早稲田大学		複2-0 単4-1 計6-1 ○	複2-0 単5-0 計7-0 ○	複2-0 単4-1 計6-1 ○	複2-0 単4-1 計6-1 ○	複2-0 単4-1 計6-1 ○	5勝	31勝4敗	11	1
慶應義塾大学	複0-2 単1-4 計1-6 ×		複2-0 単5-0 計7-0 ○	複0-2 単3-2 計3-4 ×	複2-0 単4-1 計6-1 ○	複1-1 単4-1 計5-2 ○	3勝	22勝13敗	31	3
専修大学	複0-2 単0-5 計0-7 ×	複0-2 単0-5 計0-7 ×		複1-1 単1-4 計2-5 ×	複1-1 単3-2 計4-3 ○	複2-0 単1-4 計3-4 ×	1勝	9勝26敗	55	5
筑波大学	複0-2 単1-4 計1-6 ×	複2-0 単2-3 計4-3 ○	複1-1 単4-1 計5-2 ○		複2-0 単5-0 計7-0 ○	複2-0 単5-0 計7-0 ○	4勝	24勝11敗	24	2
山梨学院大学	複0-2 単1-4 計1-6 ×	複0-2 単1-4 計1-6 ×	複1-1 単2-3 計3-4 ×	複0-2 単0-5 計0-7 ×		複0-2 単2-3 計2-5 ×	0勝	7勝28敗	58	6
亞細亞大学	複0-2 単1-4 計1-6 ×	複1-1 単1-4 計2-5 ×	複0-2 単4-1 計4-3 ○	複0-2 単0-5 計0-7 ×	複2-0 単3-2 計5-2 ○		2勝	12勝23敗	49	4

亞細亞の部活

入学前から卒業までの流れ

入学前

高校3年 ⇒ 大学1年

大切な時間 大学入学前から部活は始まっている

12月

年末合宿(12月20日~27日)

練習内容

- ・学生は全国各地から延べ100名を超す参加者(高校生・中学生)とともに練習やトレーニングを行なう。後輩たちとともにに行なうことにより、テニスの基礎を確認、時間をかけて徹底的に基礎を磨く。



ときにOB、OGやプロ(スペシャルゲスト)も参加。レクチャーを受ける高校生や部員たち

- ・その年にやり残した課題、自分の改善点を徹底的に克服する。
- ・特にサービスは改善の必要がある場合が多く、この時期にグリップをコンチネンタルにして、基本を学ぶ。



全員コンチネンタルグリップへ移行

オリエンテーション

- ・部員が作成したカレンダーに基づいて、翌年1年間のスケジュールを説明。
- ・4月からスタートする大学生活、特に授業に関する説明がある(4年間で必要な124単位に関して)。1年生での単位数取得の方法とその重要性などのレクチャーを受ける。
- ・『テニス発見ノート』を作成。
- ・翌年2月から始まる合宿までの宿題となるのが読書。『五輪の書』と『不毛地帯』を読み、後日感想文を提出。



1月

・冬休み(故郷へ帰省する学生が多い)

- ・四大大会のひとつ、オーストラリアン・オープン観戦。有志を募り、学生や監督・コーチとともにメルボルンへ。予選および本戦を観て、肌で“世界のテニス”を感じる(1月10日前後~20日前後まで)。



監督・コーチと同じ部屋で、夜中もテレビを観ながら談笑



オーストラリアン・オープンのセンター

2月

- ・高校を卒業した学生から2月の合宿に参加(12年年末合宿での宿題提出)。
- ・大学4年間でのテニス活動における準備(基礎体力や基礎技術の改善)。
- ・翌3月に大学で開催する男女の国際大会の準備をする。
- ・これからの生活拠点、活動の準備をする。
- ・国際大会参加を想定し、ITFのI-pin(アイ・ピン)登録と春の男子フューチャーズ、女子サーキットへの申し込みを行う。

3月

- ・基礎練習から応用練習への移行期。
- ・体力強化を継続する。
- ・月末から始まる男子フューチャーズと女子サーキットへの参加を目指すとともに、大会運営に参加する。



スーパーバイザーから審判のレクチャーなどを受ける学生

4年間の目標を考える。 学生は本物を学べ!!

**大学
1年**

- ・1年間で40単位取りきれるように努力する。
- ・体力、技術、精神の向上を目指す。
- ・基礎体力、基礎技術の取得。
- ・大学テニス界での自分の位置を確立すること。春／夏の関東学生での予選突破や本戦での活躍。インカレでの活躍。学生ランキングを上げること。
- ・新しい生活に慣れ、部活動とともに大学生活においての自分のペースを確立すること。

**大学
3年**

- ・3年生終了時に、124単位を取り切れるように努力する。
- ・勝負の年を充実させていく。
- ・海外遠征や国内トーナメントなどに積極的に参戦する。
- ・卒業後のことを見据えて、思いきりチャレンジする。
- ・卒業後に向けて進路を決定していく。部活動をきちんとこなしながら就職活動を行なう。

**大学
2年**

- ・さらに40単位を取り、3年生で124単位取り切れるように努力する。
- ・勝負の年にする。
- ・体力、技術力のさらなる向上。
- ・積極的に对外試合や国内一般トーナメントに参加する。
- ・目標を忘れず、周りに流されないこと。

**大学
4年**

- ・4年間の集大成として、思いきり勝負する(そうなるように1～3年生をコツコツと精一杯努力しておくことが重要)。
- ・積極的に海外遠征でチャレンジする。
- ・卒業後の準備をする(プロ、実業団、指導者、教員、一般社会人など、それぞれの道へ)。
- ・教職科目を履修している学生は、母校にて教育実習を行なう。

Aプロジェクト

亞細亞テニス部員が4年間かけて達成することを “Aプロジェクト”と呼ぶ

- ・JTA(全日本ランキング)100位以内を目指す。(男子1243位～1位／女子658位～1位)そして、全日本選手権への出場、活躍を目指す。

- ・年間52週のうち3分の1の休みをうまく活用してオープン大会へ積極的に参加、ランキングを上げる。
- ・テニスの戦略&戦術を学び、必要な技術に

- ・磨きをかけていく。
- ・基礎体力の向上を目標に計画性をもち、目標達成の原動力にする。

戦術の研究 情報・理論の収集・勉強

コーチングスタッフは、ユニバーシアード元日本代表選手、全日本チャンピオン、インカレチャンピオン、グランドスラム出場経験者など。その経験を生かし、年間の練習プラン、メニュー作成から、実戦練習、戦術、ゲーム研究までを学生といっしょに行なう。

・堀内監督によるテニス講義「戦略と戦術」について、それに必要な「9つのボール調整」「ナチュラルスピンドサービス」などが考え方のベースとなる。

・部室には、テニス、トレーニングに関する1000冊を超える書籍やテニス関連の映像教材が設置されていて、自由に利用できる。

・毎年1月に行なわれるオーストラリアン・オープン観戦の遠征や、国内主要大会観戦(デ杯・フェド杯・ジャパンオープン・東レPPO・全日本)に、積極的に出掛けて、理論を勉強する。情報収集の重要性。

・主催する男女国際大会でのゲーム分析(サービス、リターンの確率／エース・ミスの調査比較など)。出場学生のほか、参加選手のデータ収集も可能となり、非常に有効な情報収集、研究の場となる。

・自身の練習や試合を撮影し、部室のテレビなどを使ってチェック、改善に役立てる。

・主要大会のゲーム映像を部室の大型テレビで研究。

・関東大学テニスリーグなどのゲーム分析。

・時間や空間、場所取りなどテニスにおける戦術をゲーム分析含め映像やデータなどから読み取り、実際に役立つように処理し修得する。

試合後のミーティングが特に重要

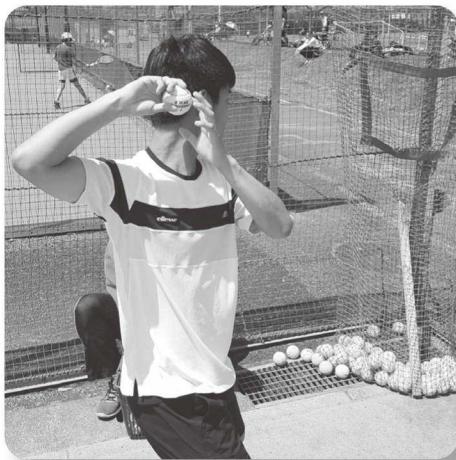
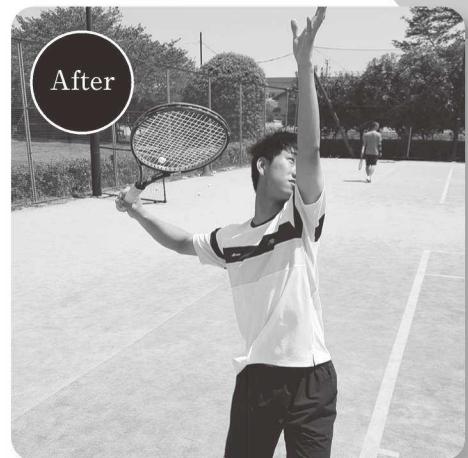
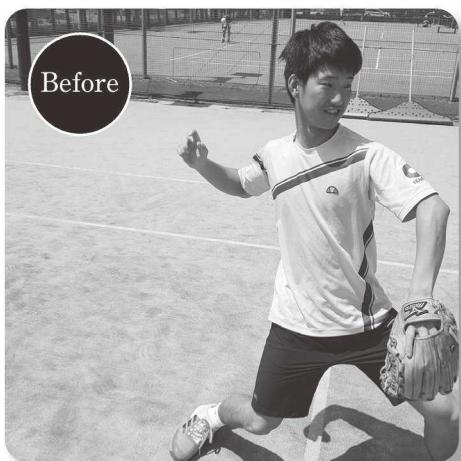
トーナメントを終えたあとは、コーチングスタッフとミーティングを行なう。反省をもとに改善点を洗い直し、その反省を生かし、次のプランを作成し実践していく。

卒業生のプロたちも学生を強力サポート

卒業生で選手活動をしている比嘉明人プロ、井上貴博プロ、長谷川梨紗プロ、矢野洋プロなどが、大会の合間に練習に参加し、学生を引っ張っている。心・技・体を学生とともに鍛え、磨き上げていくことができるのも、いまの亞細亞の大きな特徴。卒業生プロたちは、卒業後も大学をホームコートとして活用している。

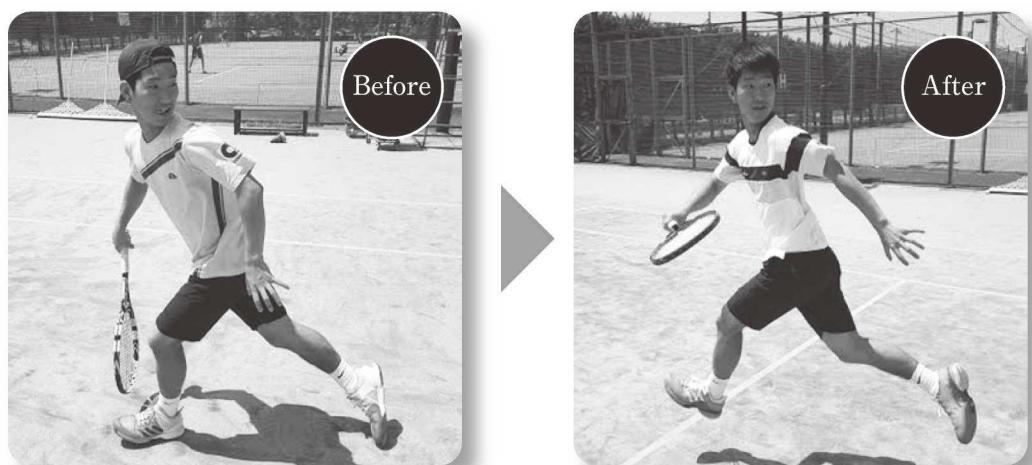
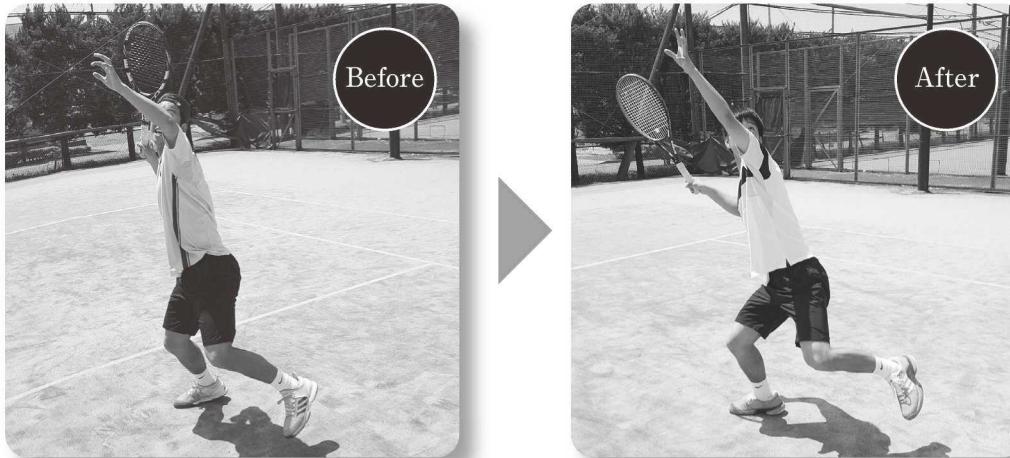
部活動紹介 投球・サーブ

亜細亜大学テニス部では、野球の投球動作がサーブの腕の動きと似ていることから、アップでキャッチボールをしたりピッチングの速度を測ったりしています。また、男子は110km、女子は90kmを目標として日々努力しています。



部活動紹介 スマッシュ

ポイントの中で相手を追い詰めた際に絶対にミスをしてはいけないショットがスマッシュです。スマッシュはそのミス1本で試合の流れが変わったり、それを決めるなどでポイントを簡単に取ることができる大事なショットになるので亜細亜大学テニス部では、特に力を入れて練習しています。



自分は、入学当初はピッティングの速度が103kmしか出せず空いた時間などはキャッチボールをしたり、Youtubeなどでプロ野球選手の投球動作の動画を見たりしていました。最初は、投球のフォームを変えたりして上手くいかないことが多かったので嫌になってしまったりしたのですが毎日続けていくことで少しづつ球速が上がり今では118km出せるようになりました。続ける努力が出来れば結果はついてくると思います。一緒に亜細亜大学テニス部でテニスを頑張ってみませんか?



1年間の流れ

授業+練習(火-金◎16:00-20:30、土日◎9:00-18:00)+試合

**練習(火-日◎9:00-18:00)
+試合**

4月

5月

6月

7月

8月

9月

授業・テスト



前期授業(15週間)

テスト

休暇

学生大会

春の関東学生
(予選・本戦)

夏の関東学生
(予選)

インカレ 夏の関東学生

関東リーグ(本戦)

テニス

女子サーキット
\$80K・\$60K・\$25K(6大会)

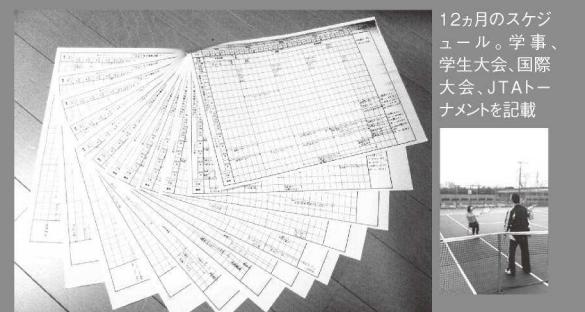
男子フェューチャーズ
F6~F8(3大会)

一般・
国際大会

(テスト・主要学生大会期間を除き、授業との兼ね合いを考えて自身のレベルを

年間スケジュール

- ・『国際大会チャリティークリニック』を年間20回を目標に開催
(※写真⑪)チャリティークリニックの風景
- ・毎年3月後半に男女国際大会を主催。男子F1フェューチャーズ(\$1万)／女子サーキット(\$1万)



12ヶ月のスケジュー
ル。学事、
学生大会、国際
大会、JTAトーナメントを記載

月間スケジュール

- ・対抗戦やトーナメントスケジュールの確認
- ・クリニックや行事の確認
- ・試合、練習計画作成



12ヶ月のスケジュー
ル。学事、学生大会、
国際大会、JTAトーナメントを記載



考慮し20万~300万までの国内大会)

週間スケジュール

- 基本的に毎週月曜日がOFF
- 外部スクールへアシstantトコーチ派遣／①昭和の森TS、②武蔵野ドームTC
- 毎週水曜日(授業期間中)は、武蔵野キャンパスにてお昼にミーティング
- 土日には、その週の反省と次週の確認を含めミーティング

日常のオントコートスタッフ陣

- 堀内昌一監督／森稔詞コーチ(週6日)
- 宮崎靖雄プロ(週5日)
- 長久保大樹プロ(週2~4日)
- 佐藤武文プロ(週3日)

1日スケジュール

授業有り (練習時間／火-金◎16:00-20:30、土日◎9:00-18:00)

- 基本的に1限が9:00からスタート。テニス部員はできるだけ3限までに授業を登録受講し、練習時間の確保に努める。
- 10面のテニスコートを使用する。
- オンコート練習(ナイター設備があり、20:30まで練習可能)。
- 3時間の練習と1.5時間のトレーニング。男子10km、女子8kmのランニング。
- 400mトラックを使いインターバルやランニング、フットワークトレーニングなど。
- トレーニングジムにてウェイトトレーニング。コートではフットワークドリルやプライオメトリクストレーニングなどを行なう。
- 雨の場合は、昭和の森TSインドアコートへ移動して、練習する場合もある。

契約トレーナーとともにフットワークトレーニングを行なう



我々は本物のテニスを追求する。

心の追求

- ・スポーツマンシップの獲得(グッドルーザー～潔く負けを認められる人になるためには…)
- ・メンタルトレーニング受講(月1回、部員は高妻容一先生の講義を受講)。メンタルのスキルアップを実戦している。
- ・礼儀やモラルを大切にする(テニス部というチームで、仲間との協調性を磨き、団体行動において必要とされるモノを取得する)。
- ・PDCA(plan / do / check / action)の徹底。
- ・復習の徹底(試合報告書の作成や本を読み、座学を受けた際の感想文作成など)
- ・個々が毎日精一杯努力し、人間的成長を目指す。



テキスト『スポーツマンシップを考える』

技の追求

なぜ必要なのか?

テニスは対戦競技であり、ネットを挟んで相手と対峙し、1ポイントを奪い合うスポーツ。1ポイントを奪い合い、1ポイントの積み重ねが1ゲームになり、1ゲームの積み重ねが1セットになり、1セットの積み重ねが1試合になる。

そのようなゲーム特性を踏まえると対戦するふたりは、テニスコートの中で、「間」=時間を使うこと、「場」=スペースを確保し、あるいは埋めることを考えて、実行に移す。テニスはお互いが「時間」と「場所」を奪い合うスポーツである。その手段として必要になるのが「技」。

現在の競技力は劇的に進歩しており、スピードもスピinnもリカバリーも戦術も、より速く、より重く、より変化に富み、より高度に、より巧みになっている。スピードがある——すなわち時間がない——限られた時間の中で、プレイヤーの選択は、<いかに時間を有効に使うか>という、<戦術に基づいた技術>に進化している。

それは、<いかに無駄な時間をなくすか>ということにつながり、さらに、より機能的な運動に近づくという再現性の高い運動>をすることでもある。それが、いま我々が目指している「技」である!

体の追求

・専属トレーナーによる年間50日間のトレーニング指導。

・毎日のランニング(男子10km／女子8km)

・火曜日-金曜日(平日)は3時間のオンコート練習と1時間30分のトレーニングで、徹底的に「技」と「体」を追求する。

・テニスコート(ナイター完備)、陸上トラック、トレーニングジムともに9:00-20:30まで利用できる。

・トレーニング1時間30分の内容は、韓国式(体幹)トレーニング、ジムトレーニング、オンコートフットワークドリル、メディシンボールでのプライオメトリックトレーニングなど。

・土・日・休日は6時間のオンコート練習となる。

……なぜ6時間もオンコート練習か
……シングルス3セットマッチを2試合、ダブルス3セットマッチを1試合という、現行ルールでの最大ゲーム数を問題なくプレーするための準備。それに耐えられるだけの身体をつくることを目標にしている。常に「将来」に目を向けてトレーニングする。



目的意識を常に持ってランニング

すべてに共通、練習はできるまでやる!

どんなことが必要?

- 「再現性の高い運動」
- 「戦術に基づいた技術」
- 「時間をつくる」

- ・時間をつくるとミスが減る。時間をつくると相手を「観る」「探る」「読む」ことができる。時間をつくると場所が確保できる。
- ・我々は、時間をつくるために必要な技術、「戦術的技術」も追求していく。
- ・ただボールを打つだけでなく、技術の効果をどう上げるかを考えながら、技術習得を目指す。
- ・必ずその技術を習得するために、時間で区切った練習はせずに、できるまでやる～達成型の練習を行なう。
- ・対人練習はもちろんのこと、選手同士のコーチング練習、高校生やジュニア、一般プレーヤーを対象としたクリニックでの指導も、さまざまな角度から「技」を磨くためのものである。

もっとも追求している技術のひとつが「サービス」

試合の中で使う全ショットのうち、3分の1を占めるのがサービスである。ということは、3時間の練習であれば、1時間はサービス練習に費やす必要があると考える。サービスは、テニスの中で唯一のクローズドスキル(相手の影響を受けずに打てるショット)であり、自分自身でコントロールできるショット。サービスを追求することは、テニスの質を高める上で絶対に外せない。だからどんなに時間がかかるとも、亞細亞では徹底的に追求し、改善し、習得を目指す。

基本的にストロークにおいては、ボール調整(9種類と考えている)を行ない、練習に取り組む。各コートにはゴムで高さを設定し、目指すボールの種類をもって、この高さをクリアするまで練習は終わらない



写真◎●●●●

19

88年、亜細亜大学テニス部は日々的な強化をスタートさせました。その舵取りをしたのが、私の恩師のひとりである亜細亜大学元学長、衛藤瀬吉先生（故人）です。先生は「テニスは、ラケット1本で世界中どこでもプレーすることができ、半日でいろいろな国の人とも親交を深めることのできる素晴らしいスポーツ」とおっしゃっていました。

私はいま、そのテニスを通して、志ある学生たちと日の出のテニスコートで汗を流しています。

関東大学テニスリーグ男子7部／女子5部からスタートし、大学王座優勝まで上り詰め、数々の全日本優勝者やグランドスラムでプレーする選手を輩出してきた亜細亜には、現在、ATP・WTAポイントを取得してグランドスラム出場を夢みる学生や、全日本、インカレ、関東学生に出席し、優勝することを目標に日々練習に励んでいる学生、ケガからの復帰を目標にリハビリしている学生などがあります。

そんな学生たちがいる現場では、目標を達成した学生が、新たな目標に向かいいっそう努力する瞬間、目標に届かずあきらめかけ、もがいている瞬間、再度挑戦している瞬間、目標を失い、迷っている瞬間など、それぞれの一喜一憂を目になります。その中で私の役目は、個々の「夢」を思い起こさせ、目の前で起きていることに左右されず、軸をもち、軸をぶらさず、目の前の小さなことからクリアしていくようにアドバイスし、導くことです。



大学4年間は、大人になっていく過程でもっとも重要な時期です。一見「楽しそう」に思えることが多々出てきて、気持ちがぶれることがあります。でも長い人生、いくらでも時間はあります。いましか打ち込めないものを見定め、自ら何をすべきか優先順位をつけて自分を磨いてほしいと思います。

テニスを長くやっているとうまくいかないことだらけ、あきらめそうになる瞬間もあります。しかし、小さい頃から好きで続けてきた「夢」を簡単にあきらめてはいけません。亜細亜で「夢」を必死に追い続けてみませんか。

私たち、亜細亜大学テニス部の目指す「夢」とは、テニスを通じて人間力を高めることにあります。大学王座やインカレを獲ることに収まらず、全日本選手権優勝やユニバーシアード、グランドスラムへの挑戦——と同時に、社会に出ても大きな力となるスポーツマンシップを修得することです。

「夢」の実現には、まず自分を信じて努力し、学生生活で仲間をつくり、学業で知識を深め、部活動を通して思いやりをもてるように、そして人に感謝できるように、人のためになれるよう人に間力を磨くことです。

現在、それらを経験してきたコーチングスタッフ、堀内監督をはじめ、卒業生たち——グランドスラム出場経験を持つ岡本聖子、インカレ・チャンピオンの赤堀奈緒、インカレインドア・チャンピオンの宮崎靖雄、そして私——全員学生のオリンピックであるユニバーシアード日本代表経験者が、日々コートに立ち、学生たちを指導しています。

現在の亜細亜大学テニス部のリーグ戦、個人戦の結果を振り返ると、課題は多く、私はもう一度初心に戻って、取り組まなければならないと思っています。自分の学生時代を思い出し、学生たちとコートに立ってボールを打ち合い、うれしいときはともに喜び、つらいときはともに歯を食い縛り、同じ夢を追いかけようと思います。「夢を変えずに自分を変えよう！」——私の好きな言葉です。いっしょに夢を叶えませんか。

**夢を簡単にあきらめないで。
「夢」を変えずに
「自分」を変えましょう！
亜細亜で「夢」を必死に
追い続けてみませんか。**

森 稔詞

(亜細亜大学テニス部コーチ)

挨拶

学長 栗田 充治

(亞細亞大学・亞細亞大学短期大学部)

「日の出から世界へ」
の夢を持って
突き進んで!
たくさんのことを行
べるのが
亞細亞大学
テニス部です。

広島大学附属高校時代はバ
スケットボール部でした。3
年の時キャプテンを任せられま
した。練習メニューは自分た
ちで考えて練習をするという
レベルでしたので、成績は余
り奮いませんでした。

それでも、みなと練習す
る時間は高校生活の中の充
実した時間でした。コート
そばの国旗掲揚台の上に寝
そべって眺めた秋の空の透
明感に満ちた「青色」は今
でもはっきりと目に浮びま
す。こうした解放感はその
後、同じ様に味わうことは
出来なかったようです。

大学でスキーを始めたとこ
ろ、シーズンオフの鍛錬にと
テニス同好会に誘われました。
色々なつながりの同好者と安
く借りられるコートを探しな
がら休日テニスを楽しむよう
になりました。

亞細亞大学テニ
ス部は堀内監督は
じめ、指導する
方々が素晴らしい人
ばかりです。部員
の学生諸君も素晴
らしい青年達です。

教員養成を担当し
ているとき、毎年数人のテ
ニス部員が教職課程を履修
していましたが、みんな、
明るく誠実で頑張り屋の若
者でした。

私がテニス部の活動で感心
するのは、国際大会を開催す
るというその心意気です。堀
内監督から「日の出（亞細亞
大学運動部キャンパスがあ
る）から世界へ」という夢の
はなしを聞いたことがあります
が、素晴らしいビジョンだと
感じました。国際大会と言
っても、「男子フェーチャー
ズ」「女子サーキット」とい



う最低辺のものですが、勝ち
進めば世界ポイントを獲得で
き、世界に挑戦できる足掛り
となる大会だと言います。し
かも、この大会をテニス部員
たちが運営するというのです。
大会運営から学ぶことが多い
というのが堀内監督の考えで
すが、私もその通りだと同感
しました。選手として精進し
ながら、マネジメントなどた
くさんのことを学べるのが亞
細亞大学テニス部です。「日
の出から世界へ」の夢を持っ
て突き進んでくださることを
期待しています。



部长 宇田川 裕

(国際交流センター部長)

社会に有為な人材の輩出、
社会貢献に取り組み、
“世界に開かれた
テニスチーム”を目指します。

亜細亞大学テニス部は、50年を超える歴史と伝統、輝かしい戦績や、多方面で活躍される卒業生の存在だけではなく、他には実現できない画期的な練習プログラムや教育システムをもって運営され、常に前進し続けています。

テニスプレーヤーの誰もが、満足できる成果を上げたいと思っています。ただ、練習によって技術を磨き、単に大会に出場するだけでは、その目的は達成できません。プレーするのは人間ですから、全般を鍛えていくことが必要なのです。また、今般の激変する社会環境にあって、大学卒業後に社会人として逞しく生き抜くには、スポーツの技術や理論を通して、思考力、実践力を身につけ、友人との協働とさまざまな社会体験によりコミュニケーション能力を養って、人間力を高めることが重要となります。

これを実践するために、私たちはさまざまな実践プログラムを用意しています。まさに、心・技・体を鍛え上げる、人間力の高いバランスのとれた学生育成を行なうのです。

そして、海外遠征や国際テニス大会の運営によって、国際感覚をも磨いてゆくのです。

私たちは、社会に有為な人材の輩出やテニス競技普及等の社会貢献に取り組み、皆さんとともに“世界に開かれたテニスチーム”となることを目指していきたいと思います。



部长 金子 国彦

(学生生活課長)

明るく、爽やかで、個性豊かな
バランスのとれた人間に
成長してほしい。
国際社会に貢献できる
人材育成が目標です。

亜細亞大学テニス部は、スポーツ新興の一環として大学の強化クラブに指定されており、大学テニス界においてトップクラスの戦績を挙げています。これも堀内昌一監督、森稔詞コーチ等の熱心な指導による、部員ひとりひとりの日頃の努力と、チームとしてのまとまりがこのような良い結果につながったと思います。

本学は、単にテニスが強い大学を目指してはおりません。部員ひとりひとりが社会で活躍できるよう育成すべく、大学生活においてもていねいな指導を心がけております。特に授業のサポート体制は他大学にないものであります。同時に生活指導も行い人格形成においても、明るく、爽やかで個性豊かでバランスのとれた人間に成長していくことを目標としています。

また、大学という教育機関が、世界レベルへの登竜門となる国際テニス大会を主催することにより、本学の使命でありアジア地域を中心とした国際化の取り組みを実践する場となり、国際社会で貢献できる有為な人材の育成を図っております。

人柄がよく、やる気のある者、自分の可能性を感じせひととも、亜細亞大学のテニス部にチャレンジしてください。クラブ一同、歓迎いたします。

衛藤藩吉先生を偲んで

この出会いですべては始まった

文◎堀内昌一

「亜細亞大学学長の衛藤です。帰国したら大學で会おう!」——昭和62年7月、私がジュニア日本代表チームのコーチとしてロンドン（ウインブルドン）に遠征していたときにいただいた電話です。

帰国して学長室を訪ねると、衛藤先生はランニングシャツに下駄履きといいで立ちで私を迎え、大学改革についての思いをぶつけてきました。そこで私も、生意気にも自分の思いをぶつけました。日本テニス界は18歳以上の強化が課題であること、大学での指導の必要性、そして世界挑戦——当時の私は26歳です。

衛藤先生は、私の話をここにこしながら聴いてください、こう言いました。「テニスはどこへ行っても誰とでも友達になれるスポーツ」「誠実な人柄のテニス選手は、どんな仕事をひとりでやり抜くことができるよ」と。衛藤先生はテニスが大好きで、自ら体験されて、それを知っていたからこそその言葉でした。

スポーツを強化する目的が、宣伝や経済効果を考えての手段となることが少なくない世の中で、衛藤先生の純粋な考え方には惹かれ、亜細亞大学を選ぶのにもう時間はいりませんでした。あれから25年が経ち、あのときがなかったら……いまの私もテニス部もありません。だから衛藤先生、心からありがとうございます。いつも見守っていてください。

「亜細亞大学学長の衛藤です。帰国したら大學で会おう!」——昭和62年7月、私がジュニア日本代表チームのコーチとしてロンドン（ウインブルドン）に遠征していたときにいただいた電話です。

帰国して学長室を訪ねると、衛藤先生はランニングシャツに下駄履きといいで立ちで私を迎え、大学改革についての思いをぶつけてきました。そこで私も、生意気にも自分の思いをぶつけました。日本テニス界は18歳以上の強化が課題であること、大学での指導の必要性、そして世界挑戦——当時の私は26歳です。

衛藤先生は、私の話をここにこしながら聴いてください、こう言いました。「テニスはどこへ行っても誰とでも友達になれるスポーツ」「誠実な人柄のテニス選手は、どんな仕事をひとりでやり抜くことができるよ」と。衛藤先生はテニスが大好きで、自ら体験されて、それを知っていたからこそその言葉でした。

スポーツを強化する目的が、宣伝や経済効果を考えての手段となることが少なくない世の中で、衛藤先生の純粋な考え方には惹かれ、亜細亞大学を選ぶのにもう時間はいりませんでした。あれから25年が経ち、あのときがなかったら……いまの私もテニス部もありません。だから衛藤先生、心からあ

亜細亜大学テニス部 指導スタッフ紹介

ディレクター兼テクニカルコーチ

教え子のコーチ陣に囲まれて、指導体制はとても充実しています。その指導に甘えることなく、自立した学生、選手、部活動を目指しています。



堀内昌一監督

(亜細亜大学教授／テニス部監督)

全体を統括し、学生がテニスに集中して競技力を向上できる環境を整えている。これまで育ててきたOB、OG複数名をコーチとして迎え、指導者が常駐するほか、遠征に帯同できる準備もある。そのほか、トレーニングコーチ、メンタルコーチ、メディカルスタッフも揃え、あらゆる角度から学生をサポートする。

ほりうち・しょういち◎1960年に東京都世田谷区に生まれる。1972年に中央大学付属高校に入学、戦績はIH都予選ベスト64だった。日本体育大学に入学し2年生のときアメリカのニック・ポロティーに留学、その後New Mexico Military Institute 大学に留学。1982年には全米短期大学テニス選手権でベスト8に入った。帰国直後のインカレでベスト8に入り、翌年の関東学生では優勝。その後、ユニバーシアードに選ばれた。日本体育大学大学院修了後、1987年に亜細亜大学の衛藤瀧吉学長と出会い、テニス部の監督を引き受ける。しかしそのときの亜細亜大学は男子7部女子5部、共に最下位であった。1988年、監督の指導力に惹かれ、前年のIHチャンピオンの岡田岳二さんや山崎史子さんをはじめ、高田充さんらの高校トップクラスの選手が亜細亜に入學し亜細亜大学の快進撃が始まった。ATP S 571位/D 713位 JOP S 17位/D 13位

テクニカルコーチ

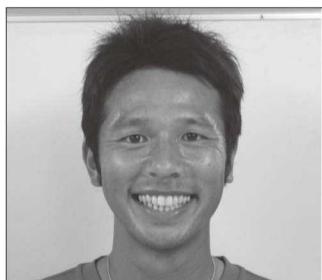


森 稔詞

(亜細亜大学学生生活課所属)

大学強化第一期生が母校に戻り、学生に“テニスの精神”を叩き込む全力指導をしている。週6日男女部員を指導。

もりとしつぐ◎1969年12月22日大阪府で、父(故)顕郎と母孝子の間に生まれ、弟大明の2人兄弟。父の仕事の都合で東京へ上京。小学校在学中、地元の多摩ローンテニスクラブで毎日壁打ちし週末は野球。中学校在学中、平日は多摩ローン、週末は朝日生命テニス教室(スクール)へ通う。のち、大阪にある名門清風高校へ進学。3年次インターハイでは団体・単・複すべて準優勝。全日本ジュニア18歳以下複優勝。その後、亜細亜大学へ進学し3・4年次インカレ単2連覇とアジア学生選手権単複2連覇。90年ユニバーシアード日本代表(イギリス)複ベスト8。卒業後プロ転向プリンスホテルと契約。92年全日本テニス選手権優勝、94年全日本室内選手権単優勝。97年引退。現在、亜細亜大学堀内監督の下、後進の指導にあたる。07年ユニバーシアード日本代表監督。日本ランキング単5位・複4位／ATPランキング単579位・複473位が最高。大学1年生か8年間ナショナルチームメンバー。S級エリートコーチ。



宮崎靖雄

現役プロでありながら、週5日男子部員を指導している。アカデミックな思想を持ち合わせ、学生との打ち合いで与える影響は大きい。

みやざき・やすお◎1981年8月29日熊本県出身。小学4年からテニスを始め、中学3年初めて全国大会に出場(全国中学生テニス選手権)。熊本マリスト学園高校入学、高校2年次、全国選抜室内ジュニア選手権優勝。3年次ウィンブルドンジュニア出場、全日本ジュニア複優勝。亜細亜大学入学。全日本学生室内テニス選手権単優勝、複準優勝。03.05年ユニバーシアード(トルコ)複ベスト8。日本ランキング単17位、複16位／世界ランキング単790位、複829位。現在は筑波大学大学院を修了。ASC理事・国立電通大・慶大にて非常勤講師を努めながら、後進のコーチをしている。



佐藤武文

大学時代に大きな成長をし、結果を出しているということもあります。学生に大きな影響を与えている。

さとう・たけふみ◎1971年東京都港区生まれ。高校では関東ジュニアすら出場なしという目立った戦績を残していくなかったが、亜細亜大学にて1年生春闇で関東学生、2年でインカレ出場、3・4年次に夏闇複優勝、全日本選手権複出場と多大な戦績を残す。卒業後も関西オープンダブルスで何度も優勝している。1999年テニスコーチとなる。小畑沙織、吉田友佳のツアーコーチとして世界を転戦するようになる。森上希子のツアーコーチだったときウィンブルドンのセンターコートで試合を行うまでに育てあげた。現在はCS放送GAORAでのWTA、ATPツアーのテレビ解説をしながら亜細亜大学の学生のコーチをしている。



赤堀奈緒

週1日女子部員を指導。5部だった亜細亜を1部の常連にした立役者は、そのハングリー精神と職人気質な身体の使い方を指導してくれる。

あかほり・なお◎1971年生まれ。1987年東海大学附属相模高等学校に入学し2年次に全日本選手権ベスト8に入る。1990年亜細亜大学に入学し2年次にアジア学生テニス選手権(台湾)S優勝。全日本学生選手権Sベスト4、D優勝。全日本学生室内選手権S、D優勝。3年次には関東学生選手権S優勝。全日本学生選手権S優勝、D準優勝。全日本選手権Sベスト16、D優勝。1998年腰椎椎間板ヘルニアで引退。1999年～現在、民間クラブのテニスコーチ。2001年～2004年東京医療専門学校(鍼灸)。2004年～亜細亜大学コーチをしながら鍼灸マッサージの仕事をする。2011年～現在、祖師ヶ谷大蔵で治療院を開業中。

テクニカルコーチ



岡本聖子

週4日女子部員を指導。“プロに負けない学生プロ”を体現した張本人が、母校に戻って来た。明るい笑顔の指導で部活が楽しくなっている。



北崎悦子

週1女子部員を指導。大学卒業後にプロ転向し、現在は大学院で研究活動をしている。テニスの指導だけでなく学生の悩みにも親身になって考えててくれる。



長久保大樹

現役プロのツアーコーチにも帯同し、その経験を活かした指導から学生が厚い信頼を置いている。また、トレーニングの指導も行う。

おかもと・せいこ◎1978年大阪府豊中市に生まれる。小学校高学年でテニスを始め、中学、高校とテニスの名門である夙川学院に進学。インターハイ団体3位、単ペスト8、複ペスト4の成績を残す。その後、亞細亜大学堀内監督の「プロに負けない学生」という言葉に惹かれ、亞細亜大学へ進学。卒業後、プロ転向し、グランドスラムの全豪ダブルス2年連続出場、シングルス予選すべてに出場する。全日本タイトル8、WTAツアータイトル1、ITFサーキット決勝進出最多記録を持つ。6年前に現役を引退し、これまでの経験を元に、後輩の指導、プロ選手のサポート、テニスウェアの開発を行っている。

きたざき・えつこ◎1982年東京都出身。東海大浦安高校卒。00年全日本ジュニア18歳以下単ペスト8、01年亞細亜大学入学。01年夏闇・単優勝、インカレ単ペスト4、インカレインドア単準優勝。03年インカレインドア複優勝。卒業後にはプロ転向をし、07広島国際女子オープン単優勝。09年東レPPO予選出場。自己最高位はWTA単516位12年現役引退。現在、女子部員の指導と筑波大学大学院でコーチング原論・トレーニング学領域を勉強中。

ながくば・だいき◎1989年7月19日生まれ。学生時代は春闇複ペスト4、新進複優勝、インカレ複ペスト8、インカレインドア複ペスト8、全日本学生テニス選手権複出場、ニッケ全日本テニス選手権複ペスト16に入る。現在はASC(アジアスポーツクラブ)でコーチをしながら学生のコーチング&トレーニングを指導している。

トレーニング担当



青木祐子

月に数回トレーニング全般を指導。試合時にはチームに帯同して、コンディショニングからマッサージまでを行う。



高妻容一

月に1回、メンタルトレーニングを指導。学生自らがトレーニングできるように、スクーデントトレーニングという役割を作り、トレーニングが継続できるよう努力している。



平石貴久

亞細亜大学テニス部の心強いチームドクター。血液検査を定期的に行なうなどして、身体に関する基礎知識を指導する勉強会を行うなどして、学生の体制を管理している。

あおき・ゆうこ◎1971年神奈川県鎌倉市生まれ。東京学芸大学人間科学課程にてバイオメカニクストレーニング理論・運動処方等を学ぶ。卒業後日产スポーツプラザ株式会社に入社。インストラクターとして勤務資格取得のため退社し帝京医学技術専門学校に入学。柔道整復師の資格を取得。社会人アメリカンフトボールチームのトレーナーや高校バスケットボール部のトレーナーとして活動し2007年から亞細亜大学テニス部にトレーナーとして参加。

こうづま・よういち◎1955年、宮崎県生まれ。福岡大学(体育学部体育学科)卒。中京大学大学院(体育学研究科体育心理学)修了後、フロリダ州立大学へ留学(スポーツ心理学など)、博士課程中退。1993年、州立フロリダ大学へ1年間の研究留学。近畿大学教養部助教授を経て、現在、東海大学体育学部教授。1985~2001年、日本オリンピック委員会のメンタルマネジメント研究班員。1994年からメンタルトレーニング・応用スポーツ心理学研究会をスタート。所属学会は「国際メンタルトレーニング学会」など10を数える。

ひらいし・たかひさ◎1950年鹿児島県生まれ。東京慈恵会医科大学卒業。専門は内科、循環器科、スポーツ医学、放射線診断、東洋医学。鍼灸あん摩マッサージ指圧師。介護予防運動指導員。日本体育協会公認アスレティックトレーナー。駒澤大学卒業後、小守スポーツマッサージで修業し、1977年からジタ工業サッカー部のトレーナーに就任。81年に独立し、日本トレーナー協会所属、三宅スポーツマッサージを設立。医療法人社団貴生会理事長。東京ミッドタウンメディカルセンター平石貴久特別外来ドクター。

学内スタッフ



宇田川 裕 (国際交流センター部長)

亞細亜大学テニス部OBで、男子部部長である。現在は亞細亜大学職員として、学校の仕事もしながらテニス部の運営や就職の手伝いをしている。亞細亜大学国際大会事務局長。



金子国彦 (学生生活課課長)

亞細亜大学テニス部OBで女子部部長である。現在は亞細亜大学職員として年度始めに履修カリキュラムのミーティングをしたり、部活との兼ね合いで履修ができない授業がある学生の、時間割変更などのサポートをしている。

部員名簿

①学部②出身地③出身校④生年月日⑤テニス歴
⑥尊敬する人⑦趣味⑧好きな言葉⑨主な戦績⑩目標⑪自己PR

男子
硬式庭球部**橋本大貴**

(主将)4年

①経済学部②北海道③秀明英光高校④1995年8月14日⑤11年⑥両親⑦映画鑑賞⑧GIANT KILLING⑨全日本学生テニス選手権大会複ベスト32、関東学生新進テニス選手権大会複準優勝⑩王座優勝⑪誰よりも汗を流し、涙を流したのは亞細亞です。我が校の誇りを胸に、狙うはただ一つ王座優勝のみ。

**恒松拓未**

(副将)4年

①法学部②埼玉県③大成高校④1996年1月26日⑤14年⑥秋元康、ツォンガ⑦ストレッチ、ランニング、腹筋、旅行⑧大器晩成⑨全日本学生テニス選手権大会複2R⑩単複インカレ出場⑪自分は常に向上心を持ち、亞細亞1のストイックブレイヤーです。亞細亞で副将として最後の1年頑張ります。

**四釜泰知**

(主務)4年

①経営学部②山形県③長井高等学校④1994年5月9日⑤6年⑥兄⑦スポーツ鑑賞⑧因果応報⑨関東学生テニス選手権大会単1次SF⑩関東学生⑪今年度主務です。大層な役職を任せていますが、テニスも仕事も最高の同期や後輩の仲間に支えられてしかいません。そして最後は皆で笑いましょう。

**伊藤 陸**

4年

①経済学部②東京都③堀越高校④1995年9月27日⑤16年⑥マイトガイ⑦風に当たること⑧いちばんいけないのは自分なんかめだと思いつむことだよ。⑨関東学生新進テニス選手権大会複ベスト8⑩王座優勝⑪早いことでもう4年です。大学最後の年、悔いの残らないように頑張ります。また、最上級生としてチームを支えられるような存在になりたいです。

**結城慎之介**

4年

①国際関係学部②新潟県③東京学館新潟高校④1995年10月21日⑤17年⑥仲村元希⑦サッカー、スポーツ観戦⑧打たないシートは100%外れる⑨単関東学生⑩インカレ優勝⑪最後の年、今まで一番良い結果が出せるようにフォアハンドとフットワークを武器にコートを駆け回り、攻めまくります。

**宮 遼太**

4年

①法学部②東京都③日本大学明誠高校④1996年3月5日⑤12年⑥宮本武蔵⑦音楽鑑賞、ストレチ⑧常に生産性のある日々を⑨関東学生テニストーナメント大会1次SF⑩インカレ出場⑪持ち前の体力でコートの中を走り回ります。いつも笑顔を心がけています。

**坂本 徹**

4年

①経済学部②静岡県③四日市工業高校④1996年1月11日⑤14年⑥細美武士⑦燻製⑧自助協力⑨関東学生新進テニス選手権大会単本戦出場⑩インカレ出場⑪今年は最上級生で、就職活動もありますが、文武両道全力で頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

**梅岡優大**

4年

①国際関係学部②兵庫県③大阪産業大学附属高校④1995年6月19日⑤10年⑥黒田博樹⑦野球、読書、英単語の勉強⑧雪に耐えて梅花麗し⑨関東学生テニストーナメント大会単2次SF⑩関東学生、インカレに出場する、人間的に成長する⑪最上級生になり責任感が強くなりました。大学最後の年に活躍できるよう日々努力して悔いのない生活を最高の仲間達と送っていきます。

**芦澤 翔**

3年

①国際関係学部②長野県③松商学園④1996年11月30日⑤10年⑥本田圭佑⑦映画鑑賞⑧“ばか者”“よそ者”しか世界は変えられない⑨関東学生テニストーナメント大会1次予選SF⑩インカレ出場⑪今年は留学から戻ってきて前よりパワーアップしました。テニスも英語の勉強も、もっと頑張ります。

**林 大佑**

3年

①法学部②千葉県③秀明八千代高校④1996年11月10日⑤11年⑥宮野真守⑦写真⑧苦しい、もう止まってしまいたい、そう思った瞬間からの一步⑨関東学生テニストーナメント大会2次SF⑩関東学生⑪可能性がゼロになるとすればそれは諦めたとき。どんなに無意味と思われても自分からゼロにするのは嫌です。絶対に諦めません。

**原 崇人**

3年

①経済学部②埼玉県③秀明英光高校④1996年6月25日⑤10年⑥カニエ・ウエスト⑦音楽⑧一期一会⑨関東学生テニストーナメント大会複2次SF⑩関東学生の資格を取りリーグ戦で活躍すること。⑪埼玉県から参りました3年の原崇人と申します。大学生になってから早いもので、来年は四年目になります。自分の長所である明るい部分を忘れずに部活の仲間と毎日充実した日々を送っています!

**小林暖周**

3年

①経済学部②大阪府③大阪産業大学附属高等学校④1996年12月7日⑤10年⑥ティム・ヘンマン⑦映画鑑賞、読書、散歩⑧It's a piece of cake.⑨関東学生テニス選手権大会複2次SF⑩関東学生優勝⑪私は、プレッシャーを楽しめる人間です。何か難しい課題があると、どのように対処しようか考えるのが楽しく、解決策を考える意欲がわいてきます。特に、制約が多かつたり、時間的余裕が無い場合にやる気が倍増します



佐藤亘

3年

①経済学部②長崎県③海星高校④1997年3月8日⑤9年⑥カニエ・ウエスト⑦買い物⑧過去は変えられないが未来は変えられる⑨関東学生テニストーナメント大会二次SF⑩インカレ出場⑪学業とテニス共に妥協せずに4年間頑張っています!3年生になるので尊敬されるような人間になります。



相馬海斗

3年

①経営学部②埼玉県③所沢中央高校④1996年12月14日⑤5年⑥梅岡優大⑦ギター、読書、ハモること⑧苦難、困難、災難の無い人生は無難な人生だ。だから、難があるという事は有難い事だ。⑨関東学生テニストーナメント大会1次SF⑩インカレ出場⑪継続は力なりを信じたい。左利きを存分に活かしてナダルのようなプレーをします。



吉田慎

2年

①法学部②岐阜県③麗澤瑞浪高校④1997年12月16日⑤13年⑥両親⑦グルメ巡り、読書、買い物⑧凡事徹底⑨全日本学生テニス選手権大会複ベスト32、関東学生テニストーナメント大会複ベスト8⑩インカレ優勝⑪今年は勝負の年です。昨年は思うような結果を出せなかつたので、今こそ勝ちきれる選手になります。



岡庸輔

2年

①経済学部②埼玉県③浦和学院高校④1997年9月20日⑤9年⑥中村聰利⑦読書⑧不言実行⑨関東学生新進テニス選手権大会2次予選出場⑩インカレ出場⑪自分はサーブが武器なのでそのサーブを生かしていきたいと思います。毎日を全力で過ごしていきます。



加藤彰馬

2年

①法学部②神奈川県③横浜清風高校④1997年10月4日⑤14年⑥ジョコビッチ⑦映画鑑賞⑧継続は力なり⑨関東学生テニストーナメント大会単複ベスト8、関東学生テニス選手権大会単ベスト8、亞細亞フューチャーズR16⑩インカレ優勝、全日本選手権ベスト8⑪インカレ優勝できるように日々頑張ります。フォアハンド打てるようになります。



倉持侑希

2年

①経済学部②東京都③堀越高校④1998年1月27日⑤7年⑥親⑦映画鑑賞⑧塵も積もれば山となる⑨関東学生テニストーナメント大会1次F⑩インカレ出場⑪左利きを活かして得意なストロークを磨き、目標に向かって頑張りたいと思います。



児玉大輝

2年

①経営学部②三重県③鈴鹿高等学校④1998年2月17日⑤10年⑥ピートサンプラス⑦映画鑑賞⑧時は金なり⑨関東学生テニス選手権大会2次F⑩インカレ出場⑪身長190cmという高身長を活かして、サーブとフォアで4年間やりきりたいと思います。



志賀隼

2年

①経済学部②東京都③安田学園高校④1997年11月16日⑤9年⑥鈴木貴男さん、武井壯さん、切詰魁さん⑦音楽を聞くこと、買い物⑧柔軟思考⑨関東学生テニストーナメント大会複1次SF⑩毎日努力して、人としても成長する⑪自分は不器用で効率の良い人間ではありませんが、誰よりも考え自分の意志の持てる人間になろうと思っています。宜しくお願いします。



嶋田瑛介

2年

①経済学部②千葉県③秀明栄光高校④1997年4月10日⑤15年⑥橋本大貴、恒松拓未⑦読書、映画鑑賞、絵画(風景画)⑧一期一会⑨関東学生新進テニス選手権大会単1次F⑩4年間でインカレダブルス優勝、王座優勝⑪ここにちは新しい年が始まりました。去年の反省を踏まえ今年はテニスに精進していくと、ここに誓います。またテニスだけでなく勉学にも取り組み知識豊富な好青年を目指します!



高山裕哉

2年

①法学部②埼玉県③浦和学院高校④1997年6月1日⑤8年⑥両親⑦音楽鑑賞⑧中庸⑨関東学生テニストーナメント大会複1次SF⑩関東学生⑪4年間という短い学生生活を充実する為にも何事にも全力で取り組んで行きたいと思います。ランニングにすべてを捧げます。



堀匡毅

2年

①経営学部②滋賀県③鶴嶺高等学校④1996年9月19日⑤4年⑥両親⑦スポーツ観戦、音楽鑑賞、ショッピング⑧有言実行⑨神奈川県ベスト16(複、団)⑩インカレで勝つこと⑪怪我を治るために1年間の浪人を経てテニスが強くなるためにこの大学に入りました。恵まれているこの環境で他力本願になることなく、自ら率先して行動し、辛いことや苦しいことにも全力で取り組みます。



村西開斗

2年

①法学部②兵庫県③芦屋学園高校④1998年2月18日⑤9年⑥久田英登⑦ショッピング⑧必死⑨関西ジュニア複ベスト8⑩インカレ、王座出場⑪自分は誰にでも分け隔てなく接することのできる優しい性格の持ち主です。また、周りを明るくするのが得意でチームのムードメーカーです。



部員名簿

①学部②出身地③出身校④生年月日⑤テニス歴
 ⑥尊敬する人⑦趣味⑧好きな言葉⑨主な戦績⑩目標⑪自己PR

吳岡拓弥

1年

①経済学部②岐阜県
 ③麗澤瑞浪高校④1998年7月31日⑤9年⑥両親⑦読書、映画鑑賞⑧千日の稽古を鍛とし万日の稽古を練とす。⑨大阪インターハイ複ベスト16、和歌山国体出場⑩単複インカレ出場⑪サービスとフォアハンドを4年間で磨き上げ大学で少しでも勝てるように努力を惜しまず何事もポジティブに受け止め4年間頑張ります。



工藤颯人

1年

①経済学部②宮城県
 ③日の出高校④1998年9月19日⑤13年⑥ラファエル・ナダル⑦試合観戦⑧千里の道も一步から⑨東京都ジュニア単優勝、日の出オープン複準優勝⑩2年でインカレ優勝、3年で全日本選手権優勝、4年でチャレンジャー優勝⑪フットワークとフォアハンドが武器です。サーブとフォアハンドを磨いて世界で活躍できるような選手になります。



熊坂拓哉

1年

①法学部②山形県
 ③日大山形高校④1998年10月12日⑤13年⑥国府方雅晴⑦色々なスポーツをする事⑧人事を尽くして天命を待つ⑨全国選抜個人戦ベスト16、全日本ジュニア単32複16⑩インカレ単複優勝⑪安定感が武器です。最後まで諦めずにボールを追います。元気出して頑張ります。



塩谷大河

1年

①済学部②埼玉県
 ③浦和学院高校④1998年6月23日⑤12年⑥フェルナンド・ゴンザレス⑦映画鑑賞、ショッピング⑧冬来たりならば春遠からじ⑨個人戦インターハイ出場⑩インカレベスト8⑪高校生活で大変だった事もありましたが一度も諦めた事はありません。この事を活かして大学でも頑張っていきたいと思います。



高見沢岳飛

1年

①法学部②神奈川県③横浜清風高等学校④1998年5月18日⑤5年⑥スタンワウリンカ⑦音楽を聞く⑧楽しむ⑨2015年インターハイダブルスベスト8 関東Jrダブルス出場 2016年関東高校団体出場 関東Jrシングルス出場⑩全国を目指す⑪練習、トレーニングともに努力をして4年間頑張ります。



吉満優希

1年

①国際関係学部②愛知県③名古屋経済大学市邨高校④1998年12月29日⑤10年⑥イチロー⑦読書、トレーニング⑧報われない努力は努力と呼べない⑨インターハイ団体ベスト8、全国選抜ベスト8⑩王座優勝⑪華麗なシングルバックハンドと鍛え上げられたフットワークを活かして勝ちをもぎ取ります。



須田圭亮

1年

①法学部②大阪府③西武台高校④1999年1月22日⑤13年⑥モンフィス⑦音楽鑑賞⑧備えあれば憂いなし⑨県大会ベスト32⑩3年までにインカレ出場⑪自分はフィジカルと技術両方を強化し、戦術に磨きをかけ相手を支配するテニス目標に有意義な時間を過ごしたいです。



堀内竜輔

1年

①法学部②東京都③サレジオ学院高等学校④1998年9月21日⑤12年⑥ラファエル・ナダル⑦音楽鑑賞⑧全力投球⑨インターハイ単出場⑩インカレ単優勝⑪高校では大事なところで勝ちきれなかったので、大学ではメンタルを鍛えていこうと思っています。



山田将弘

1年

①都市創造学部②神奈川県③私立相模原高等学校④1999年1月12日⑤7年⑥スティーブ・ジョブズ⑦映画・演劇鑑賞、読書⑧子曰く、学びて思わざれば則ち罔し、思ひて学ばざれば則ち殆し。⑨U14神奈川県ジュニア選手権ベスト4⑩文武両道を目指し、リーグ戦のメンバーに入り有明で試合をする。⑪日進月歩をアイデンティティーとし、常に精進していきます。よろしくお願い致します。



清水奎吾

1年

①経営学部②滋賀県③光泉高等学校④1999年2月2日⑤13年⑥デルポトロ⑦音楽鑑賞⑧明日やろうとは馬鹿野郎⑨MUFGジュニアテニストーナメント2015準優勝⑩インカレ優勝⑪大学に入り、厳しいことはあると思いますが、乗り越えて1つでも上を目指して、日々の練習を重ねレベルアップしていきます。



大野一真

1年

①経営学部②東京都③大成高校④1998年5月11日⑤12年⑥岡川正樹コーチ⑦読書⑧努力⑨全国選抜高校テニス大会団体3位⑩インカレ出場⑪日々自分を追い込んで頑張っていきたいと思います。フォアハンド打てるようになります。



島亮太郎

1年

①法学部②東京都③私立杉並学院高校④1998年6月3日⑤6年⑥ノバク・ジョコビッチ⑦スポーツ観戦、読書⑧試行錯誤⑨西東京大会ベスト4⑩春関一次、二次予選突破⑪テニスの練習・トレーニング・授業、この全てをこなして心技体全てを高め、自分の目標を達成できるよう全力で頑張っていきます。



田中文彩

(主将)4年

①法学部②愛知県
③愛知県立津島東高校④1995年8月16日⑤10年⑥親⑦本を読むこと⑧志⑨関東学生テニストーナメント大会複ベスト4、全日本学生テニス選手権大会複ベスト32⑩インカレ優勝⑪今年は亞細亞が王座に行きます!その為に主将としてチームを引っ張り、自分自身も貢献できるように頑張ります。



足立菊華

(主務)4年

①国際関係学部②東京都③柳川高校④1995年9月16日⑤11年⑥両親⑦ムービークリエイト⑧七転び八起き⑨有明オーブン複ベスト4⑩全員で王座にいく!⑪最後の年攻める姿勢を忘れずに勝ちに貪欲になって戦います。就活も部活も全力で頑張ります。



近郷桃子

4年

①経営学部②埼玉県③弥栄高校④1996年3月13日⑤6年⑥イチロー⑦グルメ巡り⑧一生懸命⑨関東学生テニス選手権大会複2次F⑩春関で関東学生になります!インカレ出場⑪最後に結果出します!関東学生になります!いつでも前見て頑張ります!



山口真琴

3年

①法学部②福岡県③九州文化学園高④1997年1月21日⑤16年⑥錦織圭⑦グルメ巡り、寝る⑧一石二鳥⑨橋本紹業全日本学生テニス選手権大会単複ベスト32⑩王座優勝⑪普段はのほほんとしている様に見えますが、テニスでは直感プレーでギャンブルテニスをします。残り2年間は文武両道で頑張ります。



高橋玲奈

3年

①法学部②山形県③宮崎商業高校④1996年8月8日⑤15年⑥錦織圭⑦努力⑧全日本学生テニス選手権大会ベスト8⑩WTAランキング800位になる。⑪左利きを活かして頑張ります。また、幅の広いテニスを目指し苦手な事にも日々練習に取り組んでいます。



渋沢 遥

3年

①法学部②埼玉県③野田学園高校④1996年10月25日⑤12年⑥宇佐川沙耶さん⑦ショッピング⑧緊張してきた。よっしゃあ!!⑨関東学生新進テニス選手権大会複ベスト16⑩インカレ出場⑪明るく誰とでも仲良くなれます!残りの二年間悔いの残らない様に頑張ります!



楚南美波

3年

①経済学部②沖縄県③沖縄尚学高等学校④1996年8月20日⑤12年⑥親⑦音楽鑑賞⑧誰にでもできる!⑨関東学生テニストーナメント大会単ベスト96、複ベスト48⑩インカレ単出場 明るく元気です!両手打ちを活かして日々精進し、目標を達成する為に残りの大学生活頑張ります。



中沢夏帆

3年

①経済学部②千葉県③藤代高校④1996年8月19日⑤12年⑥ウォズニアッキ、今市隆二⑦映画鑑賞⑧笑顔⑨亞細亞フューチャーズ複ベスト4、全日本学生テニス選手権大会単96⑩インカレ単複ベスト4⑪話したり笑ったりすることが大好きです!辛い時こそ笑顔で目標に向かって頑張ります。



大西沙依

3年

①経済学部②千葉県③東京学館浦安高校④1996年10月4日⑤15年⑥長友佑都⑦グルメ巡り、寝ること⑧笑った数だけ幸せが来る⑨関東学生テニス選手権大会単2次SF、複2次F⑩王座出場⑪明るく負けず嫌いです。速いテンポでの攻撃スタイルが強みです。残りの2年間精一杯頑張ります!



高橋もも

2年

①法学部②山梨県③宮崎商業高等学校④1997年7月1日⑤9年⑥両親⑦音楽鑑賞⑧大器晩成⑨関東学生テニス選手権大会複1次SF⑩インカレ出場⑪笑顔が取り柄なので、明るく前向きに頑張ります。今年こそ学生大会で本戦に出て、結果を残します。



伊達芽依

2年

①国際関係学部②愛知県③愛知啓成高校④1997年8月20日⑤13年⑥ヒンギス⑦読書、映画鑑賞、ヨガ⑧Enjoy your life to be happy!⑨関東学生テニストーナメント大会単2次F⑩インカレベスト8⑪のんびりマイペースです。持ち前の集中力と負けず嫌いさを武器に戦います。今年はアメリカに留学するので、パワーアップします!



南文乃

2年

①国際関係学部②埼玉県③浦和学院高校④1997年12月6日⑤13年⑥親⑦音楽鑑賞⑧笑顔⑨全日本ジュニアテニス選手権大会18歳以下複ベスト4、関東学生テニストーナメント大会複ベスト16⑩王座出場⑪今年こそはもっとテニスのレベルを上げてチームに貢献し、みんなで王座出場を目指します!



部員名簿

①学部②出身地③出身校④生年月日⑤テニス歴
 ⑥尊敬する人⑦趣味⑧好きな言葉⑨主な戦績⑩目標⑪自己PR

八幡まちこ

2年

①経済学部②青森県③弘前学院聖愛高校④1997年6月26日⑤10年⑥両親⑦音楽鑑賞⑧頑張る⑨関東学生テニストーナメント大会単2次F⑩関東学生⑪ツボが浅いのでよく笑います。幅広く色々な事に挑戦し、レベルアップできるように毎日頑張っていきます。

**山村寿莉**

2年

①法学部②福岡県③九州文化学園高校④1997年5月15日⑤12年⑥田中文彩さん⑦音楽鑑賞⑧できる!⑨全日本ジュニアU18複R64⑩インカレ出場⑪自分の武器としているサーブ＆ボレー、スマッシュ、オフェンス力を徹底的に強化していきたいと思います。応援宜しくお願い致します。

**境 春菜**

2年

①経営学部②東京都③城西高校④1997年4月25日⑤1年目⑥親⑦犬の散歩、野球観戦⑧いつでもだれでもラッキーはくる⑨関東学生新進テニス選手権大会単1次SF⑩最後までやり切ること!⑪初心者ですが、根性だけは、どんな時も持ち続けてやっていきます!

**朝倉菜月**

1年

①経営学部②静岡県③松商学院高校④1998年5月24日⑤10年⑥両親⑦グルメ巡り⑧馬鹿なりに頭を使え⑨インターハイ団体・複ベスト8⑩インカレ優勝⑪自慢の運動能力と明るさを活かして頑張っていきたいと思います!馬鹿なりに頭を使っています!

**川村周子**

1年

①経営学部②宮城县③聖学院高校④1998年10月16日⑤14年⑥フェデラー⑦映画鑑賞⑧反省はしあ。後悔はするな。⑨インターハイ出場⑩インカレ本戦出場⑪左利きとして多彩なショットで相手を崩し、積極的にネットプレーへ繋げます。日々の練習に一生懸命取り組み、目標を達成できるように頑張ります!

**李淑玲**

1年

①法学部②東京都③堀越高校④1998年10月10日⑤10年⑥土屋哲史⑦読書⑧継続は力なり⑨インターハイ複ベスト8⑩インカレ優勝⑪食べること、笑うことが大好きです。自分の目標に向けて日々努力を惜しまず、頑張ります。

**松田美咲**

1年

①法学部②埼玉県③浦和学院高等学校④1998年8月21日⑤14年⑥両親⑦音楽鑑賞⑧努力は人を裏切らない⑨全国選抜高校テニス大会単準優勝、全国高等学校体育大会テニス競技単準優勝、全日本選手権複ベスト16⑩1万ドルと2.5万ドルで優勝する。⑪寝ること食べるが大好きで、1度やると決めたことは最後までやり遂げないと気が済まない性格です。

**佐藤 葵**

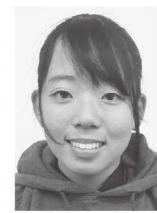
1年

①法学部②埼玉県③山村学園高等学校④1998年8月18日⑤8年⑥清水映里⑦音楽鑑賞⑧ありがとう⑨全国選抜高校テニス大会団体ベスト32、関東高等学校テニス大会複ベスト8⑩インカレ出場⑪長所である元気の良さをテニスに活かし、大学では高校での悔しさを晴らせるように日々感謝の気持ちを忘れずに頑張ります。

**崎村彩加**

1年

①法学部②兵庫県③慶風高等学校④1998年5月14日⑤9年⑥両親⑦映画鑑賞⑧沢山泣いたら一緒に沢山笑おう⑨インターハイ単出場⑩タイトルを獲る⑪神戸育ちの関西弁です!初めての環境が多く不安ですが先輩方の姿を見て私も頑張ります。宜しくお願ひします。



亞細亞大学テニス部の寮(男女別)

立川北(男子寮) JR中央線 立川駅 徒歩約10分、自転車約5分

- キッチンコーナー IHコンロあり
- ランドリー 乾燥機あり
- 駐輪場あり
- 大浴場 18:30～翌日8:30
- プライベートシャワー 24時間利用可能
- トレーニングルーム



24:00

●食事

朝 6:30～8:30(土曜日は6:30～10:30)
夜 18:30～23:30(土曜日は18:30～22:00)
※朝夜共に、日曜日、祝祭日、第5土曜日は食事が出ない



西国立(女子寮) JR南武線 西国立駅 徒歩約10分、自転車7分 JR中央線 立川駅 徒歩約30分、自転車約20分

- キッチンコーナー IHコンロあり
- ランドリー 乾燥機あり
- 駐輪場あり
- 大浴場 19:00～23:00
(日曜日、祝祭日はシャワーのみ)
- プライベートシャワー 24時間利用可能



24:00

●食事

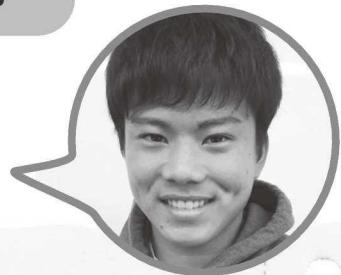
朝 7:00～8:30
夜 18:00～22:00
※朝夜共に、日曜日、祝祭日、第5土曜日は食事が出ない



亞細亞大学テニス部・男子

国際関係学部
1年生

吉満優希の1日



6:30 起床

もう少し寝たい気持ちを押切って起き上がります。また、朝ご飯は栄養をメインに考えて食べます。

9:00 学校到着&授業開始

フレッシュマンイングリッシュの授業が始まります。亞細亞大学は多文化の人々が滞在しており授業が充実しています。

10:40～12:10 授業(2限)

お腹がすいてくる時間帯ですが、我慢をして授業に集中します。

12:10～12:50 昼休み&昼食

テニス部の同期だけでなく、一般的な友達とも食事を楽しめます。アジアプラザのご飯は美味しいです。

12:50～14:20 授業(3限)

昼食を食べた後で少し眠いですが、授業も頑張ります。

15:30 日の出グラウンド

練習の準備をします。先輩やスタッフの方々が気持ちよくテニスができるように環境を整えます。

16:15 部活動開始

全員高い意識を持ち、1分、1秒も無駄にせず日々、競技力向上をポリシーに練習をします。

19:00 トレーニング

練習の後のトレーニングは身体に負荷がかかり苦しくてしんどいですが、やりきった時の達成感は凄いです。

20:30 部活動終了

ボールの片付け、1年生は外に落ちているボールを拾いに行きます。また、オムニコートのコート整備などをします。

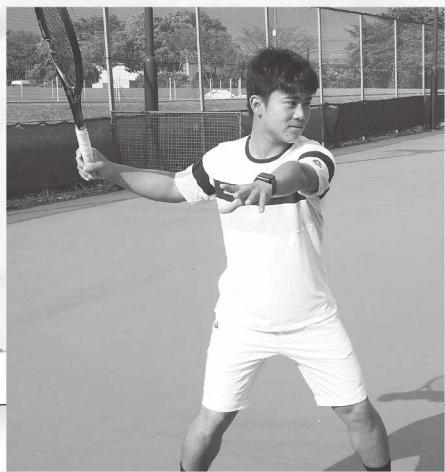
22:30 夜ご飯

夜ご飯は自分で作ります。バランスの良い食事をとるために、量よりも種類を多く食べるよう意識しています。

就寝

23:30

すぐ寝たいところですが、次の日に疲れを残さないようにストレッチやアイシングを欠かさずにやってから寝ます。

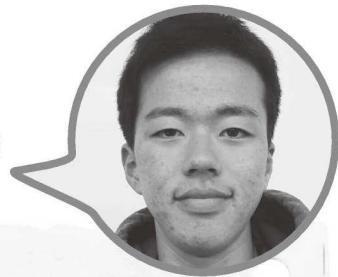


亞細亞大学はコートの面数が多く、
スタッフや先輩方に恵まれており、
テニスをするにあたって
最高の環境があります。
テニス強くなりたい方は是非亞細亞大学へ。

亞細亞大学テニス部・男子

経営学部
1年生

清水奎吾の1日 (寮生)



7:00 起床

睡魔と戦いながらも寮母さんの美味しい朝食を食べると、目がパッチリになります。

8:50～ 9:35 学校到着&授業開始

フレッシュマンイングリッシュは、英語を通して様々な友人と合流を深めることができます。

10:40～ 12:10 授業(2限)

専門的な知識を学ぶことができ、自分にためになる勉強が出来ます。

12:10～ 12:50 昼休み&昼食

アジアプラザにダッシュ! 安くて美味しいご飯を食べることができます!

12:50～ 14:20 授業(3限)

1つでも多くの資格を取れるように必死に勉強を取り組みます。終了後は日の出グラウンドに出発です!

15:30 日の出グラウンド

使うコートを皆で手分けして準備をします。

16:15 部活動開始

皆が切磋琢磨してお互いを高め合っています。激しい競争の中、各自が課題を持って取り組みます。

19:00 トレーニング

技術面に加えてフィジカル面でも強くなるように、ウェイトトレーニング、ダッシュ、ランニングを欠かさず行います!

20:30 部活動終了

使ったコートを綺麗に片付けます。感謝の気持ちを持って丁寧に。

23:30 就寝

立川の寮に帰り、温かい寮母さんの夕飯をお腹いっぱいに食べて、また次の日の授業と練習に備えて寝ます!



亞細亞大学は、勉強もテニスも
トレーニングもしっかり出来ます。
自分次第で結果を変えることはでき、
目標を達成することが出来ます!
亞細亞大学で待ってます!

亞細亞大学テニス部・女子

法学部
1年生

李淑玲の1日



1:30 起床

目覚ましと共に起き、朝ごはんを沢山食べます。そして、授業準備をして学校に向かいます。

9:00 学校到着&授業開始

フレッシュマンイングリッシュの授業は、楽しいです。友達とも先生とも仲良しです。

10:40～12:10 授業(2限)

お腹がだんだん空いて来ますが、お昼ご飯を楽しみにしながら頑張って先生の話を聞き、ノートを取ります。

12:10～12:50 昼休み&昼食

テニス部の同期や友達と楽しく話しながらお昼ご飯です。デザートまで食べて大満足。

12:50～14:20 授業(3限)

ウトウトし始めますが、友達と一緒に起きます。内容を頭に詰めます。

15:30 日の出グラウンド

コートの準備。コートや部室、気持ち良くプレー出来るようにみんなで掃除します。

16:15 部活動開始

1球に気持ちを込めて打ちます。毎日コツコツ一生懸命練習します。

19:00 トレーニング

トレーニングもきついけど、集中して取り組みます。声を出して盛り上げます。

20:00 部活動終了

コート片付け、ボールの見回り。用具は大切に綺麗に片付けます。

22:00 夜ご飯

練習、トレーニングですっかりお腹もペコペコ。お腹が空いてる時のご飯は最高です。

23:30 就寝

ストレッチをしてベッドに入ります。気付けば眠りに入っています。

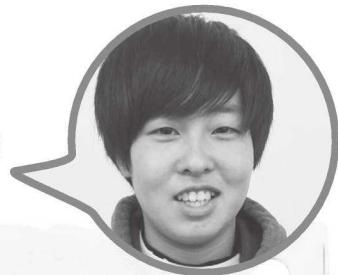


亞細亞大学は、コート面数多く、
トレーニングセンターもあるので、
練習環境が整っています。
強くなれます。
テニス強くなりたい人は是非亞細亞大学へ。

亞細亞大学テニス部・女子

経営学部
1年生

川村周子の1日 (寮生)



7:00 起床

寮母さん愛情たっぷりの朝ごはんで、1日がスタートします。

9:00 学校到着&授業開始

フレッシュマンイングリッシュは毎日あります!ネイティブの先生とみんなで楽しくやります!

10:40~12:10

授業(2限)

お腹が空いて来ますが、我慢して授業に集中!

12:10~12:50

昼休み&昼食

テニス部の同期や同じクラスの友達とお昼ご飯。暖かい日は、屋上でのどかに過ごします。

12:50~14:20

授業(3限)

眠気と戦いながら、基本的に3限で終わりなので頑張ります。終わり次第日の出グラウンドに向かいます!

15:30

日の出グラウンド

到着次第コートの準備。みんなで協力して準備や掃除をします!

16:15

部活動開始

全員でアドバイスをし合いながらみんなで成長!一球一球集中して取り組みます。

19:00

トレーニング

ウェイト、ジャンプ、ダッシュ、ランニングなどキツいですが盛り上げながら乗り切ります!

20:00

部活動終了

協力してコート片付け、ボールの見回り。用具は大切に片付けます。

21:30

夜ご飯

栄養バランスを考えてくれたメニューをお腹いっぱい食べます!

23:00

就寝

洗濯が終わったらフリータイム。動画を見たり音楽を聴いたりして寝ます。



環境が整っている亞細亞大学で
テニスに打ち込みましょう!
大学四年間を充実したものにしませんか!

高校生のみんなへ いつしょに テニス しようよ!

部員から
ひと言

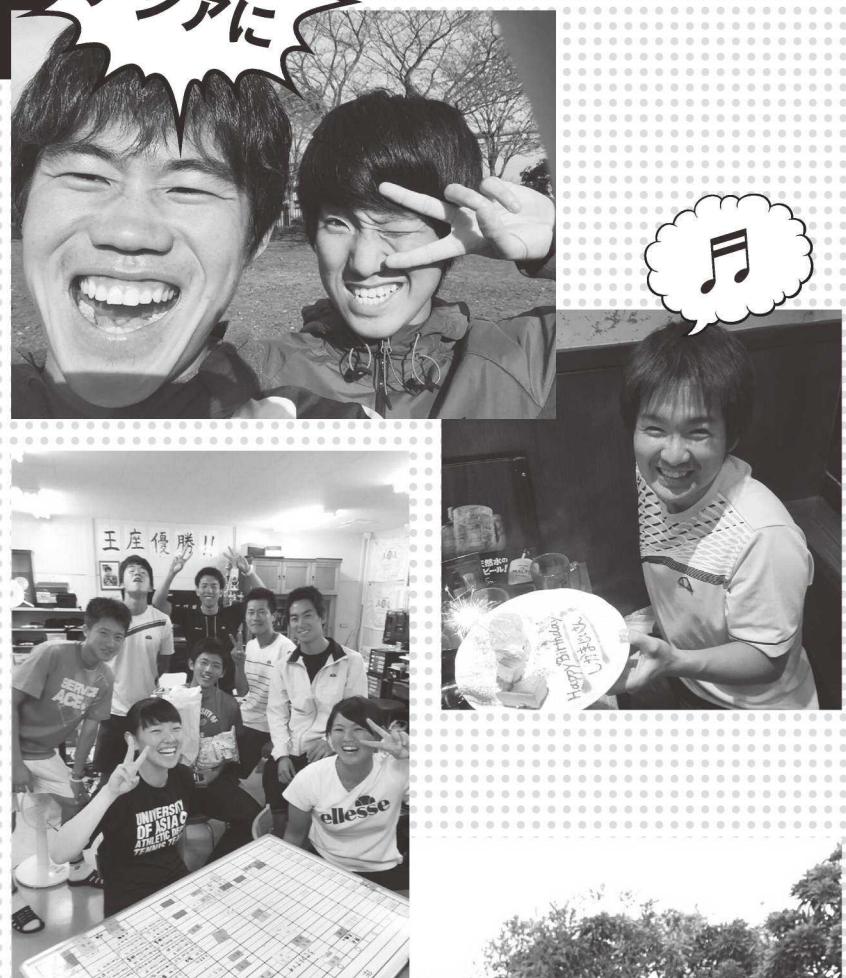
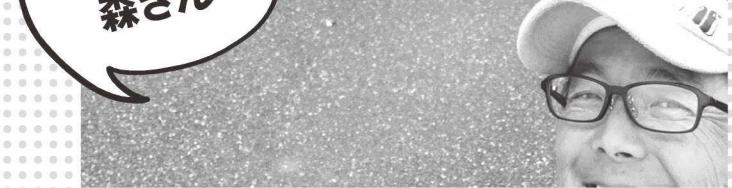
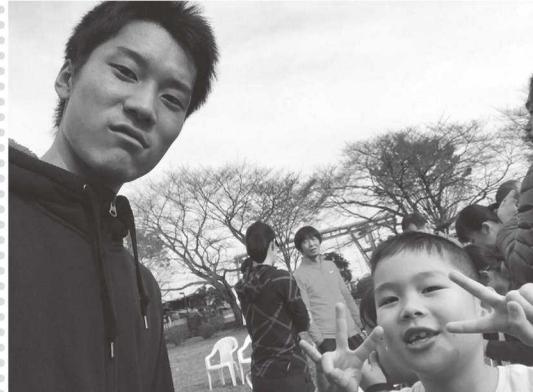


Photo by
森さん





学生は、 部活と授業の 両立を目指す。

面 白いもので、テニスの本当に強かった卒業生を顧みると、学業優秀とまではいかなくとも、単位をいつのまにか取っていた選手ばかりでした。岡田岳二、森稔詞、山崎史子、赤堀奈緒、宮地弘太郎、岡本聖子、駒田政史、佐藤博康、宮崎靖雄、宮崎優実など、多くの卒業生の中でも特にレギュラーでタイトルを獲った選手ほどその傾向は強く、目標が明確であり、そのため好き嫌いにかかわらず、何事においても判断と行動は積極的でした。

競技成績だけではなく、プロとして活躍できた選手以外にも、企業で活躍できる卒業生も含め、明確なことは「部活」と「授業」との両立ができることが、すべての成長に繋がっているということです。

成長する選手とそうでない選手の違いは、「必要なこと」と「好きなこと」の区別ができるかできないかです。「将来」に必要なことと「いま」に必要なことを明確に理解して行動できる選手こそ、成長する選手です。

部活ではまず、新1年生に対して、11月の入試後にオリエンテーションをし、12月までに「4年間」と「今年」の目標を16ページにわたる「自己発見ノート」に書かせることにしています。自分のテニスや将来を確認させ、自分を気づかせる第一歩です。次に年末の合宿に参加し、そこで「今の自分」と「今後の自分」に必要な体力、技術、精神力の確認を、私たちといっしょに行ないます。

そして2月～3月の2ヵ月合宿を通じて、1年間の準備を徹底的に行なうこととしています。肝心なのは“自己の選択”ですから、練習環境や指導者がどんなに指導しても、最終的に判断し、実行するのは学生本人です。流されず自分の将来を見据えて選択できたものが勝利をつかみます。

そのときに必ずといっていいほど“教養”が大切になります。テニスはミスのゲームであって、自分本位の試合は、レベルが上がれば上がるほど、相手との駆け引きの中で“無理”や“無駄”が通用しなくなります。効率性や確率が大きな勝利のウエイトを占めてきます。そこでミスをどのように修正するかの能力が試されるわけです。

部活と授業の両立ができない選手はバランスを失い、「相手を知ること」も「自分も知ること」も「テニスやゲーム状況を知ること」も、そしてそれらを「説明すること」もできず、修正を失い自滅していくことになります。

テニスは実に正直で、バランス感覚をもたない選手には勝利をプレゼントすることはできません。ですからテニスの競技力に、まさしく部活と教養はプラスに働くのです。文◎堀内昌一



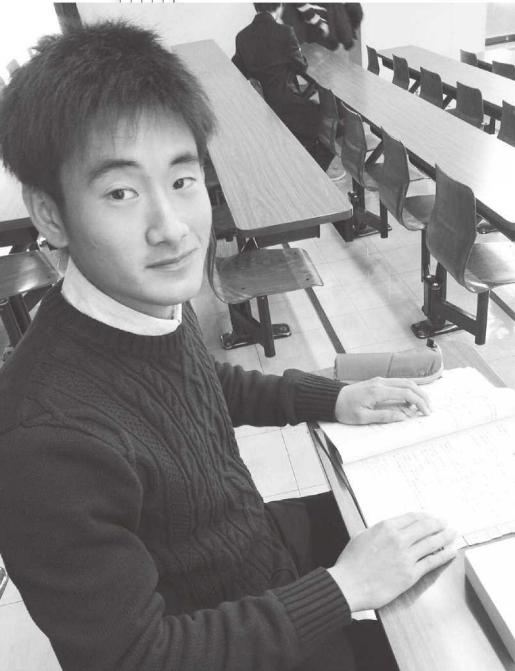


文 武 兩 道



法学部 Law

全学部生 ● 1,697人 男女比 ● 男1,330人(78.4%):女367人(21.6%)



高山裕哉(2年)の場合

「法学部で学ぶこと」

私は法学部で学ぶ上で魅力的に感じる点が2つあります。1つ目は自分自身の将来に向け「沢山の選択肢から自分で選択することが出来る」という所です。法学部では2年生から4つのコースに別れます。公務員コース、企業コース、法律専門職コース、現代法文化コースの4つです。どのコースに進んだとしても法律を学ぶ事が出来、その中で自分の興味のあるものを選択し、より深く学ぶ事が出来ます。2つ目は、法を学ぶことで「論理的思考力を養うことが出来る」という点です。社会の基本的なル

ルとして日常生活に密接に関係するさまざまな法律について学び、法解釈に求められる論理的思考力を養うことが出来ます。法学部では1、2年生で法律の基礎を学び、3年では基礎を活かして少人数でのゼミ形式で学ぶことが出来ます。又、多種多様な問題の法的な解決手段を学びながら、幅広く法律の要素を身につけることで問題解決能力を備える事も出来ます。法学部で学んだ法律の知識と物事を論理的に考える力は、将来どの様な職業に就いたとしても必ず役に立つと思います。

週間スケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1限目		会社法I	地理学概説	会社法	教育原理		
2限目	教職入門	マクロ経済学I	英語総合V	英語総合III	宗教学概説		
3限目	基礎数理III	政治学原論	教育の制度と経営	教育方法学	英語総合III		
4限目			社会学概説		政治学原論		
5限目	練習&トレーニング	教育心理学	情報リテラシー	練習&トレーニング	練習&トレーニング		
16:00 ~ 20:20		オフ	練習&トレーニング			フリー	フリー
20:30	解散	解散	解散	解散	解散		

基礎学力が高まるカリキュラム

法学部では、全学生がキャリア開発教育を受けています。全学共通科目の「基礎数理」を必修科目とするほか、専門選択科目として「公務員教養」を配置し、各種就職試験に対応しています。

公務員試験にも対応した充実の科目群

各種資格取得のほか、公務員を目指す学生を重点的にサポートします。国家・地方公務員試験に対応する科目を配置するとともに、課外講座「公務員試験講座」との連携も図っています。

ゼミを中心とした少人数教育の展開

法律学・政治学の学び方を身につけ1年次の「オリエンテーションゼミ」「基礎演習」、卒業研修を通じて学生が自立して専門的調査・分析を行う能力を育成する「演習」(専門ゼミ)など、少人数教育を展開します。「演習」では、卒業論文やプレゼンテーションなどの形式で、4年間の学習成果を形に残します。

特徴

公務員コース

行政事務、警察、消防士など、国家・地方の公務員試験を受験する学生のためのコースです。公務員試験科目を中心としながら、法的要素のある優れた公務員の養成をめざした科目編成になっています。

企業コース

企業に就職する学生を想定し、法律の基本科目に加え、企業の組織や企業に取引に関する専門科目を中心に、ビジネスに直結する法律科目を配置しています。

法律専門職コース

裁判官、検察官、弁護士、司法書士、行政書士などの専門家や法律関連の資格取得をめざす学生のためのコースです。実定法科目をしっかり学習します。

現代法文化法コース

現代社会の多種多様な問題に対して、法的なものの見方、考え方からアプローチできる能力の修得をめざします。亞細亞大学アメリカプログラム(AUAP)や中国の留学機械を活かすなど、より柔軟に履修科目を選択できます。

主な勤務先

積水ハウス／大日本塗料／LIXIL／中国電力／全日本空輸／東日本旅客鉄道(JR東日本)／ニトリ／みずほ銀行／ゆうちょ銀行／明治安田生命保険／大和証券／京王プラザホテル／東京地方検察庁／新宿区役所／警視庁／入国警備官

経済学部

Economics

全学部生 ● 1,245人 男女比 ● 男子987人(79.3%):女子258人(20.7%)



坂本 徹(4年)の場合

「経済で生きる」

私の在籍している経済学部は、私達の身の回りにある経済の仕組みや、様々な経済活動を研究する学部です。経済学部では、会計・税務・金融の専門家、国家・地方公務員、グローバル社会で活躍する人材など、将来の志望に合わせた理想的な履修を決めることができ、それに必要な専門科目を学ぶことができます。現代の多様な市場経済制度のもとでの人や組織の活動研究を中心に、家庭や地域社会、NPOなど社会のあらゆる仕組みに

ついて、関心を深めることができます。1年次には、「入門経済学」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」などで基本的な経済知識を学び、2年次からは、自分の関心に沿った専門科目や応用科目を学びます。また3年次からは、希望制でゼミナールに入ることができ、より狭い分野を少人数で教授と研究することができます。経済学部は、日本の経済を学ぶだけではなく、世界の経済を学ぶことができ、グローバルな人間になれることができる学部です。

週間スケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1限目							
2限目			都市経済学				
3限目	経済統計論	経済成長論			アジア経済史		
4限目	公共経済学	経済学特講		経済学中級	産業政策論		
5限目	計量経済学		練習&トレーニング	欧米経済史			
16:00 ~ 20:20	オフ	練習&トレーニング		練習&トレーニング		フリー	フリー
20:30		解散	解散	解散	解散		

基礎から応用まで体系的に学ぶ新カリキュラム

1年次から2年次前期まで「入門経済学」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」などで経済学の基礎をしっかりと身につけ2年次後期からは自分の関心に沿った選択科目で発展的に学ぶ。経済の深く広い知識を基礎から応用まで系統的に学びます。

将来の志望に合わせて豊富な専門科目から選択

会計・税務・金融の専門家、国家・地方公務員、グローバル社会で活躍する人材など、将来の志望に合わせた理想的な履修モデルを設定し、それに必要な専門科目を開講。進路に合わせた科目選択ができます。

少人数クラスで問題解決型人材へ成長

1・2年次には経済データに親しみながら分析ツールを学び、3・4年次には充実した演習や文献講読で深い専門性と多角的な見方を修得。少人数クラスより、現実社会への応用力のある、問題解決能力の高い人材を育成します。

現代経済コース

経済を深く理解できる社会人を目指します。経済学の基礎から応用まで幅広く学べます。

税務・会計インテンシブコース

経済と会計ができるビジネスパーソンを目指します。1年次からコースの基礎科目を学びます。

カリキュラム紹介

主な勤務先

みずほ銀行／三井住友銀行／住友信託銀行／積水ハウス／住友林業／飛鳥建設／TKC／ソフトバンク／ソニー・ミュージックエンタテイメント／帝国ホテル／富士通／ワコール／ブルボン／全薬工業／国分／セブン-イレブン・ジャパン／東急ストア／ユニアデックス／みずほインターベース証券／ワタベウェディング／日本郵便

国際関係学部

International Relations

全学部生 ● 1,370人 男女比 ● 男506人(36.9%):女864人(63.1%)

伊達芽依(2年)の場合

「国際関係学部の魅力」

国際関係学部には2つの学科があります。1つは国際法、国際政治、国際経済などを中心として学ぶ国際関係学科です。又、国際関係学科は5ヶ月間の留学プログラムを持っており、実際に世界を体験することができます。2つ目は多文化コミュニケーション学科です。この学科は、異文化交流、言語学などを主に学びます。

私は後期に、アメリカへの留学を控えています。狭い世界にとらわれず、広い視野を持って違う世界にチャレンジ

する事で、柔軟性や創造性が生まれると思います。アメリカは多民族国家です。様々な人が個々の考えを持っています。その中で自己表現をして行き、アサティブなコミュニケーションが取れる様になりたいです。留学での人間的成長がテニスの上達にも繋がると思っています。

国際関係学部は、他学部には無い経験が沢山できる学部です。英語や留学、異文化に興味がある方は国際関係学部をお勧めします。



週間スケジュール

	M月 月曜日	T火 火曜日	W水 水曜日	TH木 木曜日	F金 金曜日	S土 土曜日	S日 日曜日
1限目	体育(ヨガ&ピラティス)		English for International				
2限目	国際関係史	Internet English I	国際関係法入門	プレ専門ゼミ	行政法		
3限目		日本の伝統芸能	日本史思想	国際英語基礎	国際ビジネス入門	練習&トレーニング	練習&トレーニング
4限目	英語Ⅲ	国際政治入門	法学概論				
5限目				練習&トレーニング	練習&トレーニング		
16:00 ~ 20:20	練習& トレーニング	オフ	練習& トレーニング			フリー	フリー
20:30	解散		解散	解散	解散		

→外国語によるコミュニケーション能力の習得

英語の学習を基礎としつつ(TOEIC600点以上を目指す)、韓国語、中国語、インドネシア語、ヒンディー語、アラビア語、スペイン語の中から1言語を地域言語として選択し、1年次から本格的に学びます。

→フィールドワークによる現地体験型学習

国内外での現地調査(フィールドワーク)を通して、自分の感性で多文化に触れ、課題を発見する力を鍛えます。調査後の発表でプレゼンテーション能力の修得にも注力します。

→社会人類学、社会学を柱とする多文化理解

アジア、アフリカ、中南米の文化から観光、宗教、多文化インターナショナルなど多彩なテーマの科目を用意。文化人類学、社会学を軸に、国際社会に役立つ幅広い教養が身につきます。

→経済ビジネスコース

幅広い視野と判断力を身につけ、国際企業人や国際公務員など、世界で活躍できる人材になるために必要な知識を学びます。

カリキュラム紹介

→平和政策コース

本コースでは、紛争解決や平和構築の問題を政治と法の側面から学ぶことで、海外で活躍するために必要な広い視野と深い洞察力をもった人材を育成します。

→国際協力コース

開発途上国の経済発展や貧困、格差、感染症など開発問題と開発援助について、さまざまな角度から学びます。問題解決に必要な知識と、知識を現場で活用するための実践力を同時に養います。

主な勤務先

積水ハウス／ワコール／花王／資生堂／東芝／NHK／JR東日本／全日本空輸／ユニクロ／三井住友カード／ヒルトン東京／第一生命保険／セコム／外務省／警視庁／防衛省／ディスコ／ソツミ／明治安田生命保険／近畿日本ツーリスト／トランス・コスモス／日本郵便

Business 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科

全学部生 ● 481人 男女比 ● 男子110人(22.9%):女子371人(77.1%)



堀 匡毅(2年)の場合

「経営学部に入って」

経営学部には、私が所属する「経営学科」と「ホスピタリティマネジメント学科」、2つの学部があります。経営学科では、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」などのノウハウを学び、次に「マーケティング」、「経営戦略」、「会計」といった専門的で実践的な知識を学ぶことができます。コミュニケーション能力や情報処理能力、数量的分析力といった幅広い教養も学べ、組織運営のスキルを身につけることができます。

ホスピタリティマネジメント学科では、2016年4月より従来のクラブ領域を整備拡充しスポーツとホスピタリティを融合した「スポーツ・ホスピ

タリティ」コースを開設しました。ここでは「ホテル&ブライダル」「フードサービス」「パッセンジャーサービス」「トラベル」「スポーツ・ホスピタリティ」という5つのコースについて、「理論実務融合型教育」をベースに少人数によるゼミナール形式の演習を行います。マネジメントスキルとホスピタリティマインドを涵養し、未来のホスピタリティ業界、スポーツ業界をリードし得るような実践的職業人を養成していきます。

経営学部では社会に出たときに活躍できるような人材と、海外でも活躍できるようなグローバル人材の育成を目指しています。ぜひ経営学部に入ってみてはいかがでしょうか。

週間スケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1限目	バドミントンK組	英語(F・E) II	英語(F・E) II		英語(F・E) II		
2限目	英語(F・E) II	企業と市場		英語(F・E) II			
3限目	スポーツビジネス論	総合英語II	スポーツ指導者論	総合英語IV	スポーツの科学		
4限目				スポーツ産業論			
5限目	練習&トレーニング	オフ	練習&トレーニング	スポーツホスピタリティ概論	会計学B組		
16:00 ~ 20:20				練習&トレーニング	練習&トレーニング	フリー	フリー
20:30	解散		解散	解散	解散		

ホスピタリティ・マネジメント学科の学び

平成28年4月、従来の「クラブ領域」をスポーツとホスピタリティを融合した「スポーツ・ホスピタリティ」として設備を拡充します。「ホテルビジネス&ブライダルビジネス」「フードサービスビジネス」「パッセンジャーサービスビジネス」「トラベルビジネス」とともに、5つの分野について「理論実務融合型教育」を展開します。

少人数制によるゼミナール形式の授業を2年次から4年次まで継続して実施することで基本的なマネジメントスキルとホスピタリティマインドを涵養し、未来のホスピタリティ業界そしてスポーツ業界をリードし得るような人材を養成します。

特徴

ホスピタリティ・マネジメント学科

平成28年4月、従来の「クラブ領域」を、スポーツとホスピタリティを融合した「スポーツ・ホスピタリティ」として整備拡充しています。基本的なマネジメントスキルとホスピタリティマインドを学び、未来のホスピタリティ業界、そしてスポーツ業界をリードし得る人材を養成していきます。

カリキュラム紹介

主な勤務先

東急建設／東芝／パナソニック／タニタ／JR西日本／ユニクロ／みずほ銀行／三井住友銀行／日本郵便／警視庁／ワコール
みずほフィナンシャルグループ／三井住友銀行

経営学部 経営学科

Business

全学部生 ● 1,779人 男女比 ● 男子1,076人(60.5%):女子703人(39.5%)

四釜泰知(3年)の場合

「知識の定着から実践まで」

私の通う経営学部は1年次には経営学の基礎となる知識の定着は勿論の事、レポートの作成技術を学ぶ事や自分が興味がある企業にインタビューを行う「インタビュー実践」という活動があり、「聴き取る力」、「行動する力」を身に付けます。そして2,3年次にはより専門的な学問に入って行きます。「経営戦略論」、「経営財務論」、「マネジメント・マーケティング論」などのヒト・モノ・カネ・チエといった企業の様々な資源のマネジメントについて、現代企業の実像に迫りながら体系的に学びます。また

大きな特徴の1つとして3年次に「トップマネジメント特別講義」というビジネスの最前線で組織のトップとして活躍する著名人を講師として招き、現場の「今」、実践型の経営論を紹介する公開講座があります。

私が思う経営学部の魅力としてはこの授業で学んだ知識を「国際大会の開催」という実践出来る大変貴重な場があることです。この経験は亞細亞大学のテニス部の経営学部にしか出来ないことです。皆さんもぜひ一緒に学び、作り上げていきませんか。



週間スケジュール

	M月 月	T火 火	W水 水	TH木 木	F金 金	S土 土	S日 日
1限目	社会科教育法II			社会科・公民科教育法II			
2限目	外国史I	消費者行動論	地理学II	経営学特講I			
3限目	特別活動論	組織心理学	スペイン語中級	国際取引論	経営システム論		
4限目			生徒・進路指導論	トップマネジメント特別講義	経営システム論		
5限目			ホスピタリティビジネス特講	スキー			
16:00 ~ 20:20	練習& トレーニング	オフ	練習& トレーニング	練習& トレーニング	練習& トレーニング	フリー	フリー
20:30	解散		解散	解散	解散		

►聴く力を養う「インタビュー実践!」

オリエンテーション・ゼミナールでは、産業界で活躍する企業人への「インタビュー実践!」を導入。就職意識を高めるとともに、大学でなにを学ぶべきかについて先人の知恵を学びます。1クラス約15人の小人数制のゼミナールです。

►行動力と主体性を養うアクティブ・ラーニング

基礎ゼミナールでは、約30のテーマの中から学生自身が興味あるテーマを選択し、自ら設定した課題について、実際に現場を訪れたり調査・分析を実施します。成果をプレゼンテーション形式で発表し、能動的に学ぶ姿勢が身につきます。

►就業力を養う実践プログラム

経営学科では企業経営に関する多様な理論を学習しますが、修得した知識を現実に活かすことを目的にトップマネジメント特別講義、インターンシップ、ビジネス体験プログラムといった体験型授業が設置されています。

特徴

経営学科

「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」という4つの経営資源を管理するノウハウを学ぶ。コミュニケーション能力や情報処理能力、数量的分析力といった幅広い教養と、企業経営に関わる専門的で実践的なマーケティング、経営戦略、会計、人材管理の知識を修得します。

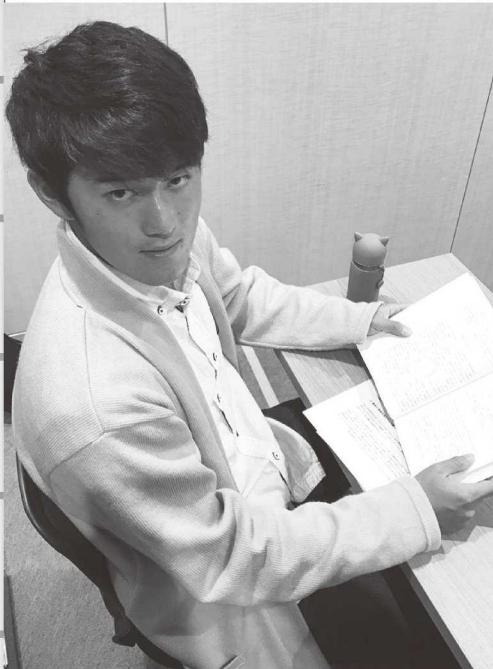
カリキュラム紹介

主な勤務先

東急建設／東芝／パナソニック／タニタ／JR西日本／ユニクロ／みずほ銀行／三井住友銀行／日本郵便／警視庁／ワコール／みずほフィナンシャルグループ／三井住友銀行

都市創造学部

全学部生 ● 151人 男女比 ● 男子90人(59.6%):女子61人(40.3%)



山田将弘(1年)の場合

「都市創造学部とは」

私が在籍している都市創造学部とは、人々と企業・行政・地域をつないで、豊かな都市を創造するための学問です。

都市創造学部が目指しているのは、都市に活気と心地良さをもたらす未来の都市を計画し、実践できる人材の育成です。その為に、特徴的な学習をしています。

まず教職員の多くが、元々は企業で働いていました。そのため、教科書だけでは学ぶことが出来ない、働く現場における実践的な知識を

教えてくれます。

またlotやビックデータの勉強など、これからの未来に必要な勉強をします。これらの知識を身につけることによって、未来都市のあるべき姿を考えるきっかけにもなります。さらには、これらの勉強を深めるために、フィールドワークによる都市の実態調査や留学とインターンシップもあります。

積極的に学びたい人にオススメしたい学部です。

週間スケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1限目		英語(F・E) II	都市ソリューション論	地理学I	英語(F・E) II		
2限目	英語(F・E) II	ベトナム語 初級	英語(F・E) II	英語(F・E) II	社会調査概論	都市プロデュース論	
3限目	都市社会学I	英語コミュニケーション		総合英語I	日本文学(近現代)		
4限目	オリエンテーションゼミ		日本史I				
5限目			ベトナム語 初級	体育(テニス)			
16:00 ~ 20:20	練習& トレーニング	オフ			練習& トレーニング		
20:30	解散		解散	解散	解散	フリー	フリー

→都市の未来を産業と社会から考える

都市創造学科では、産業と社会の観点で都市を考察し、都市の産業とそこに住む生活者の視点で社会のあり方を考えます。めざすのは、都市に活気と心地よさをもたらす未来都市のビジョンを打ち立て、実施する「都市創造人材」を育成。

→フィールドワークを重視した双方向型学習

1年次、のオリエンテーション・ゼミナー、から4年次の卒業プロジェクト、卒業研究や社会調査実習まで、双方向型学習を重視したアクティブラーニング科目群が計画的に配置されています。

→必修の海外&国内外でのインターンシップ

都市創造学科の留学は、単なる語学研修ではありません。アジア、アメリカなどの世界各国で英語+留学先の言語を学ぶと同時に、海外インターンシップで留学先の産業社会を体験するチャンスがあります。

都市創造学科では、「シティ・サイエンス」を理解するために必要な経営学および都市社会学領域を中心の科目を設置しています。

カリキュラム紹介

大学に入って、こんなに変わりました!



CASE

1 田中文彩(4年)の場合

私が亜細亜大学を選んだ理由は、全国大会で勝つために必要な環境が整っていると思ったからです。コートがある日の出キャンパスにはフィールドやトレーニングセンターもあり、充実した環境が整っています。また監督をはじめとするコーチ陣のサポートもあり、テニスに打ち込める環境は亜細亜大学が一番だと感じています。

私は高校3年生の時にはインターハイにも出れず、入部当初はとにかく必死に付いていくだけでした。中々結果も出ない中で先輩が練習に誘って下さり、オフの日にも練習をしたり、積極的に試合に出場をして課題を見つけては練習をするというサイクルを繰り返しました。その結果、シングルスでは甲府や韓国のITFでWTAポイントを獲得することができ、ダブルスでは全日本選手権に出場し、今年と2年生の時には関東学生でベスト4に入ることが出来ました。入学した時には、国際大会でポイントを取ったり、全日本選手権に出場することができるとは思ってもいませんでした。毎日自分で考えて練習をし、それに加えコーチ陣のアドバイスなどのサポートがあったからだと思います。また、亜細亜大学の名物であるキャッチボールやトレーナーに考えて頂いたトレーニングを行い、フィジカル面でも高校の時よりも向上していると感じています。

また私は現在、アジア女子ローンテニス部の主将を務めており、チームとして王座優勝を目指し活動しています。以前よりもチーム内での競争が激しくなり、良い緊張感の中で練習が出来ています。また、チーム全員で結果を残そうという意識が強くなってきており、お互いアドバイスをし合ったりトレーニングではプッシュをし合って取り組んでいます。今年こそは目標を達成し全員で笑って夏を終えたいと思います。

私は亜細亜大学に進学をして、テニスというものを学び、その中で沢山のことを経験し成長してこれたと思っています。高校生のみなさん、是非亜細亜大学で一緒にテニスをしませんか？テニスを頑張りたいと思っている高校生をお待ちしております！

宮崎靖雄
コーチ

から見た

田中文彩

技術的にバランスが取れており、弱点の少ないオールラウンドプレイヤーです。また、自分自身の長所/短所を良くわかっている選手で、相手選手の特徴に応じて、正しくショットの選択ができるとてもクレバーな選手です。試合経験を積み重ねる度に戦術面に磨きがかかり、多種多様な相手に対応できるようになってきており、それに因って結果が出るようになってきました。今後も経験を重ね、更に成長していく将来有望な選手の一人です。

CASE 2 加藤彰馬(2年)の場合

私が亜細亜大学に入学した理由は、何度かお話を頂いた亜細亜大学の堀内監督や森コーチのテニスに対する熱意と素晴らしい戦績を残しているスタッフの方々に教わりたいと思ったからです。また、亜細亜大学に入学し、早稲田大学に勝利したかったからです。

亜細亜大学はテニスコート10面と器具が揃っているトレーニングセンター、陸上トラックがあります。また、常にコーチが1人はいるのでしっかりと見てくくれてアドバイスも頂けます。さらには亜細亜大学のテニス部はプロに勝つ学生という目標を掲げており、国内外の試合に出場させてもらいます。様々な選手と試合ができるのでとても良い経験になります。試合の際にコーチが帯同してくれ、その試合毎のアドバイスをして頂けます。また、テニスやトレーニングをする際に最高の環境であると思います。また部員一人一人がインカレや王座に向けて日々努力しています。このような素晴らしい環境で部員とともに切磋琢磨できる環境にとても感謝しています。

私の高校時代は主にテニススクールで練習していて、部活は週に1回だったり行かない週もありました。最初は大学の部活に対してあまり良いイメージは持てませんでしたが、いざやってみると、辛いこともありますが、毎日がとても充実しています。

亜細亜大学は国際大会の運営も行なっています。自分は2016年度の大会でWCとして本戦に出場させて頂き、1ポイントを獲得することができました。この1ポイントで自分が挑戦できる幅が広がり、世界の強い選手と対戦することができました。やはり、フューチャーズやチャレンジャーは学生のレベルよりもとても強く、手も足も出ないこともあります。ですが世界基準の選手と対戦することができ、とても良い経験ができました。これも亜細亜大学だからこそできた経験であり、感謝しています。

私の学生での目標はインカレ優勝、全日本選手権でベスト8に入ることです。絶対に達成できるように頑張っていきます。もし大学を迷っていたら亜細亜大学の素晴らしい環境に身を置いてみてはいかがですか。



宮崎靖雄
コーチ



から見た 加藤彰馬

自分と相手の状況を常に観察し、コートの前後左右・空間を計算して、自分が有利になるショット・ポジションの選択を、素早く、器用に、実践する能力がとても優れており、彼の最大の持ち味です。

Jr時代から1年が経ち、自分のテニスが一般レベルで通用する部分としない部分を経験した1年だったと思います。今後さらに飛躍するために、今年は海外ツアーにも積極的に参戦し、経験を積み、「世界で活躍する」という高い目標を持って日々チャレンジして欲しいと思います。

大学に入って、 こんなに変わりました!

CASE

3 松田美咲(1年)の場合

私はこの4月から、亜細亜大学に入学とともにアジア女子ローンテニス部に入部しました。高校生の時にジュニアITFに出始めて、世界を意識する様になり大学でも国際大会に積極的に挑戦して行きたいと思いました。

亜細亜大学に入りテニス部に入部した事によって今までと大きく環境が変わりました。今まででは全て監督やコーチの指示の元、決まった時間に決まった事をして行き、分からなかつたらすぐに質問するようにしていました。しかし、今では分からぬ所があつたら、まずは自分で考え自分の考えを伝えたり、一緒に練習している人たちに自分では気付かなかつた所を教えてもらつたりしています。その為、今までより試合などで自分と向き合い考える事が出来る様になりました。その結果、1年生で関東学生テニストーナメント大会で優勝する事が出来ました。高校生の私は勝ちにこだわっていたつもりなのですが、自分のプレースタイルを押し通そうとする気持ちの方が強く、負けていてもそのプレースタイルを変える事が無く、力でねじ伏せる事が出来れば勝てたという感じでした。そ

んな私が優勝する事が出来たのは、何も考えずに打つだけでは勝てないと言う事の意味がはつきりと理解出来たからです。考えていれば、打つのにこだわらなくても勝つ方法があると思え、気持ちに余裕を持つ事が出来ました。更に、負けていた時でも気持ちを落とす事なくプレーし続けられたのは自分にはまだ他の手段があると言う自信があったからだと思います。

またこの部活では、技術を基礎から学ぶ事が出来ます。苦手な所をそのままにしがちな私なのですが、大学に入ってからは得意な事はそのまま伸ばし続け、苦手な所は徐々に自信を持って打てる様になりました。なので試合をしていると、今まで怖がって打てなかつたショットも強気で打ちに行く事が出来るので、とても楽しくプレーをする事が出来ます。大学生活はまだまだこれからなので、今以上に努力をし卒業する頃には苦手がもうないと思える様になりたいと思っています。

高校生の皆さん、苦手を無くし試合を楽しみたいと思う人待ってます!そして充実したテニス人生を送りましょう。



森 稔詞
コーチ



から見た 松田美咲

サウスポーで、素晴らしいグランドストロークを持ち、球際の強さと身体能力の高さ、純感力の中に隠れる勝負に対する気持ちが彼女の強さです。日本の逸材の一人。ジュニア時代に数多くの経験を積み、高校3年生の時、優勝候補の筆頭として挑んだインターハイでは惜しくも準優勝。その後悔しさを胸に、本学へ進学を決め、早くも春の関東学生で見事優勝。大切なものを育んだ高校時代、磨きをかける大学時代へチャレンジです。

CASE 4 高橋玲奈(3年)の場合

私が亜細亜大学に入学した理由は、堀内監督の熱意と環境の良さです。高校3年生でシーズンの大会が終わり、どの大学へ進学するか迷っていたところ堀内監督から亜細亜大学への誘いがありました。最初はテニスは高校でやりきったと思い2部や3部の大学へ進学しようと思っていた為、断っていました。しかし、何度か堀内監督と話をしていくうちに、堀内監督の大学テニスへの思いや思い切ってテニスが出来る時間は限られているという言葉に、大学でももう一度テニスを頑張ろうと思いつめ、テニスをするなら堀内監督の元で教わりたいと思いました。親は反対をしていましたが、頼み込んで入学する事が決まりました。

入学してみると、毎日の様にスタッフがコートに来てくださり、1人1人をしっかり見てアドバイスをしてくれました。また、国内外で大会があると必ず引率をしてくださり、毎試合アドバイスをして

頂ける環境はこの亜細亜大学しかないと思います。私は、高校までは全国大会で2回勝てるか勝てないかのレベルでしたが、1年生のインカレで初めてベスト8に入る事が出来ました。国際大会にも出ることが出来る様になり、1年生の3月には中国へ、2年生の6月には韓国へ遠征にも行きました。そして高校3年生までJOP大会にも出た事が無かつた私が約1年間で世界ランカーとなりJOPランキングは最高54位になる事が出来ました。こんなにもテニスで充実する大学生活が送れるとは進路を決めるあの時には考えてもいませんでした。熱心に自分と話して下さった堀内監督のおかげで今の自分がおり、亜細亜大学に入学した事は本当に良い選択をしたと思っています。

ぜひ色々な大学で悩んでいるという方は少しでもいいので見学に来たり話を聞いたりして亜細亜大学の良さを知って頂けたら嬉しいです。



photo/JUN YAMASHITA



森 稔詞
コーチ



から見た 高橋玲奈

中学卒業と同時に家を出て、テニスに打ち込む純粋さを持つ選手。サウスポーという利点を生かし、特にフォアハンドを武器に戦いを組み立てる。以前は、技術的な未熟さから積極性に欠けていたが、最近ネットプレーやバックハンド、サーブにも磨きをかけてプレーの幅も広がりました。外見に見合わず負けるのが苦らいで、悔し涙を見せる事もしばしば。昨年ついに世界ランク入り。プロを目指せる逸材ですので、今後が楽しみな選手です。



私は、今年亜細亜大学に入学し、硬式庭球部に入部しました。高校生の時の戦績としては、3年生の時のシングルスでインターハイに出場しましたが、1回戦敗退という結果でした。この時の悔しさは今でも忘れること出来ません。テニスを強くなりたい一心で入部を決めました。

この部活の魅力の一つは、3月に行われる国際大会があるということです。今年のこの大会では、19歳の高橋悠介選手が優勝しました。また、海外のプロなど、グランドスラムに出場経験のある選手などのプレーを間近で見ることができます。私はこの大会の予選に出場するチャンスをもらい、2014年の全日本選手権の優勝者である、江原弘泰選手と

対戦しました。結果はストレート負けで、大きなレベルの差を感じました。この国際大会、インターハイでの悔しさをバネに、大学生活を逆転の四年間にていきたいと思っています。しかし、テニスはある日突然強くなることはなく、日々の小さな積み重ねによってしか、強くなる方法はありません。そのため亜細亜大学のテニス部では、練習計画や、整った設備、コーチングなど様々な工夫が施されています。練習の計画としては、平日は3時間、休日は6時間のオンコート練習と、1時間30分のトレーニングが基本となっています。練習メニューの紹介をすると、主に基本的なメニューを行います。それに加えて、サーブ、スマッシュの練習を重点的に行います。また、試合を通してわかる部員全員の課題や、個人での課題などを見つめ直して、より合理的なメニューになっていきます。設備としては、10面のテニスコートや、400メートルトラック、トレーニングセンターなどがあります。コーチングとしては、堀内監督をはじめとした、多くのスタッフが

います。練習中に気になったところや、間違っていることなどについて指導をしてもらいます。また、試合に同行をしてもらえることがあります。本格的なアドバイスを受けることができます。

このように、亜細亜大学硬式庭球部は、テニスを追求する上で十分な環境があります。強くなりたいと言う向上心を常に持ち続け、忘れることがなければ、4年間で必ず強くなることの出来る素晴らしい部活です。私たちと一緒に日本一のチームになることを目指して頑張りましょう。



森 稔詞
コーチ



から見た 堀内竜輔

高校では有数の進学校に身を置きながら、文武両道を軸にしてきた学生。テニスにかける思いが強く本大学に進学。ダブルスの成績が上回る中、この春、全国以上に厳しいとされる関東学生でシングルスの予選を勝ち上がり、本戦でも勝利。インカレへ出場を決めました。大学入学が決まってからも、テニスを探求する姿勢は素直らしく、何より時間を割いてボールを打っています。サウスポーから練り出されるサーブとフォアに磨きをかけることで、今後期待される選手です。

2003 Australian Open Review

亞細亞大学、メルボルンへ行く。

「大学に行ったら 世界に行けないなんて 言わせない」

2003年1月、賑わうオーストラリアン・オープンの会場内をウロウロする日本人学生のグループがいた。

全国でもトップクラスを誇る亞細亞大学テニス部のメンバー6人。彼らは世界最高峰グランドスラムを「観る」という「意味」を持ってそこにいた。

文◎吉松忠弘 写真◎高野 徹

記事提供◎テニスマガジン(2003年5月号)

Melbourne

学校教育とクラブスポーツ、 大学テニスの共存

学校教育とスポーツは、それほど切り離さなくてはいけないものだろうか。昨今の論調は「地域に根ざすクラブスポーツ」を題目に、学校体育を批判し、「学校など」という形容詞で、短絡的にスポーツ強化のために学校（日本的な記憶・暗記教育のことではある）は「害」であると指摘する。

しかし、現実主義者から見ると、そう簡単にことは運ばない。落伍者は「失格」という価値観を共有したい大多数が、あと戻りできない社会を形成している以上、その中で「安定」や「慎重」を求めるることは決して責められない（好き嫌いは別として）。

国際通とか海外志向の高い指導者や関係者はその現実を無視し、「もっと海外に」やら「学校なんか」と宣う。ならば世界でも高水準にある約97%の高校進学率、約50%の大学進学率（平成15年度文部科学省の教育指標の国際比較から）は無意味なのだろうか。その率が減り、学校体育がなくなり、義務教育が終了すれば、スポーツにかける人が増えることが得意の「文化の創造」ということだろうか。そして日本国民は本当にそれを望んでいるのだろうか。

壮大なテーマになり、それを解説することがこの本道ではないので割愛する

が、現時点で中等教育以上（義務教育以降をこう呼ぶ）の学校を無視はできない。クラブスポーツも裾野を広げることが重要であり、つまり共存するしか日本の将来は見えてこないだろう。

その中にあってテニスも同じ悩みを抱える。特に究極の個人スポーツであるテニスは、若年層からの強化が重要視されており、それは学校教育となかなか相容れない。高校までなら18歳以下というジュニア枠に入り、まだ救いはあるだろう。しかし大学のテニスは、日本でもっとも忘れ去られた存在である。日本のテニスには、ジュニア、社会人、プロという構図しかないようにも思える。

ただ、この先、クラブスポーツや学校体育の共存を考えるなら、大学テニスを無視するわけにはいかない。そして大学テニス自身も、自ら動き出す必要性がある。今年のオーストラリアン・オープンで、亞細亞大学テニス部がとった「観戦」という行動は、文字にしてみると他愛のないことだ。しかし、少なくとも共存への小さな一歩だったことだけは確かである。

選手とコーチに必要な 目標に対する逆算の理論

音頭取りは、OBで昨年（2002年）の4月からコーチに就任した森稔詠だった。森はグランドスラム本戦出場を経験して

いないが、予選には数回チャレンジしている。その自分より才能がありそうないまの大学生が、手をこまねいているのが歯がゆかった。

「本気でチャレンジすればできることはない。できないと決める方がおかしい。だったら行ってみよう。僕自身もいまのグランドスラムを見ていなかったから、学生全員にメールを出して、自費だけ行こうと誘った」

自費の有志なので遠征ではない。集まったのは、男子で昨年インカレ・ベスト4の宮崎靖雄、同ベスト8の比嘉明人、01年関東学生新進戦ベスト4の平良和己、女子で01年インカレ・ベスト4の北崎悦子の4人である。

しかし、この4人に森、堀内昌一総監督を加えた6人がオーストラリアン・オープンに来て、観戦して帰ったというだけなら、残ることは稀薄に違いない。

「驚き」や「感嘆」が彼らを揺さぶるに違いないが、それだけだ。時間が経てば、少なからずとも消滅する。まして20歳代は、精神よりも実体験だ。物理的な接触に優るモノはない。森は、その体験を学生たちにさせた。宮崎、北崎は予選出場に挑戦させ、宮崎は予選のサインアップまでたどり着いた。

「運営の人たちが、何でおまえなんて来ているんだって、冷たい視線なんですよ。このランキングでよくここまで来たなって。あー、ここは実力世界なんだな、ランクを上げないとダメなんだなと思いましたね」

宮崎の世界ランキングは1116位。もちろん出場には、通例なら箸にも棒にもかからない。しかし今年の予選は欠場者が続出し、出場者の最低ランキングは904位にまで下がった。チャンスは本当に目の前に転がっていたのである。しかし、そこに選手がいなければ出場できないのは自明の理だ。

北崎はエントリーをしていなかったため、予選のサインアップはできなかったが、予選初日にラッキールーザーのサインアップができた。

「初めは自分なんかがサインアップしていいかなって思ったんです。引き気味でしたね。でも、試合を見ていたら、何倍も努力しないとダメだけど、私でも何とかなると。それに、ここに自分が立っていたらと思いながら、試合を見ることができたのは大きかったんです」



比嘉と平良は、先のふたりのような体験はできなかったが、会場で練習を決行する。もちろん厳密に言えば、選手でもない人間がコートを使用するのは違反だ。予選の最終日に、朝7時半から空いているコートを見つけて4人で練習をした。そのぐらいの厚かましさがなければ、世界のテニス界ではやっていけない。

「心構えからして、ここで戦っている選手は違う。勝つ意識や執念がすごい。技術とかいう以前の問題で、気持ちから入れ替える」と

比嘉は話す。平良も同様だ。

「僕と同じくらいの身長の選手もいて、できないことはないと。でも、彼らは勝たなきゃ食えないんだという意識がすごい。日本ではありませんから」

彼らは帰国する前の日、念願だったセンターコートに初めて入り観戦した。

「ここに立てるようにならないとダメなんですね」

北崎は、こうつぶやいた。

堀内監督はもっと早くこれを見ていたら、と少し悔やんだ。堀内監督は世界を知らないわけではない。テニスでアメリカの大学に留学し、また日本のジュニアの監督としてもウインブルドンに遠征したりしている。しかし大学の教員、監督という枠は多くのしがらみを生み、実質的に世界から遠ざかっていたことも確かだ。

「実際にそこにいないと逆算できないんですね。カレッジに行ったら世界に行けないなんて言わせたくない。そのためには選手もコーチも逆算じゃないとダメなんです。関東学生取ったらインカレ。インカレ取ったら全日本というプラスじゃなくて、グランドスラムがあって、そこに行くにはインカレや全日本があるという逆算じゃないと。そのためには、グランドスラムを実感していないと言えないし、選手も実感できないんですよ」

わずか10日ほどの滞豪だった。しかし6人が感じ、肌で触った日々は誰にも教えられないことである。そして問題はここからなのだ。この10日間が実を結ばなければ何も意味はない。

杉山愛は、27歳にしてテニス人生最高の瞬間を、ティアⅡのステートファーム女子クラシックの単複優勝で飾った。遅いということはない。そして、それはステップを踏み出さなければ、いつまで経ってもやってこない。

堀内昌一総監督

「僕が監督になったのは大学王座やインカレを最終目標にするためじゃない。大学は自分の力を伸ばすことが目標。そのためにはもう一回、自分がいろいろなことを見てみないとダメになる。原点に返ってみるとそこには夢があったはず。だから選手にはカレッジに夢を持って来てほしい。その夢を与えるのが僕ら自身の挑戦でもある」

北崎悦子(2年)

「雑誌とか見ていて夢の舞台だったのが、現実に観て気持ちの面では変わりがないと感じた。(グランドスラムは)日本とテニスを盛り上げる環境が全然違う」

森 稔詞コーチ

「大学3年のときにJOP大会で貯めたお金でオーストラリアとアメリカのサテライトに初めて行った。そのときに感じたことを同じいまの大学生に味わってもらいたいと思っている。頂点を見ていれば、この先リアルに映像として残るはずだから」



宮崎靖雄(3年)

「(オーストラリアに来て)テニスに対する考え方方が変わった。特に本村(剛一)さんに勝ったエスクデは、ショットは同じなのに体力や展開が違う。すごく印象的だった。みんな宿舎ではラケットに鉛を貼ったりして、“これで外国選手の重い球に負けないかな”などと言ったりしていた」

比嘉明人(2年)

「ジャパンオープンくらいしか見たことがなくて、そのジャパンオープンでもすごいと思ったのに、こっちはそれ以上だった。もっと体とか強くないと戦えない」

平良和己(2年)

「周りの雰囲気が違って、観客もすごいし、圧倒された。選手たちのボールを打つタイミングも全然違うし、ミスで決まらない」



2017 Chinese ITF Expedition Report

中国ITF 遠征レポート

Nanjing.

●遠征期間:田中文彩 2017年2月9日(水)~3月 2日(水)
 松田美咲 2017年2月9日(木)~2月22日(水)

●遠征先:中国/南京

●出場大会:ITF女子サーキット 賞金総額15,000ドル

●参加学生:田中文彩(法4)、松田美咲(法1)

●引率:堀内昌一監督

今年、本大学テニス部の学生2名が堀内監督の引率のもと、中国の南京市に2週間の遠征に行きました。

参加したのはグランドスラムへの登竜門である、賞金総額1万5千ドル大会を3大会。

これは我々が毎年3月に開催している国際大会と同じグレードのものです。

海外遠征は何度か行っている2人。遠征を通して得たもの、感じたものを聞いてみました。

戦績

<1週目> 日程:予選2/11-2/13 本戦:2/14-2/19
 予選1R 【田中】6-4,6-4Hongding DONG(CHN)Win 【松田】6-2,7-5Yumeko YOSHITOMI(JPN)Win
 予選SF 【田中】4-6,4-6Qianqian ZHAO(CHN)Lose 【松田】2-6,3-6Chengyiyi YUAN(CHN)Lose
 <2週目> 日程:2/18-2/20 本戦:2/21-2/26
 予選1R 【田中】6-4,6-2Yuenu LI(CHN)Win 【松田】4-6,6-4,0-6Siqi CAO(CHN)Lose
 予選SF 7-5,6-1Wanyu TANG(CHN)Win 予選F 1-6,3-6Junsai WANG(CHN)Lose
 <3週目> 日程:予選2/25-2/27 本戦:2/28-/5
 予選1R 【田中】7-6(1),4-6,6-2Chenchen FENG(CHN)Win
 予選SF 6-3,6-2Siyu CHEN(CHN)Win 予選F 0-6,0-6Qianhui TANG(CHN)Lose





Report 1 田中文彩 4年

私は今年世界ランキングを取得し、また全日本選手権に出場するという2つの目標を立てました。世界ランキングを取得する為には3大会で1ポイントずつ2大会以内で10ポイントを獲得すること、全日本選手権に出場する為にはランキングを上げることが必要で、どの大会に出て何ポイント取って達成できるかを考え試合スケジュールを立てました。

この時期には日本では全日本室内選手権やロイヤルSCオープンがありますが、会場で試合と練習のサイクルをしっかり積みたいと考え、海外遠征を選びました。同じ場所で何週間も大会が続くことは日本では中々なく、負けたら会場には残りません。負けてそのままにするのではなく勝ち上がっている選手の試合を見て自分との違いを探して取り入れたり、知らない選手に声

を掛け毎日練習とトレーニングをして試合に臨むことが出来ました。また他大学の学生が何人か出場しており、一緒に行動することで学ぶことも沢山ありました。結果は1週目が予選SF負け、2.3週目が予選F負けと、目標としていたポイント獲得には至りませんでした。ITFの大会は学生大会とは違い、積極性を持ってプレーをし続けなければ、勢いに押されてしまうと思います。流れを作るプレーをしていくことが自分に今後必要な点だと感じました。

私は昨年の10月から主将を務めさせて頂き、チームをまとめべき立場にあります。その中で自分の試合に集中出来るよう支えてくれた同期や後輩、そして監督をはじめとするコーチ陣の方々には感謝しかありません。この経験をチームに伝えていくことが義務であり、王座優勝という目標達成のために必要なことの1つだと考えています。今年は一緒に遠征をした松田や3年生を軸に勝負が出来るチームです。そんなチームを引っ張っていくこと、そして個人の目標も達成するために、今回の経験を活かしました頑張っていきたいと思います。

また学生の本分は勉強であり、テニスの活動との両立は大変なことだと思います。ですが、学校と部活を両立する為に頑張ることは素晴らしい経験になります。自分自身で色々な選択をすることが出来、またその選択をサポートしてくれる環境が亞細亞大学にはあります。テニスも勉強も共に頑張りたいと考えている高校生はぜひ一緒に亚細亞大学で頑張りましょう。



Report 2 松田美咲 1年

この中国のITFに2週出場するにあたって、目標として2週の試合で少なくとも1ポイントずつ獲得する事と、外国人の選手に対して自分の今の力を全部出し切る事が挙げられていました。

しかし、2週とも中国の選手に負けてしまいました。1週目は、身長はそこまで高くないのですが、とてもパワーがありどんなボールでも打ち込んで来る選手でした。そのスピードについていけず自分の力を少しも出す事が出来ませんでした。2週目は身長がとても高く、粘り強い選手でした。1週目の反省を生かし落ち着いてプレーする事を心がけました。途中まではお互い取って取られての繰り返しだったのですが最後は相手に押し切られそのまま相手のベースから抜け出す事が出来ませんでした。私は、外国人選手は日本人選手に比べ、力があるので考えてプレーする事が少ないと勝手に思い込んでしまっていて相手が考えてプレーしてきた時に対応しきれませんでした。なので、最終的に自分の気持ちに余裕が持てなくなり相手に流されやすくなったりと思います。

私がこの遠征でテニス面について学んだ事は自分が思っている以上に一球一球のボールの質を上げないといけないという事です。ただコートにボールを返すだけではいつまでたっても自ら攻める事が難しくなり、攻める事が出来たとしても簡単に返され一気に攻撃されてしまいます。また、サーブの強化をしなければならないという事です。外国人選手はサーブ力がある為、なかなかリターンゲームを取る事が出来ません。そうすると自分のサービスゲームを確実に取らなければいけなくなり、気持ち的にも余裕がなくなります。私はサーブ力が足りず簡単にサービスゲームを落としてしまう事が多く、リターンゲームの時に絶対に取らなければならないと言う思いが強くなり余計な力が入ってしまいゲームを取るのが難しくなっています。今回の試合でサーブの大切さをさらに感じる事が出来ました。

テニス面以外で学んだ事は、英語や中国語を話せるようにならなければいけないと言う事です。外国人選手に声をかけられるようにならなければ自ら練習相手を見つける事が出来ません。また、練習していても英語や中国語を話せないと自分の意見を伝えられず相手に合わせてばかりになってしまいます。そうならない為にも英語や中国語を身につけ、もっとたくさんの選手とコミュニケーションをとっていきたいと思います。

今回の試合を通して、課題がたくさん見つかりこれから何をしていかなければならないのかが明確になりました。私がこの遠征に行ってたくさんのことを学べたのは引率してくださった堀内監督を始めたくさんの方々がサポートして下さったからです。これからも感謝の気持ちを忘れず、出来るだけ早く課題を無くしてWTAランキング上位に入る為にこの亞細亞大学で頑張っていきます。



2017 Indonesia ITF Expedition Report

インドネシアITF 遠征レポート

- 遠征期間:2017年2月8日(水)~2月23日(木)
- 遠征先:インドネシア/ジャカルタ
- 出場大会:ITFフューチャーズ 賞金総額15,000ドル
- 参加学生:加藤彰馬(法2)
- 引率:宮崎靖雄コーチ

Jakarta

今年、本大学テニス部の学生1名が宮崎コーチ引率のもと、インドネシアのジャカルタに2週間の遠征に行きました。参加したのはグランドスラムへの登竜門である、賞金総額1万5千ドル大会を2大会。

これは我々が毎年3月に開催している国際大会と同じグレードのものです。

Jr.時代から海外に遠征していた加藤。この遠征を通して得たもの、感じたことを聞いてみました。

戦 績

<2週目> ■日程:予選2/11-2/13 本戦2/14-2/19 予選1R
 ■賞金:1万5千ドル

【加藤】6-2.6-0 Skyler BUTTS(HKG) Win
 予選SF
 6-7(4).4-6Rhett PURCELL(GBR) Lose

<3週目> ■日程:予選2/18-2/20 本戦2/21-2/26
 ■賞金: 1万5千ドル

予選SF
 【加藤】6-4.6-1Cristian Stefan MOLDOVAN(ROU) Win
 予選F
 3-6.5-7Robin THOUR(SWE) Lose





Report 1 加藤彰馬 2年

私がインドネシアに行こうと思った理由は、ATPのポイントが欲しかったからと、絶対に負けたくない早稲田の学生がインドネシアにエントリーしていたからです。私は13歳の頃からITFジュニアで海外遠征にいくことが多く、海外には行き慣れていきました。しかし、今回の遠征は、行きも帰りも1人で、飛行機だったり、ホテルだったり自分で取らないといけませんでした。いつもだったら、コーチにそのようなものをすべてやってもらっていたのですが、今回は自分でホテル側と英語でやり取りをしてとても大変でした。いざインドネシアの空港に着いてみるとものすごく不安で、空港からホテルまでのタクシーの間どこかに連れて行かれないとどうかという不安でいっぱいでした。無事ホテルまで着くことができ、ここで絶対にポイントを取って帰ろうと思いました。

2週目は外国人の選手とルームシェアをしました。ジュニア時代からよく知る選手だったので、初めてルームシェアをしました。最初は貴重品などを盗られてしまうかもと不安だったので、そんなことはなく、とても楽しく過ごすことができました。また、会話は英語で、自分はあまり喋れませんでしたが知っている単語を並べて通じることができ良かったです。

1週目は予選のSFで6-7(4)4-6で負けてしまい、2週目は予選の決勝で、3-6.5-7で負け、結果的にポイントを取ることができませんでした。しかしながら、海外遠征に行ったことで得られた物は大きかったと思います。1つ目はサービスゲームリターンゲームの展開の仕方です。自分が負けた選手は2週とも背の高い人で、サービスがとても良く、サービスエースを多く取られてしまいました。また、サーブが良いので自分のリターンが浅くなることが多く、そこをすかさず前に攻めてきました。リターンゲームは、積極的にエースを取りに来て、4本入ればゲームを持っていかれるという感じでした。外国人の選手は身長とパワーがあり、そういうテニスになってきます。これに対抗していくためには筋力やコート内でのフィジカルの強さが必要になってくるのを感じました。2つ目は、早稲田大学の選手たちの練習の質と普段の自分たちの練習の質が桁違いに違ったことです。自分はインドネシアで早稲田の選手の練習に混ぜてもらうことがありました。早稲田の選手はとても集中力が高く、なかなかミスをしませんでした。普段から質の高い練習を行なっているのだと感じ、自分も負けてられないと思いました。

今回はポイントを取ることができませんでしたが、インドネシア遠征を通して様々な経験をすることができました。今回の遠征で得たことを活かして、日々の練習に取り組んでいきたいと思います。そして、自分の目標である全日本選手権やインカレで優勝できるように頑張りたいと思います。



卒業生、それぞれの道

…指導者へ— To a Leader

高田 充
JTAナショナルチームナショナルコーチ
 「自分を信じ続けてきたこと」
 選手たちに伝えながら、世界にチャレンジしていきたい



私が亞細亞大学進学を決めたのは、堀内監督からの1本の電話でした。高校2年生の夏に父親を亡くした私は、その後、糸の切れた凧のように、自分がどこに向かっているのかさえ理解しておらず、正直、自分の将来について真剣に考えていませんでした。

ただ、“なんとなくテニスが好きだからテニス活動がしたい”と漠然な思いをもっていた私に対して、堀内監督の「テニスが強くなりたら亞細亞大学に来い」という電話越しからの情熱的な言葉。私は亞細亞大学入りを決意させるのに時間はいりませんでした。

実際、大学に入学すると、同じ学年にいた多くのライバルたちといっしょに過ごす刺激は、私に大きなモチベーションを与えてくれました。今でもよく憶えているのが、合宿での朝から夕方まで練習をして疲れきったはずなのに、夕食後にナイターのフリー練習を欠かさず行なっていたことや、部活が休みの日に学校の近くのコートをみんなで借りてお金を出してまで練習していました。

また、いま考えると当時嫌だった、先輩後輩の上下関係を経験したことは、その後の活動において、コミュニケーション能力や忍耐力とい

平成3年度卒業の我々は堀内監督が亞細亞大学に入り、強化を始めた最初の学生です。私は他の大学の推薦もいたしましたが、夢をもった監督のもと、そして同期の素晴らしい選手と亞細亞でいっしょに活動がしたいという強い思いで、堀内監督にお願いして受験させていただきました。

大学生活では、学業、テニス、部活動と充実した時間を過ごし、社会に出る前の準備をすることもできました。当時の衛藤学長からもテニスが強いだけではなく、人間力を高めるという考え方のもと、大学4年間教育を受けられたことは、現在の私にとって大きな財産となっています。

沖縄出身の私にとっては2、3月のセミナー春

合宿はかなり寒く、たいへん厳しいものでした。夕方からの10kmランニングなどは、正直逃げ出したくなることもありますが、それを乗りきることにより自信をもつことができたのも事実です。

大学リーグの団体戦では7部で（ひとりだけ）敗戦するという屈辱も、そしてチーム全員で成し遂げる喜びも味わうこともできました。自分の夢、目標に「チャレンジ」することを常に掲げて活動し、高校時代に戦績のほとんど

ない私が、全日本選手権で優勝し、グランドスラムも経験できたことは、亞細亞大学で経験した4年間、そして堀内監督から言われてきた「自分を信じ続けること」ができたからだと確信しています。

高校生の皆さんには、自分の可能性を信じ、目標をもって努力を継続する—言葉でいうのは簡単ですが、それに向かって「チャレンジ」する4年間であってほしいと願っています。それを実現できる環境はここにあります。

私は現在、ナショナルコーチとして活動しています。ナショナル選手のツアーに帯同して、常に強化を図り、レベルアップすることを心がけています。

デビスカップでは29年ぶりにワールドグループ入りを果たし、世界ランキング100位以内に3名が入るという目標も達成しました。今後も堀内監督に言われてきた、「自分を信じ続けること」を選手たちに伝え、世界に「チャレンジ」していきたいと思っています。

たかだ・みつる◎1969年9月26日、沖縄県生まれ、亞細亞大学出身。朝日生命退社後、2000、02年全日本選手権優勝。03年岩渕聰プロのツアー同行、03～06年杉山愛プロのツアー同行。03、04、07、08年とフェド杯日本代表チームのコーチ。11年からデビスカップコーチ、男子ナショナルチームの指導にあたる。(公財)JOCアシスタンントナショナルコーチ、(公財)JTAナショナルチーム、ナショナルコーチ(男子担当)。S級エリートコーチ

った、社会に出てからの重要な能力をつける修行期間であり、大きな財産となっています。

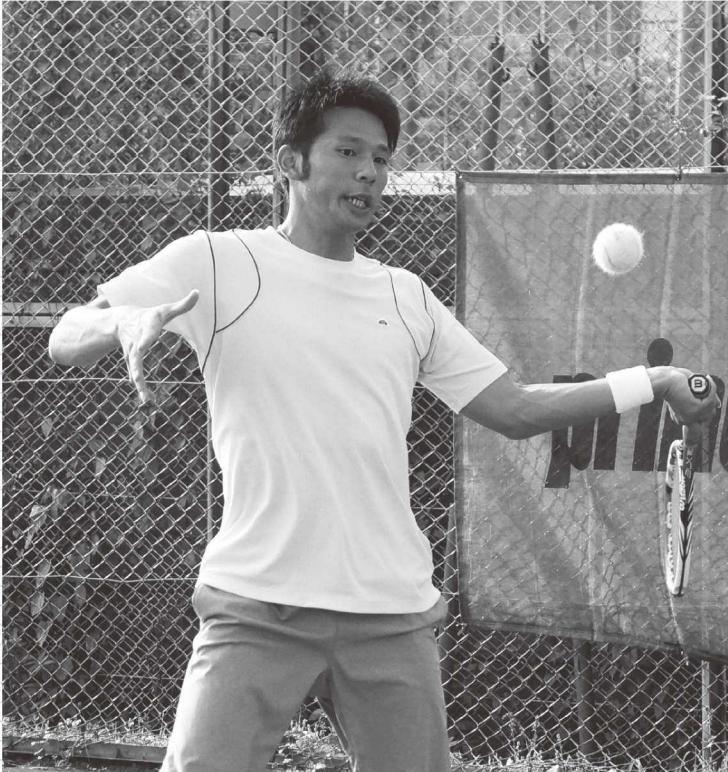
私は運よく大学4年のときに全日本選手権で複優勝（／佐藤博康）という結果を出し、ミキブルーンに就職できました。ミキブルーンではプロのような活動を8年間送ることができました。その後はナショナルコーチとして日本代表選手の強化に携わり、10年目になります。

人生は“自分の決断”でどんなことでもできると思っています。しかし、多くの選択肢を自分だけでは探し出すことができません。もし、この文章を読んでくれた高校生、ならびに両親、コーチがおりましたら、亞細亞大学を選択肢のひとつに入れて、真剣に自分の人生を考えていただければと思います。

こまだ・まさふみ◎1973年3月30日生まれ。愛知県出身。名古屋高卒。90年U18全日本ジュニア複優勝。91年亞細亞大学入学。94年大学王座優勝。全日本選手権複優勝。95年ミキブルーン就職。ミキブルーンで選手活動を8年間行ない、JOP(現JTA)最高単9位。その後はコーチへ転身、現在は竹内庭球研究所をベースに指導者の道を歩む。日本テニス協会ナショナルコーチ、16歳以下女子日本代表監督。S級エリートコーチ

駒
 田政史
(竹内庭球研究所)





…指導者&大学院へ

To a Leader & Graduate school

は監督の指導に救われています。指導者の言葉はときに人生を変える力をもちます。私は堀内監督の言葉をいまでも憶えています。

「どんなときでもさらに上のステージを目指せ」「自分に限界をつくるな」「何事にもチャレンジしろ」「テニスが強いだけでは意味がない」——これらの言葉は私の人間形成に大きく影響し、もはやそれは私の一部となりました。世間では『教育』に関するさまざまな問題がもちあがっています。私が考える教育問題において一番大事なことは、“尊敬できる教育者”に出会いうことだと思います。私は、堀内監督は間違いなくそれに値する人だと思いますし、心から尊敬しています。

私は亞細亞大を卒業したあと、プロテニスプレーヤーとして活動し、世界を目指してきました。海外転戦する生活の中で、あるときプレイヤーとしての自分ではなく、別の自分がこんなことを考え始めたのです。「海外と日本のスポーツ観の違い」「スポーツ生活者のスポーツを享受する能力の違い」「スポーツの価値に対する認識の違い」「なぜ日本のスポーツは多くの国民にとって身近な存在となり得ていないのか」「スポーツをさらに多くの人に余暇のひとつとして気軽に、平等に行なわれるものとするにはどのような経営がなされるべきか」などです。そのような疑問がやがて好奇心へと変わり、研究することを始めました。いまは、これまでとは違う形でテニス界に貢献していきたい——そう思うようになり、「『体育経営学研究』の道を歩んでいます。

現在は筑波大学大学院を卒業し、亞細亞大のコーチをしています。学生たちに対する技術指導はもちろんのこと、私がこれまで経験してきたことを彼らに伝え、活かしてもらえるように、それによってたくさんの可能性を秘めた社会人になってもらえるように日々指導にあたっています。

大学という場所は、社会人になる前の最後の教育の場です。現在、私が周りを見渡す限り、勉強とテニスの両面で、本気で取り組んでいる組織は数少ないと思っています。亞細亞大は、学生が本気でチャレンジできる場所です。この素晴らしい環境を活用して、有意義な学生時代を歩んでみたいと考えている高校生の入部を待っています。

みやざき、やすお 1981年8月29日生まれ。熊本県出身。熊本マリスト学園高校卒。98年全国選抜室内ジュニア選手権優勝。99年ウインブルドンジュニア出場、全日本ジュニア複優勝。00年亞細亞大学に入学。02年全日本学生室内単優勝、複準優勝。03.05月ユニアード代表(05年ルートで複ベスト8)。JTA最高位単17位、複16位、ATP最高位単790位(05年)、複829位(05年)。04年に大学を卒業、プロ転向し選手活動を続ける。現在は特定非営利活動法人アジアスポーツクラブ理事兼社員・国立大学法人電気通信大学非常勤講師・慶應義塾大学環境情報学部非常勤講師を努めながら、アザムアシアで後進の指導にあたっている。

宮崎靖雄

筑波大学大学院人間総合科学研究所
特定非営利活動法人アジアスポーツク
国立大学法人電気通信大学非常勤講師
慶應義塾大学環境情報学部非常勤講師

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程体育学修了
特定非営利活動法人アジアスボーツクラブ 理事兼社員
国立大学法人電気通信大学 非常勤講師
慶應義塾大学環境情報学部 非常勤講師 // 亞細亞大学テニス部コーチ

私の亞細亞大学との出会いは中学3年のとき。堀内監督が私の出身地である熊本に、テニスの指導に来てくれたことがきっかけでした。当時、熊本県テニス協会は私が高校3年のときに行なわれる予定だった『熊本国体』に向けて、強化を図っていました。その中で協会が亞細亞大学に少年少女の競技力向上の要請をし、協力していただくこととなったのです。

当時の熊本県のテニスは“全国レベル”とは言い難く、当然、私自身のテニスも全国レベルではありませんでした。全国大会に出場するためのエントリー方法さえ知らないという状況です。そんな環境の中で育ってきて、堀内監督の指導を受けたのですから、見るもの聞くものすべてが新しく、「亞細亞大へ練習に行きたい」「堀内監督の指導を受けてうまくなりたい」と思うのに時間はかかりませんでした。

中学3年の冬に東京に行き、亞細亞大の合宿に参加。およそ2ヶ月弱、大学生と同じ練習をさせていただきました。当時の亞細亞大は男女とも全国1位でしたから、先輩方にとっては私の存在は迷惑だったと思います。しかし私にとっては毎日が刺激的で楽しく、そのときの光景は昨日のことのように思い出されます。

高校生になると、休みのたびに練習に参加させていただくようになり、一方で堀内監督が熊本に出向いてくださり、指導していただくこともありました。そのような状況が続く中で、堀内監督の熱意が私の視野を世界へと向けさせてくれました。

熊本国体が終わっても、私の心中では「世界を目指したい。そのためには日本一の指導力を誇る亞細亞に行きたい」という想いが募っていく。進学を決めたのです。

振り返れば、私の学生時代はテニスに没頭した日々でした。さまざまな成功もありましたが、たくさんの失敗もありました。そのようなとき

---指導者へ--- To a Leader

私は、亜細亜大学を卒業後、弟の西岡良仁をはじめ、様々なプロ選手のコーチング、ヒッティング、サポートをしています。ですが、私もプロを目指にして生きてきました。現実は厳しく、結局、結果を出すことができずには夢を諦めました。今まで明確な目標があった人生でしたが、急にそれがなくなったことで、自分のことが全くわからなくなりました。自分は何がしたいのか、何ができるのか、何のために生きたいのかわからなくなっていました。そんな時、良仁が「一緒にツアーを戦わないか」と言ってくれました。そこで初めてツアーコーチとしての経験をすることになったのです。私にとっての第一歩でした。そこで感じたことは、「自分から求めることが当たり前の世界」ということです。ツアーの現場では誰も与えてはくれません。だからこそ、自己アピールがMustな世界です。自分から行動しなければ、何も得ることができないということを知りました。同時に、とてつもないやりがいを感じました。プロ選手のコーチは、元プロ選手や有名な選手にしかできないといったイメージがあると思います。実際ツアーコーチとして、この年齢で活動している人はいないと思います。でも、私は敢えてそれにChallengeすることを決めました。そのきっかけとなった言葉が、There is no time like the

presentです。直訳すると、思い立ったが吉日という意味になります。今やろうとしていることは、私にしかできないことかもしれないと思い、気づいた時には走り出していました。それから、私はあらゆる現場を経験させてもらいました。必死に何かを成したい、学びたいといった姿勢は必ず誰かが見てくれています。私はたくさんの方々に手を差し伸べていただきました。格好悪くとも、周りから批判されても、自分自身を信じること。やりたいことに誠実であることが、きっと誰かの心に響くと私は思っています。出会いは必然です。必要な時に必要な人と出会うようにできています。きっと、それに気づくことが大事であり、難しいことだと思います。だからこそ、選んだ道を信じていくしかないのです。そしていつか、やってよかったと思える人生でありたいと思います。「今」を、そして「出会い」を大切にしてください。



西岡靖雄
（ツアーコーチ）

大出会いは必然。
大事なのはそれに気づくこと。

にしおか・やすお ◎1993年10月8日生まれ。三重県出身。四日市工業高卒。12年亜細亜大学入 学。16年に本大学を卒業後、ツアーコーチとして活動中。西岡良仁、澤柳璃子のサポートをはじめ、プロ選手、ジュニアの強化、育成に関わる。グランドスラム、ツアー大会の帯同経験あり。17年4月より、スペインのバルセロナにあるテニスクラブ「Club Mollet」を拠点に、ヨーロッパ、クレートのテニスを学ぶ。

---教師へ--- To a Teacher

平良和己
(沖縄尚学高等学校)

高校時代に歯が立たなかつた
間違いなかつたと思いまし
た高校時代に歯が立たなかつた
間違いなかつたと思いまし
た

6歳でテニスを始めて、高校まで地元・沖縄で活動しました。高校時代はインターハイで団体ベスト8に入るも、個人戦は1、2回戦負け一一どうしてももっと強くなりたかった——。関東1部リーグではない、偏差値の高い名門の大学にも誘われましたがまったく興味がなく、全国のトップ選手が集まり、10面のテニスコートとグラウンド、トレーニングセンターなどの素晴らしい環境、そして堀内先生の指導に「ここだ！」と感じて亜細亜の門を叩きました。

4年間の学生時代は、大半をテニスに費やしたと言っても過言ではありません。沖縄はない素晴らしい環境の中、全力プレーできることに、今までにない充実感を覚え、毎日テニスコートを走り回り、自分なりに限界を目指してきました。そんな中で高校時代にはまったく歯が立たなかつた選手に関東学生で勝ったとき、

亜細亜を選んで間違いなかつたと感じました。リーグ戦、大学王座という今まで味わったことのないプレッシャーの中での試合は、いまとなればとても良い経験だったと思います。人生であれほどのプレッシャーはなかなか味わえるものではありませんから。

現在は高校の教師として教壇に立ち、放課後は部活を指導しています。もともと教師になるとは思っていませんでした。何となく4年間で免許が取れるならと思い、3年次から教職授業を受け、社会科の教員免許を取得しました。亜細亜のテニスクリニックで人にテニスを教える楽しさを感じ、今までの経験を地元で伝えられたらと思うようになったのです。堀内先生、森コーチの指導は、いまの私の部活指導の基本になっています。亜細亜での経験が、教師となつたいまの私を支えています。

大学4年間で目標を達成するために、誠実にテニスと向き合い努力することで、人として成長し、社会で認められる人間になる——亜細亜はそれができる場所です。目標があるなら、私は亜細亜を選んでほしいといいます。

たいら・かずみ ◎1982年6月29日生まれ。沖縄県出身。沖縄工業高校卒。インターハイ団体ベスト8。01年亜細亜大学入学。04年新進ベスト4、春闘単ベスト8。04年大学を卒業。05年日本体育大学で体育教員免許取得。06年沖縄尚学高等学校体育教員に就任、現在に至る





中村聰利

(浦和学院高等学校)

偏差値よりも個性値を大切にすること
で、「個」を磨くことができました

10歳でラケットを初めて握ってから今までの26年間で、テニスを通じてさまざまなことを学んできました。「感謝をすること」「あきらめないこと」「勝つために最善を尽くすこと」「相手を尊重すること」「チームの一員として役割を果たすこと」など。そして何よりもかけがえのないことは、「テニスを通じて多くの人と出会い、国内に限らず海外の友人もでき自分の視野が広がったこと」です。そんな経験をすることができた場所のひとつに、亞細亜大学があります。

当時は同世代のトップたちとともに、学生時代の大半をテニスコートで過ごしました。好きなテニスに夢中になり、その楽しさを感じ、ときには勝てない自分に悩み苦しんだりもしましたが、そんな日々と向き合いながら過ごせたのも「テニスが大好き」という思いと、堀内監督をはじめとした仲間が亞細亜という環境にいたからだと思います。

印象深いのは、日本一を決める大学王座決定試合に、4年次で挑んだ「王座奪回」。結果、優勝することはできませんでしたが、部員が同じ

私が亞細亜大学に進学した理由は、テニスに本気で打ち込みたいと思ったことと、自分を大きく変えることのできる環境があると思ったからです。

学生時代は1、2年となかなか思うような結果が出せず苦しい思いをしましたが、3、4年になると試合経験と練習量が増加し、海外遠征（ポルトガル）によって自信がつき、インカレに出場して勝つことができました。なおかつレギュラーとしてリーグ戦に出場することもできました。また4年次には主将となり、同期の皆さんに支えられて乗り越えることができました。

“責任”という大きなものを背負いながら日々を過ごせたことが、自分を成長させてくれたように思います。

私自身は高校まで、テニスクラブで練習をしていたので、大学からの部活生活は本当に新鮮でした。今まで自分でうまくなるとか強くなると思っていましたが、部活でやることによってチームで強くなると思えるようになり、“協調する”ことの大切さを知りました。

現在、私は教師として、またテニス部顧問として活動しています。最初から教師を目指していたわけではありませんでしたが、教育実習を経験し、教師のたいへんさを知るとともに、人を変えることのできる仕事というところに非常

方向を向き、本気で戦い抜いた準優勝には清々しいものを感じました。

現在は高校教師として教壇に立つと同時に、亞細亜で培った経験を生かし、テニス部顧問として務めています。私の指導の心得の中には、孔子の言葉「水は方圓の器にしたがう」があります。これは「人は環境や交友関係によって善くも悪くも変わる」という意味です。お互いが信頼し、尊重し合える仲間をつくり上げることこそが、私たちにとっての「師」であり「テニス」なのだと思います。だから、指導者は自らを高め、その環境づくりにエネルギーを注がなければいけないと感じています。

最後に、これから社会を生き抜くためには「個」が問われることでしょう。偏差値よりも個性値を大切にする大学で、自身も「個」を磨くことのできた亞細亜は、誇りのもてる私の母校です。亞細亜の門を突き破り、挑戦し続ける高校生の入学を期待します。私も生徒とともに、挑戦を続けています。

なかむらあきらとし◎1975年12月13日生まれ。山形県出身。日本大学山形高等学校卒。93年全日本Jr.18歳以下単バスト32。94年亞細亜大学入学。97年インカレ複ベスト32。98年に卒業し、98~04年までJAMプランニングにテニスコーチとして務め、ジュニア育成に携わる。04年4月から学校法人明星学園浦和学院高等学校に教師として就任し、現在に至る



に魅力を感じました。自分が指導している子供たちが日々成長している姿を見たり、自分の伝えたことを実践して変わろうと努力している姿を見ると、まさにやりがいを感じます。

高校生のみなさん、亞細亜には本気になる環境があります。いつかは現役を退き、本気でコートを走り回ることもなくなります。しかし、そうなる前に大好きなテニスと納得いくまで本気で向き合い、本気で生きることを感じてください。最高の人生を送るためにには最高のプロセスを送ること。そのためには日々何事にも全力で取り組むこと。頑張れ高校生!!

しんや・あきら◎1985年3月7日生まれ。大阪府出身。大阪産業大学附属高等学校卒。03年亞細亜大学入学。06年春季関東学生単&複ベスト32、インカレ単バスト64、複ベスト32。07年に卒業し、現在は母校である大阪産業大学附属高等学校に社会科教員として務めるかたわら、テニス部顧問としても活動している

新谷 啓

(大阪産業大学附属高等学校教師)

本気になれる環境で、本気で生きることを感じてください

（平成国際大学専任講師／テニス部監督）
森嶋 修
 亞細亞でしか
 得ることできな
 チャンス“がありま
 す。

こんにちは。2012年卒業の森嶋修です。私は大学卒業後、日本体育大学大学院へ進学しました。大学院ではコーチング学を専攻し研究を行い、大学院修了後は日本大にて研究员を2年間勤めさせていただきました。今年度(2017年度)からは埼玉県にある平成国際大学の講師として勤務させていただいている。平成国際大学では今年度から新たにテニス部が新設され、テニス部の監督として活動も始まったところです。



私の大学時代を振り返ると、1年生ではボーラー、2年生では審判、3、4年生ではベンチコーチとノンレギュラー街道を突っ走った私でしたが、それでも同じ志を持った仲間と毎日全力でテニスコートを走り回った日々は何にも替えがたい大切な時間です。

私は大学4年間でテニスが大好きになりました。テニスを学び、探究すること面白さはこの部活で学びましたし、テニスを通じて多くの仲間ができる事をこの部活で知りました。大学卒業後もテニスに携わっていきたいと思ったのも部活での経験があったからだと思います。偶然にもご縁をいただき大学の指導者として活動していますが、テニスの魅力を伝え、テニスが大好きな学生を一人でも増やすことが私の務めであると感じています。

亞細亞大学テニス部には部員全員にチャンスがあり、取り組み方次第でいくらでもチャンスをつかみ取ることができるのが特徴だと思います。テニスコートの面数やスタッフ陣、豊富な資料など充実した環境が整っており、部員全員の練習時間が平等に確保されています。向上心を忘れず、自分のなれる最高の自分を目指してテニス部での活動に励んで欲しいと思います。

もりしま・おさむ◎1989年4月29日生まれ。長野日本大学高校卒。08年亞細亞大学入学。2010,2011年亞細亞大学国際オープンテニスのメディアチーフを担当。2011年は副将を務める。12年に大学を卒業し、日本体育大学大学院へ進学。日本体育大学研究員を経て、17年4月から現職。

その後の人生を大きく左右する重大な局面を人生のターニングポイントと呼びますが、私にとってのターニングポイントは亞細亞大学への進学でした。テニスに打ち込める最高の環境、真摯な姿勢に惹かれ、数ある大学の中から亞細亞大学を選択しました。そして、その選択は正しかったと社会人になった今改めて感じています。その理由は、他では得られない経験を積む事ができたからです。

その1つが亞細亞フューチャーズです。学生主体となって行う亞細亞フューチャーズでは、企業訪問による協賛のお願いやポスターの掲示依頼、テニスクリニックによる資金集め等をしてきました。開催期間中は、大会が円滑に進むように各部署ごとに役割を果たしました。もちろん最大の目的は、試合に出場し勝つことですが、それだけではなく有意義な社会勉強になりました。その他にも、海外留学や4年時に務めさせて頂いた主将の経験が今に生きていると思います。

大学生は、法律的にも精神的にも、全うな社会人になる為の準備期間であると私は考えています。親元を離れて一人暮らしを始める学生も多いと思いますし、在学中に成人を迎えます。

4年間という限られた中で、様々な経験を積むことができる、重要な期間です。この期間の取り組みや出会いが社会人としての基礎となります。私は現在、営業の職に就いています。日々お客様の元を訪ね、お客様の声に耳を傾け、それに応える、お客様との信頼関係の元に成り立つ仕事です。辛いこともあります、「ありがとう」とお客様から声をかけて下さると非常に嬉しくなります。その瞬間があるからこそ頑張れます。

テニスは生涯スポーツですが、必ずどこかで競技者としての引退を迎えます。ですが、人生はその後も続いていきます。テニスから離れ、社会人として曲がり形にもやっていけるのは亞細亞大学での4年間があったからこそだと思います。支えて下さった全ての方々への感謝を忘れずにこれからも社会人として社会に貢献して参ります。

野田 雄希
 亞細亞大学で社会に出ていく
 台をつくることが出来ました
 （株式会社アドヴァン）



のだ・ゆうき◎1991年9月13日生まれ、香川県出身。高松北高校卒。2014年卒、13年亞細亞大学主将を務める。現在は、株式会社アドヴァンに勤務。

「目標を達成するために自分が変わることで、私が亞細亞で学んだことです」

(埼玉平成高等学校教師) / テニス部監督

細谷亮太

「教師になる」——高校での3年間の部活を終えたあと、自分が学んできたことを後輩に伝えていきたいと思ったのがきっかけでした。その気持ちは大学4年間も変わることなく、現在は、昼間は教壇に立ち、放課後はテニスコートに立っています。

教師としてはまだまだの私ですが、生徒の将来を担っているという意識をもち、日々充実した生活を送っています。私の指導の軸は「目標を立てたら、達成するために自分が変わる」ということです。目標を変えることは簡単ですが、それでは自分はいつまでたってもそのままです。「自分が変わる=成長する」ということを教室でもコートでも意識して伝えています。このことは私が亞細亞で学んだことであり、この志があったからこそ、私はいま教壇に立てていると自負しています。

「百聞は一見に如かず、一見は一体験に如かず」、私の好きな言葉です。高校生のみなさんは最初の一步を踏み出し、自分で経験してみてください。そしてテニスを通して人として大きく成長してください。



はそや・りょうた ◎1988年4月12日生まれ。茨城県出身。霞ヶ浦高校卒。06年インターハイ3回戦。07年亞細亜大学入学。10年亞細亜大学国際オープンテニス・アシstantディレクター。11年に大学を卒業し、都内の小学校に非常勤勤務。その後、12年水戸啓明高校国語教員として勤務。13年から埼玉平成高校に勤務。現在に至る。



中学の部活からテニスを始め、正直ここまでテニスに関わる人生になるとは思ってもいませんでした。これまで様々な分岐点で大事な決断やたくさんの人との出逢いがありました。中学でも高校でも納得のいく結果が残せず、もっと強くなりたいと思うようになりました。

部活でテニスを学んできた私は、日本だけではなく世界に視野を広げた指導者のいる大学に進学を決めました。そこは、本気になれる素晴らしい環境でした。

本気で上を目指す人たちの集まりについていくので必死でしたが、辛く厳しい毎日の中で、仲間と共に味わう感動が何よりも自分を成長させ、強くなれたのだと感じています。そこで得られたものは、テニスの技術だけではありませんでした。テニスクリニックなどを通じて人の繋がり、教える楽しさ、喜びなどを学び経験

させていただきました。また、全豪に行き全日本の選手の方たちの合宿に加わり、お金には変えられない価値のある経験をさせていただきました。

現在、教師をやりながらテニス部の顧問をしています。私自身結果を残せたわけではありませんが、不完全だからこそ目的を果たすために何が大切なことを伝えられると思います。教師なんて1ミリたりとも考えていましたが、亞細亞大学で培ったものや堀内先生との出逢いが私を変えました。テニスの面白さや人に教えることの楽しさそして、仲間と共有することのできる目的があることの素晴らしさを亞細亞大学で教えていただきました。どんなに強い選手でも努力なしで成果はないということを子どもたちに伝えています

誰かの下で、どんなに良い環境であっても、何をどのようにしていくか、目的がなければどこにいても同じだと思います。本気になるかないか、その分岐点は自分の中にはあります。

テニスを追求し本気になれる亞細亞大学は自分次第で最高の場所になると思います。

えんどう・まりこ◎1983年7月11日生まれ。埼玉県出身。浦和学院高校卒。01年インターハイ団体ベスト16、複出場。全日本ジュニア18歳以下複ベスト16、02年亞細亞大学入学。05年インカレ複出場。06年大学卒業。社会科教員免許取得。07年日本体育大学で体育の教員免許を取得し、翌年、学校法人明星学園浦和学院高等学校の教師として就任。16年日本大学三島高等学校の教頭として就任し、現在に至る。

遠藤真理子

身をもつて経験できました
あきらめずには頑張れば
報われるということを、
三上英知

(伊藤忠商事株式会社)

私は一般入試で亜細亜大学に入ったので、入部当初は、自分のレベルが周りの同期、先輩とかけ離れており、やっていけるのか不安に感じたのを憶えています。それでも自分を信じ、とにかく、毎日必死にボールを追いかけていました。途中、ケガなどもありましたが、堀内監督を信じ、あきらめずに4年間頑張った結果、入学当初は想像もしなかった成績を収められ、本当に良い経験となりました。ありきたりですが、あきらめずに頑張れば報われるということを身をもって経験できることと、主将をやらせてもらい、人をまとめるこの難しさを勉強させて



私は亜細亜大学を卒業し、ウェスティンホテル東京に就職しました。

外資系のホテルに就職を希望していたので所属していた国際関係学部で英語を積極的に学ばせていただきました。学部のカリキュラムに半年間の留学があり、英語の勉強はもちろんアメリカの大学でテニス部に所属することで大会に出場したり、スポーツを通じて外国人とコミュニケーションを取れたことは今でも大きな財産になっています。

4年間で得たものはテニスからだけでなく人間関係から社会人としての基本まで学ばせていただきました。テニス部で培った経験が今の私を作っていると思います。監督やコーチに連絡する際の定型文などはとても細かく、「ここまでしなくてもいいだろ！」と学生に頃は思っていましたが、今振り返るとそれが社会人としての最低限の常識だったことがよくわかります。私はテニスでは思うように戦績を出すことができなかっただため裏方の仕事をすることが多かったのですが、そのおかげでチームメイトを支える楽しみと苦労を知ることができました。自分だけでなくチームで結果を出すという事は仕事に通ずるものがあり、この考え方で大きく成長

いただきました。両方の経験がいまの人生に生きています。

楽しかったことと言えば、何と言っても素晴らしい同期と出会い、いっしょに時間を共有できたことです。ほとんど兄弟のように365日いっしょにいました。反対につらかったことは、毎日でしたが(笑)、それくらい必死に練習していました。やはり4年のときに部の運営をしていて、なかなか全員が同じ方向を向いてくれなかったときはつらかったです。でもそれもいまとなっては良い思い出です。

亜細亜大学テニス部は、素晴らしい練習環境の下、テニスの大幅なスキルアップが図れることは間違いないし、同時に人間力を磨ける本当に素晴らしいチームだと自負しています。ぜひ入部して自分を試してください。

みかみ・えいち◎1970年9月18日生まれ。静岡県出身。静岡聖光学院高校卒。89年亜細亜大学入学。91、92年春季関東学生復ベスト8、インカレ複ベスト32、91年全日本テニス選手権複出場、92年全日本学生室内複出場。93年大学卒業後、伊藤忠商株式会社、建設部門に配属。その後、食品流通部門へ異動しファミリーマート事業に携わる。06年より5年間中国広州市へ海外駐在。駐在中もテニスを通して日中交流を楽しむ。帰国後は、駐在の経験を生かし中国を担当

佐藤俊介
(ウェスティンホテル東京)

テニス部で培った経験が
今の私を作っています

することができたと思います。

亜細亜大学のテニス部では他の大学にはない練習環境や社会人になるために役に立つ国際大会運営などがあり、自分の意識一つでテニスも人間力も大幅に成長できる場所です。まっすぐ向き合ってくれる監督やコーチ陣や、切磋琢磨し一緒に汗をかき一生をともに過ごせる仲間たちとともに4年間しかない大学のテニス生活を亜細亜大学で挑戦してみて下さい。

さとう・しゅんすけ◎1992年12月15日生まれ。三重県出身。四日市工業高校卒。15年卒業し現在は、ウェスティンホテル東京に勤務。



この恵まれた環境を
生かすも殺すも自分自身です

宮脇駿

(株式会社全薬工業)



私が亞細亞大学に進学した理由は、高校生時代に達成出来なかった個人戦の全国大会出場を成し遂げる為に、本気でテニスに打ち込みたいと思ったことと亞細亞大学にはその目標を達成させる為の環境が揃っていると感じたからです。

日本トップクラスのコーチ陣・全国から集う強者・十分すぎるテニスコートとトレーニング施設。何より自立性を尊重して各々が目標を持ち、チームで成長していくことが出来る環境が亞細亞大学にはあります。

結果的には、私は大学4年でインカレ出場を果たし、高校時代の目標を成し遂げることが出

きました。しかし、そこまでの過程は決して楽しいことばかりではなく、悩み苦しんだ時期もありました。ですが、その悩み苦しんだ時期があったからこそ今の成長した自分がいる感じています。上手くいかない時期を乗り越え、目標に向かって諦めずにやり遂げることがテニスのみならず、人生において大切なことだと亞細亞大学テニス部で学びました。

現在は、医薬品営業マンとして一般企業に勤めています。人生の大半をテニスに費やしてきた自分が一般企業に勤めるとは正直思っていませんでしたが、今までにない経験が出来ることと新しいことにチャレンジが出来る環境がある為、日々成長を感じて充実しています。

最後に高校生の皆さん、亞細亞大学にはテニスに本気で向き合える環境・自分と本気で向き合える環境があります。自分の目標に向かって諦めずに立ち向かう姿勢がその後の人生にも必ず役に立ちます。是非、亞細亞大学に入学して大きな夢を叶えてください!

みやわき・しゅん◎1993年10月31日生まれ。愛知県出身。名古屋高校卒。12年亞細亞大学入学。15年新進複ベスト16。インカレ複ベスト32。現在は、株式会社全薬工業に勤務。

私が亞細亞大学に入学したのは、今から9年前の事です。当時、インターハイ上位常連高校にいたにも関わらず、個人としての全国大会出場経験は一回もありませんでした。そんな自分を変えたくて、関西から上京し、関東リーグ1部の亞細亞大学の門を叩いたのが入学のきっかけです。

そこからの日々というのは、1部校ならではの練習量やトレーニング、戦略戦術の知識、人としての在り方、かけがえのない仲間との出会い等、今後の人生においても中核となる大切なことを学んだ4年間であったと思っています。なかでも私と同じように戦績がなく、大学の体育会テニス部に進学を考えている高校生には、是非亞細亞大学に入って経験してほしいことがあります。それは、「結果が出たことによって感じられる、自分自身の成長です。」もちろん今まで経験している人や、経験していない人。他の大学に行っても同じようなことが言えるのではないかと思う人もいると思います。ただ、私がいた4年間本気でテニスに向き合った



仲間においては、例外なく全員がテニス・人としての成長がありました。これはひとえに亞細亞大学だからこそ成長できたのだと私は思っています。私は、インカレに出場することができ、4年次には主将も務めさせて頂きました。

社会人になった今でも亞細亞大学で得た人のつながりは一番の財産です。高校生の皆さんには、同じ大学で同じ経験を、世代を超えて共有できることを楽しみにしています。

たかはし・りょうへい◎1990年10月4日生まれ。大阪府出身。長尾谷高校卒。09年亞細亞大学入学。10年インカレ単出場。11年春季学生単ベスト32。12年春季学生単ベスト32。現在は、株式会社NIPPOに勤務。

高橋良平

(株式会社NIPPO)

結果が出たことによつて感じられる
自分自身の成長を
亞細亞大学で経験して欲しいです

津布久萌

何亞細亞大学での4年間のおかげで、
何の違和感もなく会社で働くことができました

(株式会社リコー)

ただただ、テニスに夢中でした。夢中というより『必死』という言葉の方が適切かもしません。ナイター付きのコートに、トレーニングセンター、広い芝生が揃ったとことんやれる環境の中で、先輩の背中を見ながら、先生の知識を盗みながら、とにかくひたすらテニスに打ち込みました。

苦手だったサービスとフォアハンドは、フォームの改善から取り組み、走れる体をつくって、団体戦の醍醐味も味わうことができ、非常に充実した4年間だったと思います。しかし社会人6年目になったいま、「私にとっての4年間は何だったか」と自問自答したとき、やはり「社会に出るための準備期間」だったと即答すると思います。

学生時代は正直、やっていることに意味があるかないかなんて考えてもいませんでした。何か終える毎に書かされる報告書やレポート、電話をかける際のはじめの挨拶、メール作成の際の定型冒頭文、クリニックや国際大会の運営……社会人になって初めて、これらが全て組織の中で活動していくうえでの義務やマナーに繋がると知りました。

例えば営業職に就いた場合、活動日報の入力や、商談進捗の報告や共有は当たり前のことですし、お客様への対応ひとつにしても、学生時代に身につけた習慣がそのまま現場で生かされました。

学生時代、「報・連・相」は必ずひとつ上の先輩にしなくてはならず、年次を飛ばしてはいけないことに疑問をもったりしていましたが、企業の組織の中でリーダー→部長→事業部長と順を追っての「報・連・相」は基本です。また社内外問わず必要なコミュニケーション能力も



向上しました。

このように、亞細亞大学での4年間のおかげで、何の違和感もなく会社で働くことができました。ここにはテニスをする上での素晴らしい環境が整っています。それだけではなく、社会に出ていく準備ができる環境もあるということをみなさんにお伝えしたいと思い、筆をとらせていただきました。みなさんのこれからのご活躍を心よりお祈りしています。

つぶく・もえ◎1985年1月24日生まれ。山口県出身。共栄学園高校卒。朝日生命久我山SC出身。01年全日本ジュニア16歳以下単優勝。03年亞細亞大入学。06年大学王座準優勝、全日本学生室内複優勝。大学卒業後、07年株式会社リコーに入社。10年全国実業団リーグ3位。現在は引退し、社業に専念



03年、関東リーグで7度目のアベック優勝

就職ガイダンス

卒業・就職までのスケジュール

1年 働く意味を知り、なりたい自分を見つける

2年 自分の強み、興味、関心を仕事に向ける

キャリアガイダンス

キャリア形成の取り組みをサポートする説明会で、ワークシートなどを用いてキャリアに関するレクチャーを実施します。

●キャリアフィールドワーク

「働くこと」をリアルに捉え、職業観をより明確にすることを目的としている。大学生版「社会見学」のようなもので、就職をより強く意識する絶好のチャンスです。

●就職準備講座

夏季集中講座。就職活動の3大要素、「自己分析」「企業訪問」「模擬面接」を学びます。

●キャリア講演会

社会で活躍する著名人や卒業生を招いての講演会を行ない、学生時代に「何をすべきか」を知り、その後の「生き方」を考えていきます。

●職業興味検査

進路の方向性を客観的に理解するための機会。「職業と自分」を考えていきます。

キャリア・就職支援プログラム

●個人面談

「学生一人と徹底的に向き合い、同じ目線で将来を見つける」キャリアセンターは常に学生とひとりになり、各自の興味・関心や個性を見据え「進路」を模索します。

●グッドカンパニーフェア

2月、3月、5月に企業の人事担当者の方に来ていただき「学内企業説明会」が行われます。約200社を招き、業務内容などを細かく説明してもらいます。

●キャリアデザイン

なりたい自分への道を描くスキルを身につける。

●卒業生との語らい

亜細亜大学の卒業生をキャンパスに招き、就職活動体験や業界・企業に関する情報を教えてもらうことができ、年齢が近く適切なアドバイスをもらうことができる。

●業界研究セミナー

「業界」の概念を学び、志望企業をイメージする。日本を代表する企業約20社の人事担当者を招き、企業の動向や採用情報、求める人材像などを詳しく解説してもらいます。このセミナーをきっかけに進路を決定する学生も多数います。

資格取得支援および各種講座も多数あり

公務員試験講座
[1講座6コース]

民間企業就職試験講座
[1講座2コース]

資格取得講座
[10講座15コース]

TOEICテスト対策講座
[1講座16コース]

語学会話講座
[3講座15コース]

福祉関係講座
[3講座6コース]

専門課程

①教職課程

①「社会科、英語科(国際関係学部のみ)」

中学校、高校の一種教員免許状の取得を目指します。取得できる教科は、高等学校の公民・商業・英語高等学校の商業は、経営学部経営学科のみ。中学校の社会・英語中学校・高等学校の英語は国際関係学科のみ。学校図書館に配置される司書教諭の資格も取得できます。幅広いプログラムで実力のある教員を養成しています。

②図書館学課程

図書館法によって定められている図書館司書の資格を取得できます。同時に、情報システムを駆使できる専門職を育成します。

③社会教育主事課程

生涯学習の企画・立案を行なう専門職を目指します。本課程修了で社会主事の講習を履修したことになります。

亞細亞大学では、入学時から多彩なキャリア・就活支援プログラムを展開。
自分に合った職業に就けるように全学年を通して、個別面談を中心に細かなサポートを行なっています。

3年

自分の適正を見極め、
目指す業界、
職種を絞り込む

4年

就職活動本番!
自信を持って選考へ

就職支援ガイダンス

●自分を知る

自己理解、自己分析、履歴書作成を支援します。

Hop

キャリア・就職支援に関するセミナーや目的別講座を実施します。3年次には介護体験、4年次には教育実習が行われます。

●業界・企業を知る

「人事担当による模擬面接」に「ビジネスマナー講座」「文献情報入手講座」「内定者に聞く“就活の基礎”」「卒業生との語らい」「業界研究セミナー」などの実施。

●いざ就活!

「グッドカンパニーフェア」「学内企業説明会」「専任職員による個別面談」の実施。

Jump

インターンシップ体験

2、3年次の夏休みに「インターンシップ体験(就業体験)」に参加するのが一般的。1年次にも参加できます。

→「教育実習に行ってきました」 辻本 有佳里

(平成28年度卒業 法学部法律学科 社会科・公民科)

私は母校の園田学園高等学校で3週間の実習を行いました。私の実習での目標は、自分も楽しみながら社会科を学び、生徒とそれを共有し、そして社会科以外の教科も含めて「学ぶことの楽しさ」を伝えることでした。そして、自分から笑顔を発信することでクラスの雰囲気や生徒との関係を良いものにしたいと考えました。

実習ではまず、自分のクラスの生徒たちから積極的に話しかけ、交流を大切にしました。最初はやはり緊張と受け入れてもらえるかという不安がありました。勇気を出し、休み時間は話している中に入ったり、お昼ご飯を教室に持つて行って一緒に食べたりしている内に、生徒たちの方から誘ってくれるようになりました。また、私が実習を行った週から始まったコーラス大会の練習に付き添ったことで生徒たちとの距離を縮めることができました。ホームルームではやはり問題も起きましたが、本音で話し合い、感情をあらわにしながら問題に向き合うことで日々着実にクラスがまとまっていく姿には心を打たされました。

2週目以降は教壇実習と担任業務が始まりました。担当したのは3年生3クラスで、現代社会の平和主義の理念～有事問題の範囲でした。就職や専門学校へ進む生徒が多いクラスなので受験する人はほぼいませんでしたが、選挙権が18歳に引き下げになったので、指導教諭や教頭先生からも「実生活に結びつくような指導」を最初に求められました。集団的自衛権や安全保障条約などは新聞やテレビで報道されていた旬な内容であったため、50分という限られた時間内で詳しく説明するのは難しかったです。しかし空きコマや放課後に社会科の先生方に説明の流れや抑えるべきポイントを聞いたり、空いている教室で板書を実際に書いてみて修正を加えたりなど、少ない時間を有効活用することで一方的な教師目線での授業ではなく、生徒の気持ちを考えて授業を作ることができました。生徒たちから「面白くて分かりやすい授業」と言ってもらえた



ときはとても嬉しかったです。心配ばかりしていた実習でしたが、終えてみると楽しい思い出ばかりが心に残り、教師という職業に対するイメージが良い意味で変わりました。多くの方々のおかげで有意義な経験をすることことができて良かったです。卒業後はテニス審判員として活動する予定で、教師とはまた違う道にはなりますが、実習で得た「相手目線」というキーワードを胸に、自分の夢に向かって頑張っていきます。

卒業生の主な就職先

■就職状況

近年、学歴よりも人物重視の選考を多くの企業が取り入れてきています。

そこで就職状況を紹介するとともに亞細亞大学テニス部での活動がどのように就職に生きてくるかをお伝えしたいと思います。

★学歴重視よりも人物重視の採用

学歴=大企業と思われる方も多いと思いますが、近年多くの企業が人物重視の採用を行っています。

これは本人が今までどのような学生生活を過ごしてきたが重要になるということです。

ではテニス部での活動がどう生きてくるのかをお伝えします。

POINT

- 国際テニス大会の運営(男女同開催)により実務力が向上
- クリニック(3時間受講生の方に監督、コーチ、学生でテニス指導)で接遇能力向上
- 国際テニス大会の運営費(クリニック、スポンサー)の呼びかけ、集金など交渉力向上
- 派遣コーチで実践的なコーチスキルアップ(亞細亞大学と提携しているテニスクラブにアシスタントコーチとしてレッスンに加わる)
- 週6日の部活動(日々の活動の中で多くの体験をする事が出来る)による生活力向上
- その他、社会人として必要な幅広い能力が身につく

亞細亞大学テニス部◎主な就職先一覧

大正製薬／パイオニア／松下電工／NEC／パナソニック／豊田自動織機／朝日生命保険／大沢商会／セコム／伊藤忠商事／ゼネラル石油／ヤナセ／ワールド／東芝／島津製作所／NTT東京／日本舗道NIPPO／北日本物産／NTT北海道／福岡銀行／日本生命／平和堂貿易／東急百貨店／松下通信工業／大東銀行／アイシン精機／山陽新聞／ディスコ／野村証券／ヨネックス／みずほ銀行／レオパレス21／常磐薬品／ANA／プリンスホテル／警視庁／神奈川県警察／JR北海道／トヨタ自動車／ブリヂストンスポーツ／アメースポーツジャパン／イカイ／KONAMI／JA山梨／明治安田生命保険／三井住友海上火災保険／アドヴァン／エームサービス／ウェスティンホテル／株式会社三越伊勢丹／ワインザーテニスショップ／九州電力／福島工業株式会社／株式会社リコー／東急住宅リース／留学(イギリス・ドイツ)／学校教員

三越伊勢丹OBインタビュー

「仕事や就活に役立った点」

亞細亞大学テニス部での活動で、私が現在の仕事に役立っている就職活動に役立ったと感じる点は、大きく分けて3点あります。

まず1点目は、恵まれた環境にあることです。

テニスコートやコーチの数が多いのは勿論ですが、それ以上に様々な業種の企業の方とお会いする機会、亞細亞大学国際オープンテニスでは海外の選手や日本のトップ選手と交流する機会やテニスクリニックにご参加頂いた方々と交流する機会があり、多くの繋がりを持つことが出来るので、自然と自分の将来の方向性も見つけやすくなります。

2点目は、ミーティングやプレゼンテーションの回数が多い点です。

亞細亞大学では、ミーティングやプレゼンテーションをする機会が多いのですが、自分は入学当初は大人数の前で話すことがどちらかと言うと苦手だったのでこれが通じ、大人数の前で発言することによって自然と声も大きくなり、面接や上司の前でもハキハキと返答出来るようになりました。

最後の3点目は、組織として動くことを覚える点です。

部員1人1人、様々な役職に分かれしており、その役職をまとめるリーダーも居ます。各々に仕事があるので、この仕事を終わらせる為にはいつまでも、この量をやっていこうかと、計画的に物事を考える癖がつくようになります。また、仕事が終わればリーダーに報告し、何か

問題があればそのリーダーの人と相談したり、リーダーはいつまでも仕事を終わらせるようにと連絡したりと、社会人としての基礎を学生のうちから学ぶことが出来るので、現在私は社会に出て働いていますが、とても役に立つと感じています。

大変なことも沢

山ありましたが、亞細亞大学での4年間を通じて、人間に大きく成長することが出来ましたし、何事にもチャレンジしようという気持ちも強くなりました。学生の時には、特に意識していなかった行動も社会に出たらこういうことだったのか!と、きっと気が付くようになります。私も、頑張っている後輩達に負けないように社会人として精進していきたいと思います。

土居 祐太

(平成28年度卒業 経済学部経済学科 硬式庭球部)



・成二十八年度

卒業式

私たち亞細亞大学が“国際大会”を開催する意味がある

2017年国際大会開催レポート

亞細亞大学 国際オープンテニス 2017

男子

予選○3月4日～6日、本戦○3月7日～12日/本学日の出校地テニスコート/
賞金総額1万5千ドル

女子

予選○3月18日～20日、本戦○3月21日～26日/本学日の出校地テニスコート/
賞金総額1万5千ドル

はじめに

本学主催の国際大会は今年で男子が11回目、女子は6回目を迎えました。今年の男子大会は高橋悠介選手(フリー)が、女子大会はセクリッチ・サラ・レベッカ選手(ドイツ)が優勝しました。今年もたくさんの方々のご協力を得て、無事に全日程を終了することができました。本当にありがとうございました。今年度はITFのルール改正により賞金総額が\$10000から\$15000に増額し昨年度よりも男女共にレベルが高く、また主催者側としてこの賞金総額増額により大会の存続危機に直面すると予測されましたが、日本テニス協会から増額分の援助を頂き開催することが出来ました。日本国内における国際大会の重要性がこの11年間の活動で示すことが出来た結果とも言えると思います。

また亞細亞大学はこのアジパンを通して、国内国際大会の重要性とこの亞細亞国際オープンの開催意義についていくつかのデータと共に考察し、述べたいと思います。

国際大会の現状

現在世界で開催されているフューチャーズ、サーティット大会はいくつ開催されているでしょうか。図1をご覧ください。ITFによると2016年はフューチャーズは608大会、サーティットが573大会開催されています。世界の国際大会は増加傾向にあり2010年はフューチャーズが501大会、サーティットが485大会とこの6年間で男女共に約100大会の増加を見せています。それ



に比べて日本の国内国際大会はどうでしょうか。2016年はフューチャーズが8大会、サーティットが16大会です。しかし日本国内の国際大会はこの6年間で減少しました。2010年にはフューチャーズが10大会、サーティットが22大会と男女共に減少しています。これは日本のテニス界において重要な問題と捉えています。

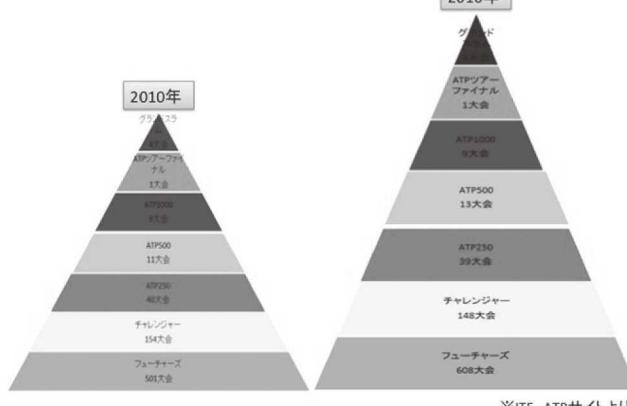
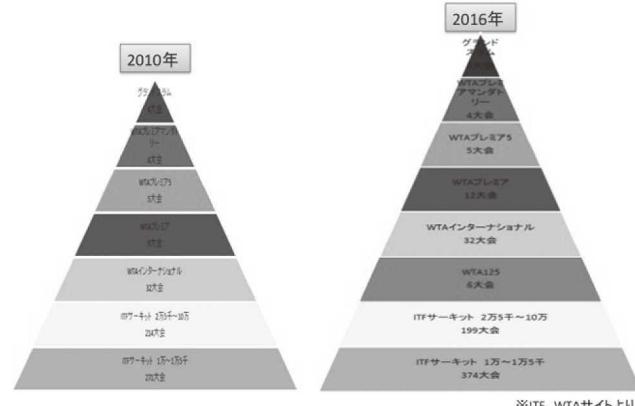


図1

男子国際大会数の推移

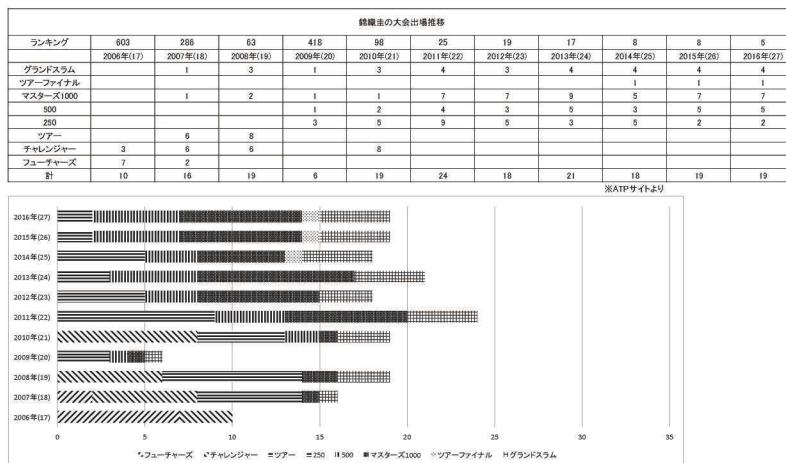


女子国際大会数の推移

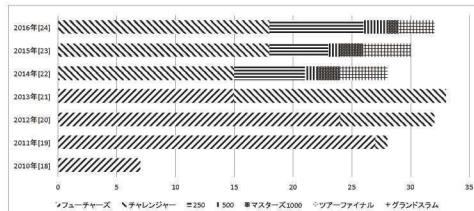
フューチャーズ・サーキット大会の需要

フューチャーズ・サーキット大会はピラミッドの最下層に位置し、グランドスラムに出場するための登竜門です。どんなトップ選手もフューチャーズ・サーキット大会を経てグランドスラムに出場しています。図2は今日本で活躍しているトッププロ男女4名の2016年までの大会出場推移をまとめたものです。現在日本のトップである錦織圭選手ですらプロ1年目はフューチャーズに出場していましたり、ダニエル太郎選手はプロ2年目で27大会ものフューチャーズに出場しています。女子選手を見てもサーキットへの出場が大半を占めていて2015年にグランドス

ラムに出場した加藤未唯選手はサーキットに19大会出場しそのポイントでグランドスラムの予選に出場しています。このようにどんなフューチャーズ・サーキット大会のポイントを土台に男子ならチャレンジャー、ツアーレベルに女子ならインターナショナル、プレミアそしてグランドスラムにステップアップしていきます。その土台であるフューチャーズ・サーキット大会の大会数が減少しているという日本の現状はテニス界の危機であるのは言うまでもありません。

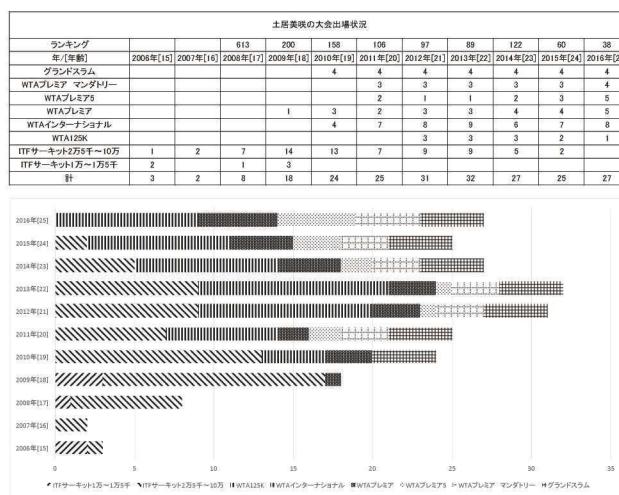


ランク	ダニエル太郎の大会出場状況									
	2010年(18)	2011年(19)	2012年(20)	2013年(21)	2014年(22)	2015年(23)	2016年(24)	4	4	3
グランドスラム										
ツアーファイナル										
マスターズ1000								2	2	1
500								1	1	2
250								6	5	8
ツリー										
チャレンジャー										
フューチャーズ	7	27	24	15	15	18	18			
計	7	28	32	33	28	30	32			



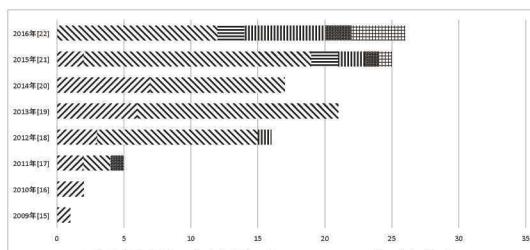
錦織圭プロの大会出場状況

ダニエル太郎プロの大会出場状況



土居美咲プロの大会出場状況

ランク	加藤未唯の大会出場状況										
	年/年齢	2009年(15)	2010年(16)	2011年(17)	2012年(18)	2013年(19)	2014年(20)	2015年(21)	2016年(22)	1	4
グランドスラム											
WTAプレミア マンダトリー											
WTAプレミア5											
WTAプレミア										1	2
WTAINターショナル										2	6
WTA125K										2	2
ITFサーキット2万5千~10万	I	2	2	3	3	6	7	10	17	12	
ITFサーキット1万5千~1万5千	2		I	3							
計	I	2	2	5	16	21	17	25	26		



加藤未唯プロの大会出場状況

図2

国内国際大会の開催意義

次は国際大会を国内で開催する意義についてプロのランキング推移を見て考察していきます。図3は主な外国人選手、日本人選手の現在までのランキングの推移を年齢ごとにまとめグラフにしたものです。この図が考察出来るのはトップ選手になるためにはプロに転向してから2~3年以内には世界ランキング300位以内にいる事が条件になっています。しかし日本の選手は総

じて300位以内に入るまで4~5年掛ってしまうため選手として身体共にベストな25歳の時に300位を抜け出せず、グラフがほぼいい推移してしまっています。また日本人選手は国際大会にチャレンジする年齢が外国人選手よりも高いのも特徴的です。この現象は日本国内の国際大会が少なくチャレンジする機会がそもそも少ないので原因と考察出来ます。

主なトップ選手のランキング推移(男子)																		
選手名	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	
ジヨコビッチ(30)																		
華井	676	167	63	16	3	3	3	3	1	2	1	1	2					
マリー(30)																		
華井	546	514	65	11	4	4	4	4	3	4	6	2	1					
ナダル(31)																		
華井	818	235	47	51	2	2	2	2	4	1	3	5	9					
ラニーニチ(26)																		
華井	1369	923	377	156	31	13	11	8	14	3								
錦織圭(27)																		
華井	605	281	63	420	98	25	19	17	5	8	5							
西岡良仁(21)																		
華井	887	769	573	153	117													
杉田祐一(28)																		
ダニエル太郎(23)																		
加藤亮輔(23)																		

主なトップ選手のランキング推移(女子)																		
選手名	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	
ケルバー(29)																		
華井	433	375	261	214	84	108	106	47	32	5	9	10	10	1				
ムグリサ(24)																		
華井	687	432	249	104	64	21	3	7										
ハバ(26)																		
華井	352	210	81	53	47	11	3	2	4									
アザレント(28)																		
華井	506	146	92	30	15	7	10	3	1	2	32	22	13					
日比野菜緒(23)																		
華井	578	291	207	78	86													
奈良みゆ(26)																		
華井	483	174	131	144	157	76	44	83	75									
尾崎里沙(24)																		
華井	972	333	188	220	145	92												
加藤未来(23)																		
華井	919	733	435	402	180	192												

図3

次に日本や世界のトップ選手が300位以内に入るまでに出場した大会を見て考察していきます。図4は国別にトップ選手が300位以内に入るまでに出場した大会を国別にまとめたものです。この図4からはどんなトップ選手でも必ずフェューチャーズ・サーキット大会と言った下位トーナメントを経てグランドスラムに出場している事がまずわかります。そしてその華々しい舞台に行くために最初に出場しているのは自国の国際大会であるのがわかります。しかし日本の男子のトップ選手はとても特徴的です。調査対象である西岡良仁選手は自国である日本のフェューチャーズではなく、アメリカ、スペイン等のフェューチャーズを土台にグランドスラムの舞台に立っています。アメリカは国内にフェューチャーズが35大会あり、スペインには34大

会ありプロなりたての選手がステップアップ出来る環境が整っています。それに比べて日本はどうでしょうか、日本にはフェューチャーズが8大会しかなくその環境から若手が国外で行ってしまい、国内産ではなく、外国産の日本のトップ選手が生まれてしまいます。このような現状を打破するには国際大会を増加させるほかありません。それとは反面女子は男子よりも国際大会が充実しているため日本の国際大会を足場にグランドスラムに挑戦出来ています。しかし女子もまだ世界的に見ればサーキット大会数が少なく、日本は14大会に対してアメリカは43大会、スペインは21大会と大きな差があります。若手選手の底上げのために国際大会を増やすことは必須と言えるでしょう。

図4

トップ選手が300位以内に入るまで。。。ナダル(スペイン)の場合		
	2001年(-)	2003年(238)
出場大会数	15	16
獲得ポイント	0	119
スペイン(チャレンジャー)	1	2
出場大会数	5	24
獲得ポイント	1	24
スペイン(マスター)	1	16
出場大会数	1	
獲得ポイント	1	
ルーマニア(\$10000)	0	
獲得ポイント	0	
出場大会数	1	
獲得ポイント	1	
トルコ(\$10000)	2	11
獲得ポイント	2	11
クロアチア(\$10000)	2	
獲得ポイント	2	
スペイン(\$15000)	1	
獲得ポイント	1	
ハンガリー(\$25000)	1	
獲得ポイント	1	
スルベニア(\$25000)	19	
獲得ポイント	19	
ベルギー(\$25000)	1	4
獲得ポイント	6	116
ボーランド(\$25000)	1	1
獲得ポイント	1	5
ルーマニア(\$25000)	1	1
獲得ポイント	1	5
スペイン(\$50000)	1	1
獲得ポイント	1	1
ポルトガル(\$10000)	19	
獲得ポイント	19	
イギリス(\$25000)	9	
獲得ポイント	9	
モンテネグロ(\$25000)	1	9
獲得ポイント	1	9
イタリア(\$50000)	1	48
獲得ポイント	1	48
イタリア(\$25000)	1	1
獲得ポイント	1	1

※年号の後の(X)はその年の最終ランキングである

トップ選手が300位以内に入るまで。。。ムグリサ(スペイン)の場合				
	2005年(-)	2009年(687)	2010年(432)	2011年(249)
出場大会数	15	16	17	18
獲得ポイント	1	24	19	16
スペイン(チャレンジャー)	2	2		
出場大会数	0	0		
獲得ポイント	1			
トルコ(\$10000)	2	11		
獲得ポイント	2	11		
クロアチア(\$10000)	2	1		
獲得ポイント	2	1		
スペイン(\$15000)	1			
獲得ポイント	1			
ルーマニア(\$25000)	1	1		
獲得ポイント	1	1		
スペイン(\$50000)	1	1		
獲得ポイント	1	1		
ポルトガル(\$10000)	19			
獲得ポイント	19			
イギリス(\$25000)	9			
獲得ポイント	9			
モンテネグロ(\$25000)	1	9		
獲得ポイント	1	9		
イタリア(\$50000)	1	48		
獲得ポイント	1	48		
イタリア(\$25000)	1	1		
獲得ポイント	1	1		

※年号の後の(X)はその年の最終ランキングである

トップ選手が300位以内に入るまで。。。日比野(日本)の場合		
	2012年	2013年
出場大会数	16	18
獲得ポイント	6	4
日本(チャレンジャー)	7	17
出場大会数	2	2
獲得ポイント	0	30
アメリカ(チャレンジャー)	1	5
出場大会数	0	28
獲得ポイント	0	28
メキシコ(チャレンジャー)	2	34
出場大会数	12	
獲得ポイント	1	
アメリカ(マスター)	0	
出場大会数	0	
獲得ポイント	0	
チリ(チャレンジャー)	36	
出場大会数	2	
獲得ポイント	23	
メキシコ(チャレンジャー)	1	
出場大会数	2	
獲得ポイント	6	
イタリア(チャレンジャー)	3	35
出場大会数	1	
獲得ポイント	1	
スロバキア(チャレンジャー)	0	
出場大会数	1	
獲得ポイント	0	
日本(ユース)	27	
出場大会数	1	
獲得ポイント	0	
タイペイ(チャレンジャー)	1	
出場大会数	0	
獲得ポイント	0	
アメリカ(ユース)	0	
出場大会数	1	
獲得ポイント	1	
中国(チャレンジャー)	35	
出場大会数	1	
獲得ポイント	1	
トルコ(チャレンジャー)	0	
出場大会数	1	
獲得ポイント	8	
オーストリア(ATP250)	0	
出場大会数	1	
獲得ポイント	0	
スイス(チャレンジャー)	1	
出場大会数	0	
獲得ポイント	0	

※年号の後の(X)はその年の最終ランキングである

春の大学シリーズ男女100人以上の学生に「機会」を

私達は亞細亞国際オーブンテニスの開催意義には「プロに負けない学生テニスの育成」があります。それは11年前にこの亞細亞大学と早稲田大学を起点とし慶應義塾大学、山梨学院大学、筑波大学、柏TTCを巻き込み今では「春の大学シリーズ」として多くの学生に「機会」を与えてきました。では現段階でどれだけの学生がこの大学シリーズに出場しているのでしょうか。図5をご覧下さい。これは男子が慶應チャレン

ジャーを始めとし、柏フューチャーズまで、女子が慶應\$25000から柏\$25000までに出場した関東の学生を表したもののです。男子が総勢52名、女子が総勢47名、合計99名の学生が本戦、または予選に出場しました。その他にも各大会にプレ予選もあり100人以上の学生に挑戦の機会を与えています。このようにこの大学シリーズは学生テニスの強化へ大きく貢献しています。

5

学生を日本の頂点に

私達はこの国際大会を経て日本の頂点である「全日本テニス選手権」で学生が活躍し、「プロに負けない学生テニス」を実現されることを願っています。しかし全日本への出場と国際大会開催がどのような関係があるでしょうか。全日本選手権へ出場するには2つの方法があります。1つ目がJOPランキング上位に入り、本戦か予選に入ること、2つ目が各地域の予選会や全日本高校総体、全日本ジュニア、全日本学生テニス選手権で優勝しWCを手に入れて出場するというものです。国際大会開催は1つの方法に関連してきます。2016年度全日本テニス選手権では男子の本戦カットインが32位、予選カットインが115位で女子が本戦カットインが33位で予選カットインが139位でした。それではこの順位に入る為に出場しなければならない国内のJOP大会はどれくらいでしょうか。図6は予選に出場したとあるプロ選手の全日本選手権までの大会の出場状況です。まず注目してもらいたいのがエントリー代です。JOP大会の大まかな大会経費は選手からのエントリー代によって構成されています。そのため予選から本戦まで進んだ場合図6の大会出場数だと約161500円掛ります。その変わり賞金も高く設定されているがエントリー代を差し引いて増額に出来るのは一握りの人です。それに対して国際大会はエントリー代が\$40(¥5,000)と決まっています。この時点では学生という身分から考えればかなりお得とも言えると思います。また大会期間という点において見てみましょう。学生の大会出場において大学の授業との折り合いというものがあります。この図6の大会期間の場合、11月、12月、4月、5月、7月と授業を欠席しなければならなくなります。これは学生の本文の「勉学」に大きな影響を与えてしまいます。対して国際大会は予選が土日に行われます。また春の大学シリーズは学生が長期休暇の3月に行われます。そのため学生に取っては憂いなく試合に挑むことが出来ます。そしてこの国際大会で得る事が出来る世界ポイントは1ポイントあたり国内ボ

ある選手の全日本選手権までの大会出場状況		
月	賞金総額	本戦エントリー代
11月	50万	7800円
	100万	12100円
12月	100万	13100円
1月	300万	15100円
2月	100万	12100円
3月	100万	13100円
4月	100万	12100円
	20万	13600円
	100万	12100円
5月	100万	12700円
	100万	11100円
	50万	12100円
7月	300万	15500円
	100万	12100円
8月	100万	12100円

図6

イント300ポイントに換算されます。しかしだからと言って国際大会には誰でも出れるわけではありません。図7をご覧ください。これが今年の大学シリーズの予選カットオフの順位です。男子はフェーチャーズに出場するにはJOPランキング250位までに入る必要がありますが、

大会によってはノーランキングでも出場することが出来ます。その反面女子は予選のカットインの順位が高く全日本選手権よりも高くなっています。この現状を受け私達は\$15000のサークットを増やし、多くの学生に機会を与えるための環境の配備を強く訴えていきたいと思います。

2017年予選カット(男子)						
慶應チャレンジャー(32ドロー)		F1亜細亜(64ドロー)		F2早稲田(48ドロー)		F3甲府(64ドロー)
GAO,Zhaoyi	1125(ATP)	甲斐直登	399	清水一輝	214	堀内竜輔
\$ 25000慶應(32ドロー)						
高山千尋	1234(WTA)	西田奈生	115	金井綾香	91	西郷幸奈
					43	

2017年予選カット(女子)					
\$ 25000慶應(32ドロー)		\$ 15000亜細亜(64ドロー)		\$ 25000甲府(64ドロー)	\$ 25000柏(32ドロー)
高山千尋	1234(WTA)	西田奈生	115	金井綾香	91
				西郷幸奈	43

図7



世界ポイントを取得して

学生にプロに挑戦するまたは世界に挑戦し、羽ばたく機会を与えるために私達はこの国際大会を開催し続けています。昨年、現2年生の加藤彰馬を始めとし、現4年生女子主将田中彩、現1年生松田美咲が国際ポイントを手に世界に挑戦しました。ここでは加藤彰馬に焦点を当てて昨年の彼の挑戦記録を追っていきたいと思います。図8をご覧ください。彼は亞細亞国際オープンテニスで手にした世界ポイント1ポイントを手に2月にインドネシアのフューチャーズを2週間周り世界へとチャレンジすることが出来ました。またJOPでも高順位に入り国内の上位トーナメントへの出場へのきっかけを作りました。また彼はその後日本のテニスの頂点の全日本選手権の予選にも出場することができました。この他にも先ほど紹介した女子2名が中国に海外遠征に向かいました。他大学にも早稲田大学、山梨学院大学、筑波大学も海外遠征をし、世界にチャレンジしています。亞細亞大学と早稲田大学から始まったこの国際大会の輪をもっと広げて学生が日本、世界で活躍できる環境、育成にこれからも尽力していきます。

大会名	賞金総額	期間	結果
2016 山梨北斗オープン	100万	3/13~	ベスト32
第90回関東オープンテニス選手権大会	150万	5/6~	ベスト32
昭和の森フューチャーズ	\$10,000	6/11~	ベスト64
第69回北信越テニス選手権大会	100万	6/20~	ベスト32
ブリヂストンオープン2016第95回毎日テニス選手権	300万	8/3~	ベスト32
第91回 三菱全日本テニス選手権大会	1403万	10/20~	ベスト256
日の出オープンテニストーナメント男子2016	50万	11/7~	ベスト16
グリーンカップ埼玉オープン第54回秋季クラシック	100万	11/14~	ベスト16
インドネシアフューチャーズ2週目	\$15,000	2/8~	予選SF
インドネシアフューチャーズ3週目	\$15,000		予選F

図8



まとめ

今回はこのような形で国内国際大会の意義と私達が掲げる亞細亞国際オープンテニスの開催意義を資料を用いて述べてきました。文中でも何度もお伝えしたように国内の国際大会の増加こそが今の日本テニス界、学生テニス界を向上には必要不可欠です。さらに日本テニス協会が今年から国内国際大会に対して援助をして頂いたこともあり、昨年よりも国内国際大会への関心が強くなっています。これは昨年の開催からの大きな前進であり、私達はこの歩を止めないためにこれからも尽力していきます。果ては2020年の東京オリンピックで活躍できる選手をこの大会からそして学生から生み出すためにも来年以降もこの大

会を開催し続けます。そしてこの国際大会を通じてテニスの競技力向上だけではなく運営を通じて大きく成長することが出来ました。堀内昌一監督はこの亞細亞国際オープンテニスを開催するにあたり、あるお言葉を残しています。「簡単に大会に出るな。大会を作る苦労を知った上で、大会に出ろ。」私達はこの言葉を胸にそして私達の経験を胸にすべての大会に感謝し、全員が日本の頂点を目指し、そして世界に挑戦し続けます。また最後になりますが、亞細亞大学国際オープンテニス2017にご協賛頂きましたスポンサー各社、大会関係者の皆様、ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

歴代優勝者一覧

男子

■第1回大会(2007年)

○シングルス

優勝 イム・キューテ(中国) (6-4.6-7(6).6-2)
 準優勝 茶園鉄也(ミキブルーン)
 ベスト4 ザン・シャオユアン(中国)
 ベノー・ボッテロ(フランス)

○ダブルス

優勝 ユ・シンユアン/ザン・シャオユアン(中国) (6-2.7-6(3))
 準優勝 佐藤博康/リー・ミン(フリー/中国)
 ベスト4 ウォン・ハング・ティー/ナン・ヒュン・ウー(韓国)
 イム・キューテ/ウォン・ホーティー(韓国)

■第2回大会(2008年)

○シングルス

優勝 伊藤竜馬(ミキブルーン) (6-2.6-4)
 準優勝 チェン・ティー(台湾)
 ベスト4 岩見亮(北日本物産)
 近藤大生(アイシン精機)

○ダブルス

優勝 近藤大生/佐藤博康(アイシン精機/フリー)
 (3-6.7-6(3).[10-2])
 準優勝 ゴング・マオシン/リー・ジエン(中国)
 ベスト4 ベン・シエン・イン/ヤング・チョン・ファ(台湾)
 比嘉明人/篠川智大(テニスユニバース/亞細亞大学)

■第3回大会(2009年)

○シングルス

優勝 イ・チュハン(台湾) (6-2.6-7(1).7-5)
 準優勝 杉田祐一(三菱電機)
 ベスト4 アン・ジェソン(韓国)
 フォーリエ・アレクサン德拉(ベルギー)

○ダブルス

優勝 佐藤博康/イ・チュハン(フリー/台湾) (6-2.6-3)
 準優勝 比嘉明人/篠川智大(テニスユニバース/亞細亞大学)
 ベスト4 ゴー・スティーブンス/レーク・ジェームス(オーストラリア)
 茶園鉄也/近藤大生(ミキブルーン/アイシン精機)

■第4回大会(2010年)

○シングルス

優勝 井藤祐一(空旅ドットコム) (7-5.1-6.6-4)
 準優勝 守屋宏紀(北日本物産)
 ベスト4 関口周一(ファーイーストジュニアTA中央林間)
 スカット・マークレン(アメリカ)

 ○ダブルス
 優勝 佐藤文平/イ・チュハン(橋本総業/台湾) (6-2.6-3)
 準優勝 岩見亮/近藤大生(北日本物産/アイシン精機)
 ベスト4 井藤祐一/佐藤博康(空旅ドットコム/フリー)

スター・ハム・マイケル/スカット・マーレク(台湾/アメリカ)

■第5回大会(2011年)東日本大震災のため中止

■第6回大会(2012年)

○シングルス

優勝 内山靖崇(北日本物産) (6-2.7-6(5)) 準優勝
 近藤大生(アイシン精機)
 ベスト4 田川翔太(早稲田大学)
 ベノー・リヤン・チー(台湾)

○ダブルス

優勝 近藤大生/イ・チュハン(アイシン精機/台湾)
 (7-6(4).7-5)
 準優勝 ガオ・ベン/ガオ・ワン(中国)
 ベスト4 井藤祐一/ワラマノウォング・キチポン
 (ライフ・エヌ・ピー・タイ)
 ベノー・リヤン・チー/オウヤン・ボウェン(台湾/中国)

■第7回大会(2013年)

○シングルス

優勝 近藤大生(アイシン精機) (7-5.6-1)
 準優勝 ベノー・リヤン・チー(台湾)
 ベスト4 松井俊英(ライフ・エヌ・ピー)
 内山靖崇(北日本物産)

○ダブルス

優勝 関口周一/エイドリアン・シコラ(三菱電機/スロバキア)
 (6-3.6-4)
 準優勝 吉備雄也/奥大賢(イカイ)
 ベスト4 近藤大生/小澤新(アイシン精機/北日本物産)
 リー・シン・ハン/ウォン・チー・ハン(台湾)

■第8回大会(2014年)

○シングルス

優勝 ディ・ウ(中国) (6-2.6-4)
 準優勝 仁木拓人(柴沼醤油販売)
 ベスト4 近藤大生(アイシン精機)
 竹内研人(北日本物産)

○ダブルス

優勝 松井俊英/小澤新(ライフ・エヌ・ピー/北日本物産)
 (6-4.7-5)
 準優勝 今井慎太郎/鈴木貴男(早稲田大学/イカイ)
 ベスト4 ワン・チー・フ/ディ・ウ(台湾)
 井藤祐一/近藤大生(ライフ・エヌ・ピー/アイシン精機)

■第9回大会(2015年)

○シングルス

優勝 仁木拓人(三菱電機) (6-3Ret)
 準優勝 吉備雄也(ノア・インドアステージ)
 ベスト4 井藤祐一(ライフ・エヌ・ピー)
 イー・ダック・ヒー(韓国)

○ダブルス

優勝 吉備雄也/仁木拓人(ノア・インドアステージ/三菱電機)
 (6-3.3-6.[11-9])
 準優勝 井藤祐一/小澤新(ライフ・エヌ・ピー/イカイ)

男子	優勝	スコア	準優勝	ベスト4
第1回	シングルス イム・キューテ(中国)	6-4.6-7(6).6-2	茶園鉄也(ミキブルーン) 佐藤/リー(フリー/中国)	ベノー・ボッテロ(フランス) イム・ウォン(韓国)
	ダブルス ユ・ザン(中国)	6-2.7-6(3)		
第2回	シングルス 伊藤竜馬(ミキブルーン)	6-2.6-4	チエン・ティー(台湾)	岩見亮(北日本物産)
	ダブルス 近藤/佐藤(アイシン精機/フリー)	3-6.7-6(3).10-2	ゴング/リー(中国)	ベン・ヤング(台湾)
第3回	シングルス イ・チュハン(台湾)	6-2.6-7(1).7-5	杉田祐一(三菱電機)	アン・ジェソン(韓国)
	ダブルス 佐藤/イフリ(台湾)	6-2.8-3	比嘉/篠川(テニスユニバース/亞細亞大学)	フォーリエ・アレクサン德拉(ベルギー)
第4回	シングルス 井藤祐一(空旅ドットコム)	7-5.1-6.6-4	守屋宏紀(北日本物産)	菜園/近藤(ミキブルーン/アイシン精機)
	ダブルス 佐藤/イ(橋本総業/台湾)	6-2.6-3	関口周一(ファーイーストジュニアTA中央林間)	スカット・マークレン(アメリカ)
第5回			井藤/佐藤(空旅ドットコム/フリー)	スター・ハム/スカット(台湾/アメリカ)
第6回	シングルス 内山靖崇(北日本物産)	6-2.7-6(5)	東日本大震災のため中止	
	ダブルス 近藤/イ(アイシン精機/台湾)	7-6(4).7-5	近藤大生(アイシン精機)	ハン・リヤン・チー(台湾)
第7回	シングルス 近藤大生(アイシン精機)	7-5.6-1	田川翔太(早稲田大学)	井藤/ワラマノウォング(ライフ・エヌ・ピー/タイ)
	ダブルス 関口/エイドリアン(三菱電機/スロバキア)	6-3.6-4	ガオ/ガオ(中国)	ハン・オウヤン(台湾/中国)
第8回	シングルス ディ・ウ(中国)	6-2.6-4	松井俊英(早稲田大学/イカイ)	内山靖崇(北日本物産)
	ダブルス 松井/小澤(ライフ・エヌ・ピー/北日本物産)	6-4.7-5	吉備雄也(ノア・インドアステージ)	リー・ウォン(台湾)
第9回	シングルス 仁木拓人(三菱電機)	6-3Ret	近藤/小澤(アイシン精機/北日本物産)	竹内研人(北日本物産)
	ダブルス 吉備/仁木(ノア・インドアステージ/三菱電機)	6-3.3-6.11-9	井藤祐一(柴沼醤油販売)	ハン・ディ(台湾)
第10回	シングルス ハン・リヤン・チー(台湾)	7-5.7-5	今井/鈴木(早稲田大学/イカイ)	井藤/近藤(ライフ・エヌ・ピー/アイシン精機)
	ダブルス 吉備/松井(ライフ・エヌ・ピー/北日本物産)	6-3.6-1	吉備雄也(ノア・インドアステージ)	イー・ダック・ヒー(韓国)
第11回	シングルス 高橋悠介(フリー)	7-5.6-3	江原/志賀(日清紡ホールディングス/フリー)	ホー/イ(台湾)
	ダブルス 長尾/奥(エキスパートシップFUND)	6-0.7-6(2)	菊池玄吾(Team REC)	岡村一成(クロスカンパニー)
			井藤/小澤(ライフ・エヌ・ピー/カイ)	近藤/仁木(エキスパートパートナーシップオカ/三菱電機)
			高橋/志賀(日清紡ホールディングス)	江原弘泰(日清紡ホールディングス)
			仁木拓人(三菱電機)	高橋/徳田(フリー)
			トロンチャロンエンチャイクル・ウイシャヤ(タイ)	リントロンチャロンエンチャイクル(台湾/タイ)
			仁木/上杉(三菱電機/慶應義塾大学)	リントロンチャロンエンチャイクル(台湾/タイ)

ベスト4 江原弘泰/志賀正人(日清紡ホールディングス/フリー)
ホー・チー・ジェン/イ・チュハン(台湾)

■第10回大会(2016年)

○シングルス

優勝 ハン・リヤン・チー(台湾) (7-5.7-5)

準優勝 菊池玄吾(Team REC)

ベスト4 関口周一(Team REC)

岡村一成(クロスカンパニー)

○ダブルス

優勝 吉備/松井(ノア・インドアステージ/
ASIA PARTNERSHIP FUND)(6-3.6-1)

準優勝 ハン/マクラクラン(台湾/ニュージーランド)

ベスト4 関口/シン(Team REC/インド)

近藤/仁木(エキスパートパワーシズオカ/三菱電機)

■第11回大会(2017年)

○シングルス

優勝 高橋悠介(フリー) (7-5.6-3)

準優勝 仁木拓人(三菱電機)

ベスト4 トロンチャロンエンチャイクル・ウィシャヤ(タイ)

江原弘泰(日清紡ホールディングス)

○ダブルス

優勝 長尾/奥(エキスパートシズオカ) (6-0.7-6(2))

準優勝 仁木/上杉(三菱電機/慶應義塾大学)

ベスト4 高橋/徳田(フリー)

リンク/トロンチャロンエンチャイクル(台湾/タイ)

女子

■第1回大会(2012年)

○シングルス

優勝 米村明子(島津製作所) (1-1 Ret)

準優勝 飯島久美子(北日本物産)

ベスト4 山外涼月(志津テニスクラブ)

ボーヤン・ウォン(中国)

○ダブルス

優勝 穂積絵莉/手塚玲美(フリー/ミキハウス)
(6-4.6-7(1).[10-7])

準優勝 伊藤和沙/森友香(島津製作所)

ベスト4 北崎悦子/菅野知子(フリー/島津製作所)

荒木史織/長谷川梨紗(亞細亞大学)

■第2回大会(2013年)

○シングルス

優勝 ユ・ミ(韓国) (1-6.6-1.6-2)

準優勝 イ・ジン・ア(韓国)

ベスト4 岡田上千晶(エームサービス)

日比野菜緒(木曾川ローンテニスクラブ)

○ダブルス

優勝 ハン・ナレ/カン・ソ・ギョン(韓国) (6-4.6-7(4).[10-6])

準優 穂積絵莉/二宮真琴(フリー/西宮甲英高等学校)

ベスト4 荒木史織/中野佑美(たちかわジュニアテニスアカデミ)
イ・ジン・ア/ユ・ミ(韓国)

■第3回大会(2014年)

○シングルス

優勝 井上雅(テニスラウンジ) (1-6.7-5.6-1)

準優勝 ヌニダ・ルアンサム(タイ)

ベスト4 田中優季(メディカルラボ)

澤柳璃子(ミキハウス)

○ダブルス

優勝 波形純理/米村明子(北日本物産/島津製作所)
(6-2.6-4)

準優勝 チェ・ジヒ/井上明里(韓国/イラコテニスカレッジ)

ベスト4 二宮真琴/澤柳璃子(橋本総業/ミキハウス)

井上雅/美濃越舞(テニスラウンジ/YCA)

■第4回大会(2015年)

○シングルス

優勝 スー・チー・ウェン(台湾) (6-3.3-6.6-4)

準優勝 岡村恭香(橋本総業)

ベスト4 井上明里(レスポートサックジャパン)

久次米夏海(山梨学院大学)

○ダブルス

優勝 岡村恭香/米村明子(橋本総業/島津製作所)
(2-6.6-2[10-5])

準優勝 久見香奈恵/高畠寿弥(フリー/橋本総業)

ベスト4 布目千尋/山本みどり(北日本物産/フリー)

宮村美紀/吉富愛子(フリー/早稲田大学)

■第5回大会(2016年)

○シングルス

優勝 フレッチ・マグダレナ(ポーランド) (7-5.6-4)

準優勝 美濃越舞(YCA)

ベスト4 林恵里奈(早稲田大学)

スー・チー・ウェン(台湾)

○ダブルス

優勝 梶谷/宮原(早稲田大学/TEAM 自由が丘)
(4-6.6-2.10-6)

準優勝 小堀/村松(U.T.PあたごTC/TTC)

ベスト4 スー・リー(台湾)

中沢/楚南(亞細亞大学)

■第6回大会(2017年)

○シングルス

優勝 セクリッヂ・サラ・レベッカ(ドイツ) (6-4.7-5)

準優勝 秋田史帆(北島水産)

ベスト4 小堀桃子(橋本総業)

岡村恭香(ストライプインターナショナル)

○ダブルス

優勝 小堀/高畠(橋本総業) (6-1.6-2)

準優勝 秋田/瀬間(北島水産/橋本総業)

ベスト4 リー/レートピタクシンチャイ(台湾/タイ)

井上/奥野(レスポートサックジャパン/Club MASA)

女子		優勝	スコア	準優勝	ベスト4
第1回	シングルス	米村明子(島津製作所)	1-1 Ret	飯島久美子(北日本物産)	ボーヤン・ウォン(中国)
	ダブルス	穂積/手塚(フリー/ミキハウス)	6-4.6-7(1).10-7	伊藤/森(島津製作所)	荒木/長谷川(亞細亞大学)
第2回	シングルス	ユ・ミ(韓国)	1-6.6-1.6-2	イ・ジン・ア(韓国)	小堀/上千晶(エームサービス)
	ダブルス	ハン/カン(韓国)	6-4.6-7(4).10-6	穂積/二宮(フリー/西宮甲英高等学校)	荒木/中野(たちかわジュニアテニスアカデミ)
第3回	シングルス	井上雅(テニスラウンジ)	1-6.7-5.6-1	ヌニダ・ルアンサム(タイ)	イ・ユ(韓国)
	ダブルス	波形/米村(北日本物産/島津製作所)	6-2.6-4	チエ/井上(韓国/イラコテニスカレッジ)	澤柳璃子(ミキハウス)
第4回	シングルス	スー・チー・ウェン(台湾)	6-3.3-6.6-4	岡村恭香(橋本総業)	二宮/澤柳(橋本総業/ミキハウス)
	ダブルス	岡村/米村(橋本総業/島津製作所)	2-6.6-2.10-5	久見/高畠(リリー/橋本総業)	井上/美濃越(テニスラウンジ/YCA)
第5回	シングルス	フレッチ・マグダレナ(ポーランド)	7-5.6-4	美濃越舞(YCA)	井上/瀬間(北島水産/橋本総業)
	ダブルス	梶谷/宮原(早稲田大学/TEAM 自由が丘)	4-6.6-2.10-6	小堀/村松(U.T.PあたごTC/TTC)	久次米夏海(山梨学院大学)
第6回	シングルス	セクリッヂ・サラ・レベッカ(ドイツ)	6-4.7-5	秋田史帆(北島水産)	宮村/吉富(フリー/早稲田大学)
	ダブルス	小堀/高畠(橋本総業)	6-1.6-2	岡村恭香(橋本総業)	スー・チー・ウェン(台湾)



法学部レポート

代表 高橋玲奈(3年)

協賛金とNPO法人

現在、亞細亞大学では男子フューチャーズ、女子15,000ドルの2週間のプロの試合を学生が主となり運営を行っている。運営をするにあたって大会運営に必要な費用、大会の賞金、審判やトレーナーに支払う費用などかなりのお金を用意しなくてはならない。又、今年から男女大会とも10,000ドルから15,000ドルに上がった。その為、去年までの運営費は800万円程だったが、今年から1000万円程かかる事となったのだ。この亞細亞国際大会は、メインスポンサーを付けずに、学生の自分達で少しづつ資金集めを行っている。お金を探して行く方法として、例えば学校からの資金、チャリティークリニックの資金、ジュニアジップの運営費、会社や個人スポンサーからの支援金でこの大会が成り立ってる。協賛とは、イベントや事業に賛同した時、そのイベントなどの為に、団体個人問わず拠出されるお金の事である。

亞細亞大学の協賛金を集める取り組みの1つは堀内監督を始め亞細亞大学テニス部OBの方々が携わってる「特定非営利活動法人アジアスポーツクラブのテニススクールアジアテニスアカデミー」が存在する。その中で今回話したいのは、協賛金には2つの種類があるという事だ。

まず企業がNPO法人(亞細亞大学)に協賛金などを出す場合に大きく分けると広告宣伝費として支出するパターンと寄付金として支出するパターンがある。広告費として支出するか、寄付金として支出するかは企業にとって大きな違

いがある。広告費と支出すれば支出した金額全額が損金(法人税上の経費)になる。一方寄付金として支出すれば一部しか損金にならない、あるいは全額が損金にならない可能性がある。何故このような取り扱いがあるのかと言うと、広告宣伝費は売り上げを上げる為に、支出する事が明らかである為、全額を経費として認められる。しかし、寄付金は事業遂行との関連性がはっきりとしない為、割り切りで、一定の算式で計算した金額を限度として損金に算入する事を認め、それ以外は損金にする事を認めていない。自分達は協賛して頂いた企業に対して、その企業の宣伝となる為、大学のパンフレットに企業名や企業のマークを載せたり広告のページを載せたりバナーを試合コートに貼っているので、この場合は宣伝目的も含んで協賛して頂いているので広告宣伝費に分けられる。

又、個人で協賛して頂いた方々に対しては、広告や宣伝となる事は出来ない為、お礼のハガキや結果報告をする様にしているので寄付金という枠に分けられる。どちら種類の協賛金でも、この亞細亞国際大会を支えて下さっている大切な繋がりである。この大会を運営する事が出来るのは色々な方々の支援や想いにより作り上げられている。スポンサーになって下さってる企業や個人の方々に感謝の気持ちを忘れずに亞細亞国際オープンテニスをより良いものにして行くべきである。

経済学部レポート

代表 小林暖周(3年)

「大会問題」と「経済学」

「このままじゃあ終われない！」今大会を終えての率直な感想である。男子大会11回、女子大会6回を終えたにも拘らず、開催地である日の出町の方々や亞細亞大学の職員・学生への知名度が非常に低い。我々が開催しているフューチャーズ大会は、世界へ羽ばたく為の登竜門であり、日本テニス界の発展にも繋がる重要な大会である。テニスブームと呼ばれている現在、多くの方々がテニスを始め、テニス観戦をしている。しかし、亞細亞国際オープンテニスの来場者数は少ない。我々はこの問題に立ち向かわなければならぬ。

私が学んでいる『公共経済学』には、問題を開拓するヒントがあるように感じる。『公共経済学』とは、人の心が経済行動にどのように影響を与えるか分析する学問である。言わば、時に合理的でない行動に目を向ける学問である。

『公共経済学』で、人が、他人と群れを成そうとする心理をハーティング現象という。例えば、飲食店で行列ができる店とそうでない店があったとする。待ち時間を考え

ると、すぐに入店できる方が選ばれてもおかしくないが、人は「行列が出来ているから美味しいに違いない」という心理が働き行列に並ぶ。このハーティング現象こそが来場客数を増やすことが出来ると言える。つまり、多くの人で賑わっているように見せるのである。人がいる雰囲気は相対的なもので決まる。必ずしも満員状態でなくとも、そう見せることにより、来場してもらえる可能性が高まると言える。また、来場して頂いた方々に「また来たい」と思って頂けるようにする必要がある。人は、絶頂期と絶頂期がどう終わったかで判断する傾向がある。これをピークエンド効果という。つまり、来場して頂いた方々に最高の時間を過ごして頂き、来場者の方々がお帰りになる際の対応によるところが大きいということである。

来場者数が増えれば国内のフューチャーズ大会数も増え、将来有望な選手が世界へ羽ばたくチャンスが増える。だからこそ、来年こそは来場者数を増やし日本テニス界を盛り上げていく必要がある。

国際関係学部レポート

代表 芦澤 翔(3年)

大会を通じて国際交流を

フューチャーズとは、国際共通ポイントであるATPポイントを獲得できる1番グレードの低い大会であるが、現在世界ランキング5位のナダルのキャリアの始まりもこの大会であり、この大会から世界へと羽ばたくことができる。つまりグランドスラムに出場するための登竜門となる。また、現在世界で行われている全ての大会の基盤ともいえる。

現在フューチャーズは、世界各国で600大会ほど開催されている。その中で日本では、8つのフューチャーズ大会が開催されおり、今回のF1亞細亞フューチャーズに出場している選手の世界ランキングは300位～700位で昨年よりもレベルの高い大会となった。その中で外国人選手はアメリカ、ドイツ、タイ、ベトナム、台湾、韓国、中国からの出場があり、総勢11名の選手が出場した。

その中で、国際関係学部の学生として大会に携わり感じたことは「大会を通じて普段はなかなか触れることのできない異文化に触れると同時に、国際交流を積極的に行う必要がある」ということだ。私がこのように感じた理由は二つである。一つは、普段、国際関係学部の学生として第二言語をはじめ、

他国の文化や世界の動きについて学んでいるものの、普段の生活で英語を話したり他の文化を体感する機会は少ない。そんな私たちにとって国際大会を開催することで、外国人選手と英語でコミュニケーションを取り授業で学んでいることを実践することができる。また、大会期間中の各部署で外国人選手の対応をする場面があり、その中で他の文化や日本人とは違う考え方を体感できるのだ。これらの経験は国際関係学部の学生として勉強していく上でも、将来就職活動をする上でも大きなアドバンテージになると思う。もう一つの理由は、私たちが積極的に外国人選手とコミュニケーションを取ることで、外国人選手が「F1亞細亞フューチャーズ」という大会自体を好きになり、「またチャンスがあったら出よう」という考えになるはずだ。その結果、年々外国人選手の数が増え、大会のレベルも上がるのではないかと思う。それだけではなく、日の出町の活性化にもつながり大会自体もより良いものになると思う。以上の理由から、来年以降は今まで以上に外国人選手との国際交流を大切にし、大会のレベルアップ、地域の活性化、さらには学びの場へとつなげていきたい。

経営学部レポート

代表 相馬海斗(3年)

フューチャーズの運営とは

私たちが普段何気なく買っている物、その物を作っている会社、その物を作るために会社を運営します。運営には資金が必要です。それと同じく、フューチャーズ、サーキットを開催するにあたっても資金が必要になります。今年1万5000ドルに格上げし、去年より多くの資金が必要になりました。そのためには多くのイベントを行ってきました。

まず、年に20回以上のチャリティークリニックを行っています。これには堀内監督、森コーチが講師として一般の方々へ指導を行います。毎回のクリニック毎に講座が変わるところや学生がアシスタントとして入り一緒にテニスを学んでいくところも学生ならではです。次にJr.jopという月に数回行われる大会があります。これには多くのジュニアが参加しテニスの競技力向上に努めています。またその親御さんもテニスに熱をもっている方、そうでない方と色々いらっしゃいますがこの大会を通じてテニスにより関心をもっていただこうと行っています。運営は学生が中心となり受付から表彰式まで行います。

また、3月にはフューチャーズの予選WCを決める大会も行われます。この大会はJr、学生、一般と3部門に分かれ毎年多くの参加者がWC決めに熱を燃やしてきます。このようなイベントに参加して頂いたお金が大会運営の資金となっています。

そのほか多くのスポンサーに協賛して頂き、このような大会を運営しています。会社には様々な部署があり部署毎に役

割が与えられています。例えば食品会社では、まず商品を研究、評価する人、次に商品の開発をする人、次にものを調達、管理する人、そして販売、広告をする人と大まかに分けましたが、これだけの役割があります。その各部署がしっかりと自分たちの役割を果たすことで、運営は円滑に進みます。それと同じく私たち学生にも部署があります。AD、受付、スポンサー、物販、経理、レフェリー、会場設営、イベント、メディア、トレーナーなど様々な部署があります。各部署それぞれの仕事があり部署のトップが中心となり、仕事を行っています。例えば、メディアなら大会の告知をツイッター、フェイスブック、ブログなどのSNSにアップしたり、大会期間中はライブスコアを更新したり、選手へのインタビューなどを行います。スポンサーでは、地域のお店に協賛周りにいったり、レフェリーでは大会期間に主審を行ったりと他にも各部署多くの仕事があります。そのすべての部署を統括するのがADです。会社でいうところの部長、課長です。ADが部署の仕事の進み具合や今後の仕事の確認などを行い、各部署仕事が済むよう指示します。このように会社の経営と近いことを私たちが行っています。学生またスタッフが中心となり資金調達から運営を行い亞細亞フューチャーズが毎年開催されています。

また、私たちはテニスの向上に努めることはもちろん、社会に出たときにより活躍できる人間になるためにこの大会を行っています。

Asia Univ.Int'l Tennis

Japan F1 Men's Futures



SINGLES MAIN DRAW				Prize Money US\$	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee
Week of	City, Country	2nd Round	Quarterfinals	Semifinals	Final	
2017/3/6	日本, 東京-西多摩	15000	M-FU-JPN-01A-2017	小林あおい		
St.	Rank	Seed	Name	Nationality		
1	256	1	リ・ジェ	中国	リ・ジェ	
2	Q	1427	野口莉央	湘南工科大学附属高校	6-2 6-1	徳田廉大
3	650		徳田廉大	プロ・フリー	徳田廉大	7-6(4) 4-6 6-2
4	Q	1375	島袋将	早稲田大学	6-2 6-4	
5	Q	1124	小林雅哉	早稲田大学	小林雅哉	トロンチャロエンチャイクル・ウィシャヤ
6	861		守谷総一郎	MTSテニスアリーナ	6-3 6-4	トロンチャロエンチャイクル・ウィシャヤ
7	771		トロンチャロエンチャイクル・ウィシャヤ	タイ	トロンチャロエンチャイクル・ウィシャヤ	6-0 6-3
8	536	7	志賀正人	GODAI	5-7 6-4 6-4	
9	421	3	高橋悠介	プロ・フリー	高橋悠介	高橋悠介
10	WC		吉田慎	亜細亜大学	6-2 6-1	高橋悠介
11	653		岡村一成	ストライプインターナショナル	望月勇希	4-6 6-4 6-1
12	Q	1170	望月勇希	中央大学	6-2 6-4	高橋悠介
13	LL	1486	白藤成	西宮甲英高校	井藤祐一	高橋悠介
14	690		井藤祐一	ライフ・エヌ・ピー	6-2 2-6 6-3	片山翔
15	633		片山翔	伊予銀行	片山翔	6-0 6-0
16	494	6	ガオ・シン	中国	6-2 6-4	高橋悠介
17	481	5	コペルト・ピーター	アメリカ	コペルト・ピーター	7-5 6-3
18	Q	1407	笹井正樹	アース製薬	4-6 6-4 6-1	
19	WC		恒松拓未	亜細亜大学	ノー・サン・ウ	ノー・サン・ウ
20	692		ノー・サン・ウ	韓国	6-3 6-1	江原弘泰
21	WC	1770	加藤彰馬	亜細亜大学	江原弘泰	1-6 6-3 6-2
22	Q	895	江原弘泰	日清紡ホールディングス	江原弘泰	江原弘泰
23	JE	1770	清水悠太	パブリックテニスイングランド	清水悠太	7-6(0) 6-4
24	436	4	今井慎太郎	東通産業	7-5 6-2	仁木拓人
25	572	8	チュン・ユンソン	韓国	ハン・リヤン・チー	6-2 6-1
26	659		ハン・リヤン・チー	台湾	6-3 7-6(5)	
27	WC		橋本大貴	亜細亜大学	逸崎凱人	逸崎凱人
28	Q		逸崎凱人	慶應義塾大学	6-2 6-1	仁木拓人
29	584		山崎純平	日清紡ホールディングス	菊池玄吾	6-2 6-4
30	658		菊池玄吾	福井県体育協会	仁木拓人	仁木拓人
31	Q	1375	藤井信太	あきやま病院	仁木拓人	6-0 6-4
32	395	2	仁木拓人	三菱電機	7-6(2) 6-2	

www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	# Seeded players	# Lucky Losers	Replacing	Draw date/time:
Rkg Date	1 リ・ジェ			2017年3月6日 12:58
Top Acc	2 仁木拓人			Last Direct Acceptance
Cut-off	3 高橋悠介			守谷総一郎
Seed ranking	4 今井慎太郎			Player representatives
Rkg Date	5 コペルト・ピーター			野口莉央
Top seed	6 ガオ・シン			吉田慎
Last seed	7 志賀正人			Signature
	8 チュン・ユンソン		# Protected Ranking: Name (Line)	小林あおい

Asia Univ.Int'l Tennis

Japan F1 Men's Futures

DOUBLES MAIN DRAW

Week of 2017/3/6 City, Country 日本, 東京-西多摩 Prize Money US\$ 15000 Tourn. ID M-FU-JPN-01A-2017



ITF Supervisor/Referee 小林あおい
Winners

St.	Rank	Seed	Name	Nationality	2nd Round	Semifinals	Final
1	412	1	ゴンザレス・ルーベン 松井俊英	フィリピン ASIA PARTNERSHIPFUND			
2	2569		高橋悠介 徳田廉大	プロ・フリー プロ・フリー	高橋/徳田 6-7(2) 6-3 14-12		
3	1488		ハン・リヤン・チー 岡村一成	台湾 ストライブインターナショナル		高橋/徳田 6-3 6-4	
4	2170		菊池玄吾 竹島駿朗	福井体育協会 Team REC	菊池/竹島 6-2 6-2		
5	A		カオ・ジャオイ ジョン・コリン	中国 アメリカ			長尾/奥 7-6(2) 6-1
6	1539		片山翔 小ノ澤新	伊予銀行 イカイ	片山/小ノ澤 6-2 6-4		
7	WC		橋本大貴 恒松拓未	亜細亞大学 亜細亞大学		長尾/奥 6-3 3-6 11-9	
8	1266		長尾克己 奥大賢	エキスパートパワーシズオカ エキスパートパワーシズオカ	長尾/奥 6-2 7-6(10)		
9	WC		加藤彰馬 吉田慎	亜細亞大学 亜細亞大学			長尾/奥 6-0 7-6(2)
10	1531		ノー・サン・ウ 山崎純平	韓国 日清紡ホールディングス	ノー/山崎 7-6(4) 6-1		
11	1316		リン・ウェイ・ディ トロンチャロエンチャイクル・ウイシャヤ	台湾 タイ		リン/トロンチャロエンチャイクル 6-2 2-6 10-8	
12	1159	4	井藤祐一 守谷総一郎	ライフ・エヌ・ピー MTSテニスアリーナ三鷹	井藤祐一 2-6 7-6(4) 10-8		
13	WC		児玉大輝 高見沢岳飛	亜細亞大学 横浜清風高校		仁木/上杉 6-1 6-3	
14	1711		仁木拓人 上杉海斗	三菱電機 慶應義塾大学	仁木/上杉 6-2 6-2		
15	2645		江原弘泰 志賀正人	日清紡ホールディングス GODAI		仁木/上杉 3-6 7-5 10-7	
16	559	2	ガオ・シン リ・ジエ	中国 中国	ガオ/リ 6-3 6-4		

www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	#	Seeded teams	#	Lucky Losers	Replacing	Draw date/time:	2017年 3月7日 12:42
Rkg Date	1	ゴンザレス・ルーベン 松井俊英	1			Last Accepted team	
Top DA	2	ガオ・シン リ・ジエ	2			Player representatives	
Last DA	3	チュン・ユンソン 今井慎太郎	3			吉田慎 野口莉央	
Seed ranking	4	井藤祐一 守谷総一郎		# Protected Ranking: Name (Line)		Signature	
Rkg Date			1	2		小林あおい	
Top seed							
Last seed							

Asia Univ.Int'l Tennis ITF Women's Circuit



SINGLES MAIN DRAW				Prize Money US\$	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee			
Week of	St.	Rank	Seed	City, Country	Nationality	2nd Round	Quarterfinals	Semifinals	Final
2017/3/20				日本, 東京-西多摩		15000	W-WITF-JPN-01A-2017		
	1	251	1	秋田史帆	北島水産	秋田史帆			
	2	440		タムチャイワット・ブンヤウィ	タイ	6-3 6-4			
	3	450		奥野彩加	Club MASA	吉富愛子	秋田史帆	6-4 6-2	
	4	Q 812		吉富愛子	橋本総業ホールディングス	3-6 6-4 6-3			
	5	Q 1017		奥石亞佑美	浦和麗明高校	牛島里咲	秋田史帆	6-4 6-4	
	6	591		牛島里咲	筑波大学	6-1 6-1	瀬間詠里花		
	7	WC		松田美咲	浦和学院高校	瀬間詠里花	4-6 6-2 6-1		
	8	367	6	瀬間詠里花	橋本総業ホールディングス	6-2 6-3			秋田史帆
	9	291	3	レートピタクシンチャイ・ニチャ	タイ	喜島瑞乃			7-5 6-3
	10	558		喜島瑞乃	プロ・フリー	5-7 6-2 6-2	リーソーラ		
	11	WC		高橋玲奈	亜細亜大学	リーソーラ	小堀桃子	6-3 6-4	
	12	571		リーソーラ	韓国	6-4 6-2			
	13	JE 1231		宮本愛弓	ローズヒルテニスクラブ	美濃越舞			
	14	Q 636		美濃越舞	YCA	6-4 6-4	小堀桃子	6-4 6-3	
	15	Q 600		小堀桃子	橋本総業ホールディングス	小堀桃子			
	16	408	7	二宮真琴	橋本総業ホールディングス	7-6(2) 3-6 6-3			
	17	426	8	鮎川真奈	橋本総業ホールディングス	キナード・トリ			セクリッチ・サラ・レベッカ 6-4 7-5
	18	528		キナード・トリ	アメリカ	6-0 3-6 6-3	キナード・トリ		
	19	WC		田中文彩	亜細亜大学	林恵里奈			
	20	Q 901		林恵里奈	早稲田大学	6-1 6-1	セクリッチ・サラ・レベッカ 6-4 6-2		
	21	Q 896		高畠寿弥	橋本総業ホールディングス	セクリッチ・サラ・レベッカ			
	22	474		セクリッチ・サラ・レベッカ	ドイツ	6-1 6-1	セクリッチ・サラ・レベッカ		
	23	472		リー・ペイ・チー	台湾	リー・ペイ・チー	セクリッチ・サラ・レベッカ 7-6(5) 6-2		
	24	345	4	清水綾乃	高崎テニスクラブ	6-2 4-6 7-6(0)			セクリッチ・サラ・レベッカ 6-4 6-2
	25	351	5	田中優季	安藤証券	荒川晴菜			セクリッチ・サラ・レベッカ 6-3 6-1
	26	559		荒川晴菜	吉田記念テニス研修センター	6-4 7-5	荒川晴菜		
	27	Q 646		チャン・ユキ・クリスティーナ	アメリカ	チャン・ユキ・クリスティーナ	6-2 7-6(11)		
	28	Q 879		藤原里華	北日本物産	7-5 6-4			
	29	439		カン・ジエチー	中国	小関みちか			
	30	585		小関みちか	プロ・フリー	7-6(5) 6-1	岡村恭香	6-4 6-1	
	31	WC		中沢夏帆	亜細亜大学	岡村恭香	5-2Ret		
	32	261	2	岡村恭香	ストライプインターナショナル	岡村恭香			
						6-3 6-0			www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	#	Seeded players	#	Lucky Losers	Replacing	Draw date/time:	2017年3月20日13:07
Rkg Date	1	秋田史帆				Last Direct Acceptance	
Top Acc	2	岡村恭香				牛島里咲	
Cut-off	3	レートピタクシンチャイ・ニチャ				Player representatives	
Seed ranking	4	清水綾乃				中沢夏帆	
Rkg Date	5	田中優季				高畠寿弥	
Top seed	6	瀬間詠里花				Signature	
Last seed	7	二宮真琴				イム・チャフーン	
	8	鮎川真奈					
				# Protected Ranking: Name (Line)			

Asia Univ.Int'l Tennis

ITF Women's Circuit

DOUBLES MAIN DRAW



Week of	City, Country			Prize Money US\$	Tourn. ID	ITF Supervisor/Referee		
2017/3/20	日本, 東京-西多摩			15000	W-WITF-JPN-01A-2017	イム・チャフーン		
St.	Rank	Seed	Name	Nationality	2nd Round	Semifinals	Final	Winners
1	458	1	リー・ペイ・チー レートビタクシンチャイ・ニチャ	台湾 タイ				
2	WC		中沢夏帆 田中文彩	亜細亜大学 亜細亜大学	リード/レートビタクシンチャイ 6-3 6-1			
3	WC		楚南美波 高橋玲奈	亜細亜大学 亜細亜大学		リー・レートビタクシンチャイ 6-3 6-3		
4	1081		チャン・ユキ・クリスティーナ 西郷幸奈	アメリカ 総武グリーンテニスクラブ	チャン/西郷 7-5 6-1			
5	819	3	小堀桃子 高畠寿弥	橋本総業ホールディングス 橋本総業ホールディングス			小堀/高畠 6-1 6-3	
6	Q	1402	小関みちか 吉畠愛子	プロ・フリー 橋本総業ホールディングス	小堀/高畠 6-1 6-4		小堀/高畠 7-5 6-4	
7	991		カン・ジェチー ジャオ・チェンчен	中国 中国		カン/ジャオ 6-4 6-4		
8	WC		朝倉菜月 松田美咲	松商学園高等学校 浦和学院高等学校				小堀/高畠 6-1 6-2
9	1362		キム・ダビン リー・ソーラ	韓国 韓国				
10	1325		ワン・シュ ジェン・ウーション	中国 中国	キム/リー 6-4 7-5			
11	1071		鮎川真奈 スタドラー・ニーナ	橋本総業ホールディングス スイス		秋田/瀬間 6-7(5) 6-2 15-13		
12	829	4	秋田史帆 瀬間詠里花	北島水産 橋本総業ホールディングス	秋田/瀬間 6-2 6-1			秋田/瀬間 6-7(6) 6-4 12-10
13	1153		ルアングナム・ヌドニダ 宮原美穂希	タイ TEAM自由が丘				
14	1257		セクリッチ・サラ・レベッカ タルコット・シェルディー	ドイツ アメリカ	セクリッチ/タルコット 4-6 6-0 10-4			
15	Q	1859	清水千夏 橘梨子	専修大学 日本大学		井上/奥野 6-3 7-6(2)		
16	605	2	井上明里 奥野彩加	レスポートサックジャパン Club MASA	井上/奥野 6-1 6-0			

www.itftennis.com/mens

Acc. ranking	#	Seeded teams	#	Lucky Losers	Replacing	Draw date/time:	2017年 3月20日 12:30
Rkg Date			1			Last Accepted team	
Top DA		リー・ペイ・チー レートビタクシンチャイ・ニチャ	2			キム・ダビン リー・ソーラ	
Last DA			3			Player representatives	
Seed ranking		2 井上明里 奥野彩加	4			朝倉菜月 中沢夏帆	
Rkg Date		3 小堀桃子 高畠寿弥				Signature	
Top seed		4 秋田史帆 瀬間詠里花					
Last seed				# Protected Ranking: Name (Line)			
			1	2		イム・チャフーン	



Asia Univ.Int'l Tennis

Japan F1 Men's Futures

SINGLES QUALIFYING DRAW				ITF Supervisor/Referee 小林あおい			
Week of 2017/3/6	City, Country Nisi-Tama,tokyo,JPN	Prize Money US\$ \$15000	Tourn. ID M-FU-JPN-01A-2017				
St.	Rank	Seed	Name	Nationality	2nd Round	Finals	Qualifiers
1	895	1	江原弘泰	日清紡ホールディングス	江原弘泰		
2			小倉孝介	早稲田大学	6-2 6-2	江原弘泰	
3	WC		吳岡拓弥	麗澤瑞浪高校	堀内竜輔	6-3 6-3	
4	WC		堀内竜輔	サレジオ学院高校	6-2 6-4		江原弘泰
5			尾山翼	三友スポーツマネージメント	斎藤秀		
6			斎藤秀	新松戸山喜	6-2 6-3	斎藤秀	6-2 6-3
7	WC		藤井諒太	同志社国際高校	川橋勇太	6-3 7-6(2)	
8	1654	16	川橋勇太	筑波大学	6-4 3-6 6-2		
9	998	2	ジョン・コリン	アメリカ	小野陽平		
10			小野陽平	あきやま病院	6-3 4-6 7-5	小野陽平	
11			大塚陽平	垂細垂大学	大塚陽平	6-3 6-3	
12	WC		川島颯	名古屋高校	6-1 4-6 6-4		
13			大和田秀俊	ブヤース市川テニスアカデミー	大和田秀俊		藤井信太
14			ウ・アルテム	ベトナム	7-5 6-3	藤井信太	7-5 7-5
15			正林知大	中央大学	藤井信太	7-6(3)6-0	
16	1375	9	藤井信太	あきやま病院	3-6 6-2 6-3		
17	1124	3	小林雅哉	早稲田大学	小林雅哉		
18			羽生沢哲郎	テニスユニバース	6-2 6-4	小林雅哉	
19			坂井勇仁	早稲田大学	坂井勇仁	7-6(8) 7-5	
20			中村祐樹	新松戸山喜	7-6(13) 7-5		小林雅哉
21			福岡勇成	テニスハウスfun	結城慎之介		7-5 6-2
22			結城慎之介	垂細垂大学	6-4 7-5	白藤成	
23			熊坂拓哉	日本大学山形高校	白藤成	6-1 6-3	
24	1486	14	白藤成	西宮甲英高校	6-2 6-2		
25	1128	4	カオ・ジャオイ	中国	カオ・ジャオイ		
26			矢野洋	ケイエスシー	6-4 6-2	カオ・ジャオイ	
27			清水一輝	グリーンテニスプラザ	清水一輝	2-6 6-2 7-5	
28			福垣剛ジェームズ	石井真テニスアカデミー	6-4 6-4		笹井正樹
29			掛川昂	シンズテニス	吉川雄介		6-0 6-1
30			吉川雄介	ライズテニススクール	6-3 6-1	笹井正樹	
31			伊藤陸	垂細垂大学	6-1 6-0		
32	1407	11	笹井正樹	アース製薬	6-0 6-0		
33	1170	5	望月勇希	中央大学	望月勇希		
34			吉田元樹	専修大学	6-2 6-1	望月勇希	
35			内海草紀	AKI TENNIS株式会社	清水奎吾	6-2 6-1	
36	WC		清水奎吾	光泉高校	6-3 7-6(5)		望月勇希
37			田形謙平	泊江インドアジュニアATPチー	上杉哲平		6-2 6-4
38			上杉哲平	テニスユニバース	1-6 6-1 6-3	竹島駿朗	
39			工藤颯人	日出高校	竹島駿朗	6-4 5-7 6-0	
40	1410	12	竹島駿朗	TeamREC	6-4 6-4		
41	1258	6	長尾克己	エキスパートパワーシズオカ	長尾克己		
42	1867		セハウン・玲央・ジュリアン	名古屋GTC	6-2 6-3 6-3	長尾克己	
43	WC		梅岡優大	垂細垂大学	乾祐一郎	6-3 6-2	
44			乾祐一郎	NBテニスガーデン	6-2 4-6 6-0		島袋将
45			古田伊路	早稲田大学	古田伊路		6-3 7-6(3)
46			甲斐直登	慶応義塾大学	6-2 6-0	島袋将	
47	WC		本玉圭	慶応義塾大学	島袋将	7-6(5) 6-4	
48	1375	10	島袋将	早稲田大学	6-1 6-2		
49	1271	7	リン・ウェイディ	台湾	松崎勇太郎		
50	1770		松崎勇太郎	早稲田大学	7-6(5) 6-3	逸崎凱人	
51	WC		逸崎凱人	慶応義塾大学	逸崎凱人	6-4 6-2	
52			安田純	多摩大学	6-1 6-0		逸崎凱人
53			長船雅喜	新松戸山喜	長船雅喜		6-3 6-3
54	1654		ロング・正幸	福井県体育協会	6-1 6-1	綿貫敬介	
55			児玉大輝	垂細垂大学	綿貫敬介	7-6(4) 0-6 6-2	
56	1618	15	綿貫敬介	明治安田生命	6-4 6-3		
57	1298	8	佐野紘一	伊予銀行	佐野紘一		
58			田村和也	tennis365.net	6-3 6-3	田代悠雅	
59			田代悠雅	トップラン	田代悠雅	6-2 6-4	
60			瀧中重宏	ひばりヶ丘新豊テニスクラブ	6-4 7-5		野口莉央
61			中西聖也	サリュートテニス専門学校	中西聖也		6-1 6-4
62			古田剛司	TCアワーズ	6-1 6-1	野口莉央	
63			鈴木保貴	法政大学	野口莉央	6-0 6	
64	1427	13	野口莉央	湘南工科大学附属高校	6-1 6-2		

www.itftennis.com/mer

Acc. ranking	#	Seeded players	#	Seeded players	#	Alternates	Replacing	Draw date/time:	2017 3/3 18:20
Rkg Date	1	江原弘泰	9	藤井信太	1		Last Accepted player		
Top DA	2	ジョン・コリン	10	島袋将	2		甲斐直登		
Last DA	3	小林雅哉	11	笹井正樹	3		Player representatives		
Seed ranking	4	カオ・ジャオイ	12	竹島駿朗	4		児玉大輝		
Rkg Date	5	望月勇希	13	野口莉央	5		吉田慎		
Top seed	6	長尾克己	14	白藤成	6		Signature		
Last seed	7	リン・ウェイディ	15	綿貫敬介		# Protected Ranking: Name (Line)			
	8	佐野紘一	16	川橋勇太	1	2	小林あおい		

Asia Univ.Int'l Tennis ITF Women's Circuit



SINGLES QUALIFYING DRAW				ITF Supervisor/Referee イム・チャーフーン			
Week of 2017/3/20	City, Country Nishitama-Hinodecho,Tokyo, JPN \$15000	Prize Money US\$	Tourn. ID W-WITF-JPN-01A-2017				
St.	Rank	Seed	Name	Nationality	2nd Round	Finals	Qualifiers
1	600	1	小堀桃子	橋本総業ホールディングス	小堀桃子		
2			木村真琴	星和日本大学	6-4 6-4	小堀桃子	
3	WC		河村美咲	柳川高校	6-3 6-1		
4	953	2	押野紗穂	慶應義塾大学	7-5 6-2		
5			森崎可南子	筑波大学	6-4 6-1	小堀桃子	
6			山口芽衣	Fテニス	7-5 7-5	森崎可南子	
7	1108	3	カオ・シーチー	中国	6-4 6-4	井上明里	6-3 7-5
8	859	11	井上明里	レスポートサッカージャパン	6-4 6-4		
9	616	2	タレット・シェルディー	アメリカ	タルコット・シェルディー		
10	WC		沢辯道	亜細亜大学	6-2 6-1	力石優衣	
11	WC		楚南美波	亜細亜大学	6-3 6-3		
12			力石優衣	姫路高校	6-3	高畠寿弥	
13			首藤みなみ	日本女子大	6-4 6-3		
14			片山千鶴	成蹊大学	6-4 6-3	高畠寿弥	6-2 6-0
15			岸上歌奈	姫路中学	6-4 6-3		
16	896	14	高橋秀祐	橋本総業ホールディングス	7-6(2) 7-6(3) 2-6		
17	636	3	美濃越舞	YCA	6-3 6-2	美濃越舞	
18	1208		寺見かりん	山梨学院大学	6-2 6-0		
19			千村もも花	吉田記念テニス研修センター	6-2 6-0	美濃越舞	
20			伊藤萌夏	日本女子東北高校	2-6 6-3 6-2		
21			金井綾香	早稻田大学	6-4 6-3	金井綾香	6-2 6-4
22			西田奈生	慶應義塾大学	4-6 7-5 7-6(4)		
23			細沼千鶴	早稲田大学	3-6 6-4 6-4	西郷幸奈	
24	887	13	西郷幸奈	競技アーリンテニスクラブ	7-6(2) 7-6(3) 6-4		
25	646	4	チャン・ユキ・クリスティーナ	アリーナ	6-3 6-1	チャン・ユキ・クリスティーナ	
26			大庭真由	星和日本大学	6-0 6-1	チャン・ユキ・クリスティーナ	
27			岩井真樹	筑波大学	6-2 6-2		
28	1052		宮原未穂希	Team自由が丘	6-1 4-0 Ret	チャン・ユキ・クリスティーナ	
29			宗公美	柏江インドアジュニアATPチ	6-2 6-2	チャン・ユキ・クリスティーナ	
30	WC		山口真琴	亜細亜大学	6-2 6-2	ジャオ・チエンチエン	3-6 6-1 6-3
31			細木祐佳	プロ・フリー	6-0 6-1		
32	838	9	ジャオ・チエンチエン	中国	3-2 Ret	高山千尋	
33	671	5	ルアン・グナム・ルドニア	タイ			
34	1236		高山千尋	プロ・フリー	6-3 7-6(6)	加藤慧	
35	1017		加藤慧	日本女子大	6-1 6-2		
36			長谷川美美	伊豆学園	1-6 Ret	藤原里華	
37	1068		上田わらわ	アブダヒアステージ	上田わらわ		
38	955		ワシル・ユ	中国	6-4 6-3	藤原里華	6-3 6-0
39			長松香菜子	テスユニバース	6-3 6-2		
40	879	12	藤原里華	北日本物産	6-3 6-2	奥石亜佑美	
41	712	6	スタドラー・ニーナ	スイス	6-3 6-2	奥石亜佑美	
42	1017		奥石亜佑美	浦和明徳高校	0-6 7-6(6) 6-3	奥石亜佑美	
43			梶谷接舞	島津製作所	6-4 6-2	清水映里	6-3 7-5
44	1078		梶谷接舞	プロ・フリー	6-4 6-2		
45			古谷美智留	ITC	6-4 6-2		
46			カシマ・アンド・サン	TEAM Yuka	6-4 6-2	清水映里	6-2 6-2
47			清水映里	グリーンテニスプラザ	6-4 6-2		
48	910	16	ジエ・ウーサン	中国	6-4 6-2		
49	805	7	ジエ・ウーサン	CSJ	6-0 6-3	ジエ・ウーザン	
50	WC		小池璃記	園田学園女子大学	6-3 6-4	ジエ・ウーザン	
51			川崎光美	テスユニバース	6-1 6-2	林東里奈	
52	1060		川崎奈穂子	JAPAN Tennis Players Production	6-1 6-2	林東里奈	
53	1175		村瀬早香	慶應義塾大学	6-2 6-1	林東里奈	6-3 6-3
54			ヤン・イーディ	中国	6-1 6-4		
55	901	15	吉富愛子	草薙田大学	6-1 6-4	吉富愛子	
56	812	8	吉富愛子	橋本総業ホールディングス	吉富愛子	吉富愛子	
57			柿沢明里	浜松明徳高校	6-2 6-2	吉富愛子	
58	WC		清水千夏	専修大学	6-2 6-2	吉富愛子	
59			清水優	山梨女子大	7-5 6-7(5) 6-2	吉富愛子	
60	WC		坂田季美佳	日本女子大施設	6-2 6-1	吉富愛子	0-6 7-6(1) 6-2
61	1034		坂田季美佳	山梨学院高校	6-3 6-3	キム・ダビン	6-4 6-2
62			代河詩葉	慶應義塾大学			
63	WC		代河詩葉	キム・ダビン			
64	836	10	キム・ダビン	韓国	6-3 6-1		

www.itftennis.com/mer

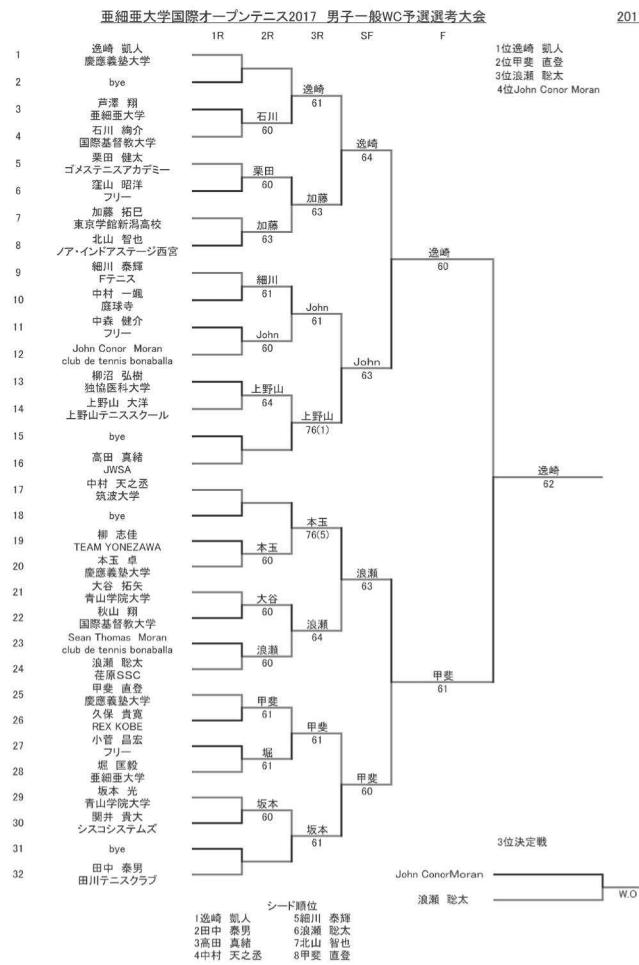
Asia Univ.Int'l Tennis ITF Women's Circuit



DOUBLES QUALIFYING				ITF Supervisor/Referee イム・チャーフーン				
Week of 2017/3/20	City, Country 日本、東京・西多摩	Prize Money US\$	Tourn. ID W-WITF-JPN-01A-2017					
St.	Rank	Seed	Name	Nationality	2nd Round	Semifinals	Final	Winners
1	1402	1	小堀桃子	プロ・フリー 吉富愛子	橋本総業ホールディングス			
2	WC		渋澤遼	山口芽衣	亜細亜大学			
3	1841	2	荒川晴菜	吉田記念テニス研修センター 馬場早莉	プロ・フリー			
4	1859		清水千夏	専修大学 橋栄子	日本大学	清水/橋	2-6 6-4 10-7	

Acc. ranking	# Seeded players	# Seeded players	# Alternates	Replacing	Draw date/time:	2017 3/17 18:47
Rkg Date	1 小堀桃子	9 ジャオ・チエンチエン	1		Last Accepted player	
Top DA	2 チャン・ユキ・クリスティーナ	10 キム・ダビン	2		西田由香	
Last DA	3 美濃越舞	11 佐藤実穂	3		Player representatives	
Seed ranking	4 チャン・ユキ・クリスティーナ	12 藤原里華	4		山口芽衣 楚南美波	
Rkg Date	5 ルアン・グナム・ルドニア	13 西郷幸奈	5		Signature	
Top seed	6 スタドラー・ニーナ	14 高畠寿弥	6			
Last seed	7 ジエ・ウーザン	15 林恵里奈	16 藤岡希	1	イム・チャーフーン	

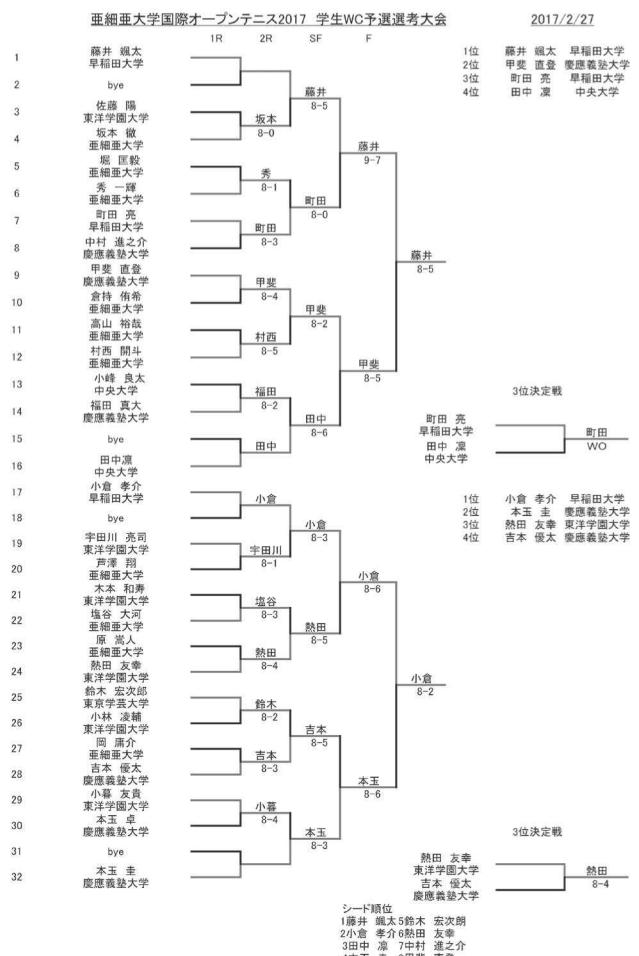
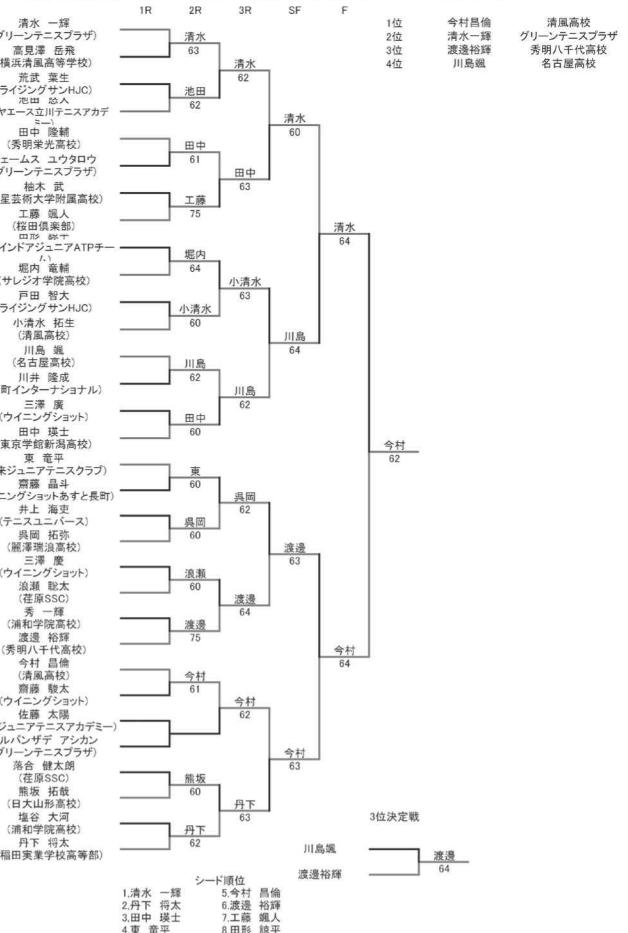
男子WC選手権大会結果



2017/3/1

亞細亞大学国際オープンテニス2017 Jr.WC予選選考大会

2017/2/19



2017/2/27

一般WC大会

Jr.WC大会



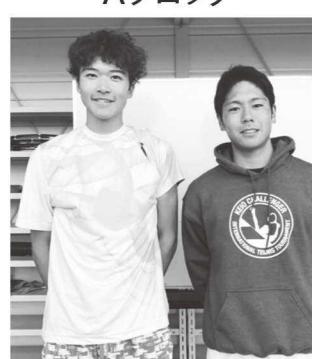
左:逸崎選手 右:甲斐選手 今村選手



今村選手

学生WC大会

Aブロック



左:藤井選手 右:甲斐選手

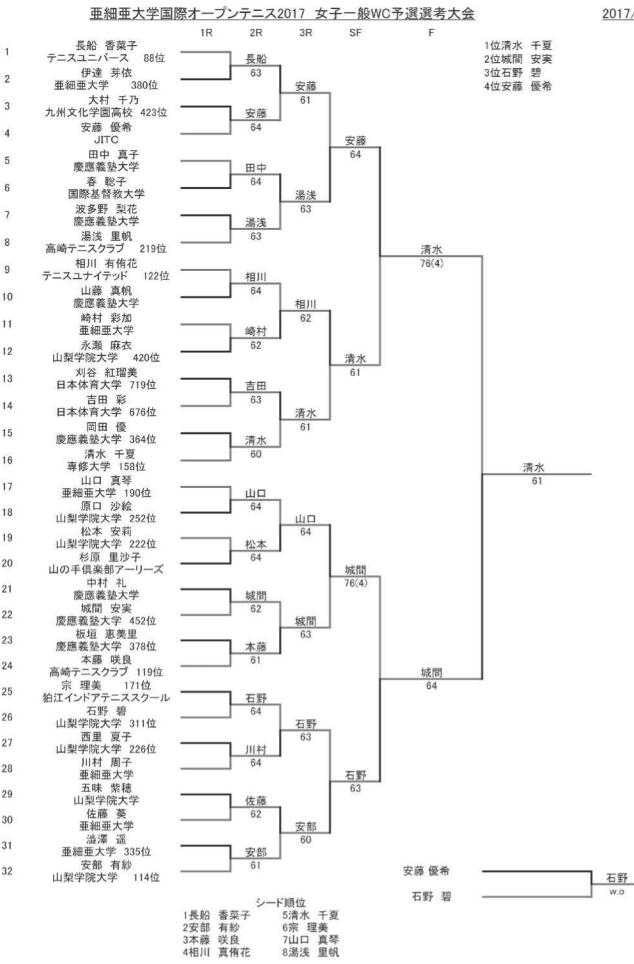


左:木本選手 右:小倉選手

Bブロック

左:木本選手 右:小倉選手

女子WC選手権大会結果



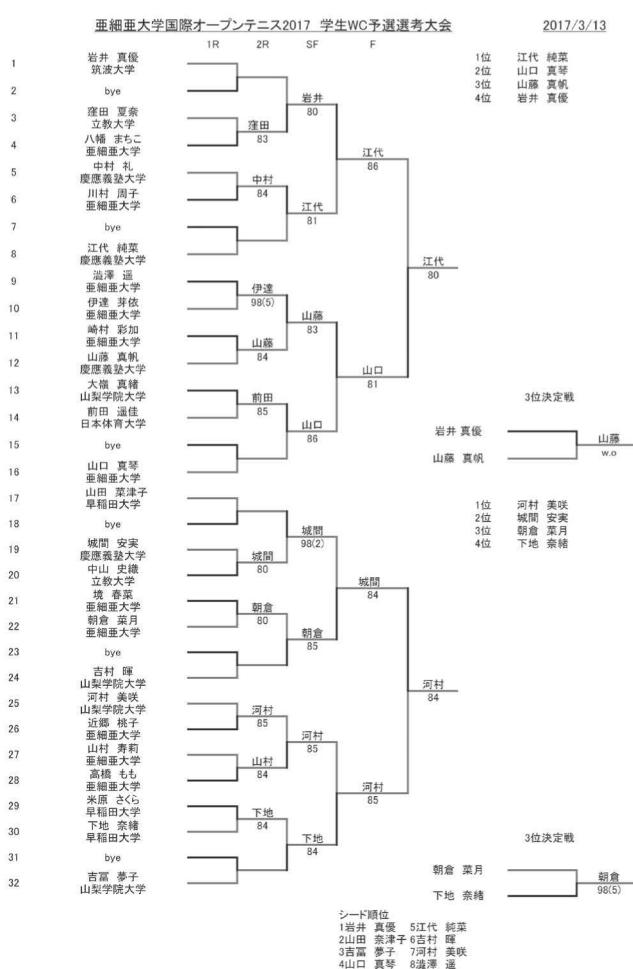
2017/3/15

亞細亞大学国際オープンテニス2017 Jr.WC予選選考大会

2017/2/19



CSJ
開星高等学校
桜田俱楽部
横浜清風高校



2017/3/13

一般WC大会



清水選手

Jr. WC大会



川村選手

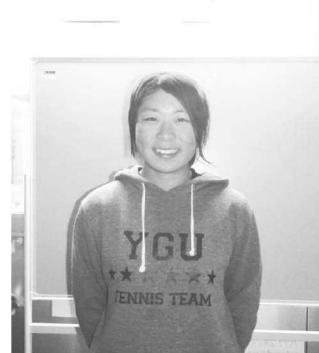
学生WC大会

Aブロック



江代選手

Bブロック



河村選手



第1回『亞細亞大学国際オープンテニス2007』

国際大会開催までの全記録

2007年3月19-25日、私たち亞細亞大学テニス部は、日本初となる大学主催の男子フューチャーズ1万ドル大会『F1亞細亞大学国際オープンテニストーナメント』を開催しました。

準備から運営にいたるまで、すべて学生が行なった手づくりの大会の全記録がここにあります。

記事協力◎テニスマガジン(2007年6月号掲載)

2006年9月
大会まであと6ヵ月

フューチャーズを開きたい!

堀内昌一監督が学生たちに「フューチャーズを開きたい」と言い始める。学生たちはまだ半信半疑で「無理ですよ」という雰囲気だった。

2006年10月
大会まであと5ヵ月

開催決定

堀内監督が学生に「フューチャーズを開催する」と正式に伝える。さらに「すべて学生でやってもらいたい。お金の集め方から運営の仕方まで、お前たちが全部考えてイチからやってみろ」との指示が。学生たちは「え? 本当に?」という感じだったが、同時にこれはもう引き下がれないという状況になる。

川廷さんの視察

10月24日、ITF(国際テニス連盟)で世界的に活躍している川廷尚弘さんが視察に訪れる。亞細亞大の施設がフューチャーズに使用できるか、コートの幅、審判台の高さなど細かいところまでチェック。



後日、川廷さんが視察レポートを学生全員に配てくれた

2006年11月
大会まであと4ヵ月

第1回学生ミーティング

1回目のフューチャーズ・ミーティング。議題となったのは「資金集め」。最初の構想としては、毎年つくっている庭球部パンフレットで協賛してもらっている方、日の出町(コート所在地)、地元住民のみなさんや一般企業などに、フューチャーズの主旨を理解してもらい、協力を仰ごうというもの。しかし、実際には厳しさを知り、資金集めは堀内監督、森コーチ、OB・OGが行なうことになった。学生はクリニックのスタッフとして携わることになった。

2007年1月
大会まであと2ヵ月

強化期間開始

年が明け、東レPPOテニスのボーラーなどで忙しく、あまり準備が進まず。30日から、フューチャーズを最終目標とするテニス強化期間に入る。

2006年12月
大会まであと3ヵ月

幹部ミーティングがさかんに

4年生の幹部が監督、コーチらとセミナーハウスに泊まり込んでミーティング。役割分担の項目を決めたり、協賛していたくメーカーや企業を探したり、何度も打ち合わせを行なう。

亞細亞大のセミナーハウス。フューチャーズの話し合いや準備で使用したほか、大会中は大会関係者の宿舎としても1泊3000円で貸し出した

資金集めの主な方法

- ・日頃お世話になっているテニスマーカー、一般企業、団体からの協賛金
- ・学校からの補助金
- ・OB・OG会からの寄付金
- ・父兄、テニス関係者など個人からの協賛金
- ・日の出町からの協賛金
- ・サポートーズクラブの発足(応援してくれる一般の方を募集。クリニック受講、記念Tシャツ、「つるつる温泉」入浴券、ドリンクサービスなどを付けて3000円で販売)
- ・チャリティークリニックの開催(一般クリニックは5000円、ジュニアクリニックは500円で開催。大会前、大会中合わせて10回ほど行なう)
- ※資金面だけでなく、地元商工会やたくさんのボランティアに支えられた

2007年2月
大会まであと1ヵ月

本格始動

フューチャーズ開催に向けて本格的に動き始める。まずは、資金集めとフューチャーズの宣伝のため、一般の方やジュニアを対象としたクリニックを開催。1日クリニックは10~12時、13~16時でひとり5000円。1日30~40人、多いときで50人くらい集まる。このクリニックを計10回ほど開催したことで、かなり資金が集まつた。



部内WC選手権が突然の中止

2月9日からセミナーハウス(寮)にて合宿開始。ここで部内のワイルドカード(WC/主催者推薦枠)選手権を行なうはずが……「何も準備ができていないのに、予選会をやるなんてダメだ。そういうものは、全部決まってからやるべきだ」と堀内監督に言われ中止に。

国際大会について調査

森コーチと世界で行なわれている大会について話をしたとき、学生は何も答えられず、これでは国際大会の運営者として失格だと痛感。デ杯やグランドスラムなど国際大会をはじめ、選手、テニスの歴史についても勉強する。



2007年3月1日

大会まであと16日

「簡単に大会に出るな。 大会をつくる苦労を知った上で、 大会に出ろ!」(堀内監督)

フューチャーズ開催の意義

部員全員で「フューチャーズの意義」について意見交換。運営するにも、選手として出場するにも、意義を知った上で臨んだほうが頑張れる、と思ったため。「学生はフューチャーズに出てもすぐに負けてしまう。大会を開くことの苦労を知れば、試戦にもっと執着心をもって臨めるんじゃないか」と堀内監督。なぜ監督が学生に運営を任せなのか、その理由を皆が理解した。

私たちが考える “フューチャーズの意義”

●1年生の意見

- ・外国選手との交流
- ・ATPポイントの獲得
- ・プロ選手を見て勉強する
- ・多文化の理解と受け入れ
- ・選手のルーティンを学ぶ
- ・運営することでマネジメントを学ぶ

●2年生の意見

- ・社会勉強(運営、資金集め、マネジメント)
- ・国際交流(コミュニケーション)
- ・教養を身につける
- ・国際大会を主観的に見られる
- ・地域振興
- ・大学での国際交流やスポーツ、地域振興への意欲の高さを示す
- ・国内の他のスポーツに良い影響を与える

●3年生の意見

- ・大会ができるまでの過程を知る
- ・大会に対する思いを知る
- ・日本選手の強化
- ・運営に携わることで自分自身とテニスの関わりを見出すことができる
- ・亞細亞大学の活性化
- 4年生の意見
- ・日本選手の強化
- ・学生テニスのレベルアップ
- ・学生の学習の場の提供
- ・国際大会数が世界ランカー数と相関関係にあるため、日本の国際大会数を増やすなければならない
- ・企業、団体、地域、マスコミなどのあらたな関わり
- ・各企業、メーカーの宣伝
- ・亞細亞大学テニス部と世界のつながりをつくる
- ・大会運営の過程を学ぶ

3月2日

大会まであと15日

役割分担

誰がどんな仕事に就くのか、係を決定(項目は下記)。それぞれが部の役職や得意分野が生かせる係に就けるように話し合う。部のブログ担当はメディア係に、財務担当は賞金係に、機械関係に強い人はビデオ係に、英語が話せる人は通訳係に、など全員が能力を発揮できるように振り分け、各係でチーフを決めた。細かいところまで、考えられるすべて、全力でやろうということで意見が一致。この役割分担が、大会成功の力だった。

係と主な仕事内容～運営の軸となる大会進行係

●幹部

ディレクター◎堀内昌一監督

アシスタントディレクター◎

森稔詞コーチ、小野塚弓乃

スーパーバイザー◎川廷尚弘(国際テニス連盟)

事務局◎宇田川裕(テニス部副部長)

金子国彦(亞細亞大職員)

3月4日

大会まであと13日

パンフレット作成開始

もともとつくる予定はなかったが、協賛してくれた方々へのお礼、記者発表への対応を考え、急遽作成することに。「パンフレットって何だ?」というところから始まつたので、マスコミ関係者に分かり方を聞きにいったり、これまでの大会パンフレットを集めたり、一気に慌ただしくなる。監督、コーチ、大学事務局と話し合いながら、掲載内容やレイアウトを決定。同時にプレスリリースやポスターもつくり始める。

●運営係

全体への指示

●賞金係

選手、スタッフへのギャラントリの計算と管理。大会サポートからの寄付金受け取り

●会場・施設係

プレーヤーズルーム、コンピュータールーム、メディアルームの設営、学校の備品の持ち出し、管理、ドローボードの作成



3月7日

大会まであと10日

部内WC選手権開催

2月上旬に行なうはずだった部内ワイルドカード選手権をようやく開催する。「皆に機会を与える」というのが目的だったので、学生全員が参加。実力によって、上からABCDブロックに分け、8ゲームマッチの総当たり戦を行なう。下部で勝ち上がった2名が上のブロックへ移動、というのを繰り返し、最終的に本戦ワイルドカード4名(大塚、富田、篠川、井上)、予選ワイルドカード3名(古城、牛田、風早)を決定。また、この頃からストーブ、テント、パイプ椅子など学校から備品を運び出し、施設の設営準備が進む。

選手に戦いやすい環境を提供する係

●洗濯係

ランドリーサービス(セミナーハウスの洗濯機を使用、乾燥室用の部屋を借りて乾かす)

●インフォメーション係

会場の地図や案内板の作成と設置、自転車の貸し出し



今後の検証材料として、選手のデータを集める係

●アンケート係

選手へのアンケート調査(アンケート用紙を作製し、選手の実態を調査)

●ビデオ係

本戦の全試合をビデオ撮影(販売も行なう)

●スコアシート係

全試合のスコア記入(ウインブルドンの集計用紙と同じものを使用。確率やミスの種類まで細かくチェックし、試合後に渡す)



●体力測定係

プロの体力測定(握力、垂直跳びなど、プロの体力や筋力を測定)



●マニュアルづくり係

来年以降の資料として役立てるため、各役職の仕事内容などを記録

●Tシャツ～記念Tシャツの作成、販売

「亞細亞大学硬式庭球部」「日の出」「未来」「一球入魂」「一期一会」と描かれた5種類の大会記念Tシャツを販売。文字は監督のお母さん(習字の先生)に描いてもらい、テニスショップ「テニスファクトリー」の八田修孝さんに協力してもらって作成。一般の方たちが着ることも考えて、落ち着いたカラーにした。



●レフェリー係

ワイルドカード選手権の運営

●チアアンパンパイア係

ボーラー、ラインマン

の配置、チェック、指導

●物品係

マイク、パイプ椅子、メー

カーコーナーのバナー、紙コ

ップなど備品の小さい

管理、ネームボードの

作成



●通訳係

外国人選手の対応、表形式でのスピーチ

通訳

●写真係

ブログ用、記録用写真の撮影

●電話番係

選手、関係者からの電話対応



PART 4 國際大会報告

3月12日 |
大会まであと5日

泊まり込みのホチキス止め

パンフレットの中身がやっと完成。しかし、装丁に予想以上の時間がかかる。コピー、ホチキス止めを泊まり込みで行ない、200部を作成(パンフは大会期間中に何度も足りなくなってしまって、そのたび追加し、結局300部くらいつくった)。このあたりが焦りのピークだった。

3月13日 |
大会まであと4日

学生ワイルドカード選手権

関東リーグ1部校からの各4名と学生連盟からの推薦8名で、大学生だけのワイルドカード選手権が始まる。ワイルドカード予選3大会は川延さんが不在なので、レフェリー係を中心に大会を運営する。

3月14日 |
大会まであと3日

記者発表資料が完成

できあがった大会パンフレットとプレスリリースを、庭球部パンフレットと大学パンフレットといっしょにファイルにセットし。記者発表用の資料が完成。また、学生ワイルドカードが早稲田大学の佐藤文平、吉備雄也に決定。



3月15日 |
大会まであと2日

初めての記者発表

堀内監督、小野塚AD、メディア担当・蒲谷の3名で岸記念体育館へ。集まった新聞記者、雑誌記者、スポーツライターなどにパンフレットの入ったファイルを手渡す。堀内監督が大会開催の主旨について発表する。



初めての記者発表に緊張気味の監督

一般WC予選サインアップ

一般ワイルドカード予選のラインアップが開始。海外選手も含め、107名がサインをしにきてくれた。部員も全員がサイン。そのうち出場できるのは64名。

3月18日 |
予選2日目

ドローボード準備!

本戦ドロー抽選会の結果を受けて、ドローボードを作成。本戦1日目用のデイリーパンフレットもできあがる。



3月17日 |
予選1日目

予選開始!

役割分担でやるべきことは決めてあったが、実際に試合が始まるとわからないことだけで慌てる。OPやドローに掲載している韓国人選手や中国人選手のアルファベット表記が見にくいうことで、漢字表記に直すことになり、選手個人に直接聞きにいく。スコアシート係は本戦から行なうということだったが、予選も準備期間として始めることに。

SUN, Peng [1] 孫 豐
OKI, Ryo 大木 良
FURUTA, Takeshi 楠田 勝夫
CHANG, Kal-Lung 張 嘉隆
DOERNER, Scott ドイナー スコット
TOYOTA, Selva トヨタ 雪矢
KOGA, Kunio 小賀 公に
SIMPSON, Matthew [13] シンプソン
GONG, Mao-Xin [2] 宮 茂新
LIN, Tzu-Yang 林子揚
KOIZUMI, Tatsujirō 小曾我 勝次郎
ASAKURA, Makoto 阿倉 马徳

3月16日 |
大会まであと1日

宿泊開始

一般ワイルドカードの予選が始まる。本戦選手がコートにやってきて、サイン＆プラクティス。この日からセミナーハウスに宿泊開始。



セミナーハウスは8人部屋。大会終了まで全員が宿泊

3月19日 |
本戦1日目

本戦スタート!

いよいよ本戦開始。専門誌をはじめ、マスコミの方が多く集まり、プレスバスやパンフレットを渡して対応する。今日からラインズマンが入るので、朝から気合いを入れて練習。試合後、初の洗濯注文を受ける。夜中にプラクティスコート予約の電話がかかってきたり、デイリーパンフレットやブログの更新に追われたりと、慌しい雰囲気に。試合は篠川が1回戦を突破してATP1ポイントを獲得、学生として2人目のATPランカーに。



ラインズマンは毎朝、大声で練習

3月20日 |
本戦2日目

杉田選手が登場!!

シングルス1R、ダブルス1Rが行なわれる。デ杯の活躍もあって注目された杉田祐一選手が勝利し、盛り上がる。



ランドリーサービスは外国人選手がよく利用してくれた。最初500円だったがちょっと高いのではという話になり、300円にしたところ急に注文が増えた



デイリーパンフレットは夜原稿を書き、翌朝にコピー。学校も印刷所も開いていないので、近くの病院の売店でコピー機を使わせてもらう



ドローボードに本戦選手の顔写真を貼ろうというアイディアが出る。多くの選手が快く協力してくれた

1日のスケジュール

06:30	起床
07:00	朝食 (食べ終わったら各自コートへ)
07:30	コート集合
08:30	掃除、準備
09:00	選手が来始める、サインアップ
10:00	プラクティス
	試合開始 (各係が就く。時間があつたら試合観戦。運営に慣れてきた大会後半は夕方から練習練習練習…)
18:30	試合終了後、片付け
19:00	夕食→入浴
21:00	ミーティング (係ごとに今日の報告、反省点、意見などをチーフが発表。こうしたらしいんじゃないかと思うことを毎日話し合う)。ミーティング後は自由時間(自分の仕事が終わったら就寝)

3月21日

本戦3日目

祝日で大盛況

シングルス2R、ダブルス1Rが行なわれる。祝日だったので、地元の方やOBの方もたくさんきてくれた。小学生対象のクリニックも開催。また、鈴木貴男選手がきてくれたので、体力測定に参加してもらおう。次回の早稲田大フューチャーズに参戦する韓国と中国のデ杯選手が練習しに来たので、どんなメニューを行なっているか調査する。



土井貴弘選手(左)、杉田貴弘選手(右)がアンケートに答えてくれた

3月22日

本戦4日目



選手のサインを集めたサインボードはすばらしい記念

折り返し地点

大会も折り返し地点。みんな気持ちは少し余裕が出てきて、細かいことにも気づくようになる。シングルスは2R、ダブルスは準決勝が行なわれる。注目の杉田選手はフルセットで惜敗。

3月23日

本戦5日目

強風が吹き荒れる

シングルスは準々決勝、ダブルスは準決勝に入。風が強く、本部の資料が飛んでしまったり、スコアボードが倒れそうになったり……。夜のミーティングでは、明日のダブルス表彰式に向けて会議を行なう。

杉田選手にサインをもらう



近藤大生選手(左)がTシャツをお買い上げ。漢字が受け取れて、外国人選手も購入してくれた

OGでもある岡本聖子さんが会場を訪れ、体力測定に参加してくれた



杉田選手にサインをもらう

3月24日

本戦6日目

ダブルス表彰式で感激

ダブルス決勝戦でOBの佐藤博康選手が登場。選手入場では、学生が花道をつくり、会場を盛り上げる。惜しくも準優勝だったが、「母校のフューチャーズに出られるとは思いませんでした。学生が本当にがんばってくれて、よい一週間を過ごせました。今後も継続して頑張ってください」と激励の言葉をもらった。最後に選手、スタッフ、そして観客の方もいっしょに写真撮影を行なう。



ダブルス表彰式



初めてボーラーが入る



クリニックおよびプリヂストン試打会を開催

最終ミーティング

決勝戦に向けての最終ミーティング。学生の疲れはピークに達するが、監督からは「明日、達成感を感じたとしても、それで終わりじゃない。この経験をどう生かすか、すぐに考えろ。『やりっぱなし』で終わるな!」と喝を入れられる。川辺さんからは表彰式の改善点、雨天時の対処法など、細かいチェックが入る。



サプライズパーティー

ミーティング後、4年生から再び招集がかかる。何が始まるのかと思いつかず、「これまでについてきてくれてありがとう」と特大ケーキのプレゼント!

体はきつかったが、「最終日、これまでの総決算として絶対に成功させよう!」という元気が湧いてくる。

3月25日

本戦最終日

初代チャンピオンに林(イム)選手

最終日の朝は土砂降りの雨。午前中に止んで、素早くコート整備を行なうも、またすぐに降り出すというアンラッキーな事態に。しかし、雨天時の対処法は前日に確認できていたので、みんな慌てず臨機応変に対応。こうして14時に決勝が開始し、韓国のイム選手がベテラン茶園選手をフルセットで下して優勝した。表彰式は昨日の反省を生かしてスムーズに進む。



新聞紙やタオルも使い、大急ぎで乾かす



記念すべき初代チャンピオンは韓国のイム選手(左)、右は準優勝の茶園選手

決勝戦前、選手の名前やプロフィールをアナウンス



雨だったにもかかわらず、多くの観客が集まつた

感動のフィナーレ

表彰式後、花道をつくて選手を送り出す。すると、学生から「監督も通ってください!」との声が。コートの隅でひとり号泣していた監督を、学生が引っこ取り出し、拍手喝采の花道を通す。「学生たちが日々に成長していくんだよ。みんなエキサイトして一生懸命やっている姿がうれしくて。こいつら、すごいな。本当にやてくれたんだなと思ったら…感動しちゃったよ」(監督)。



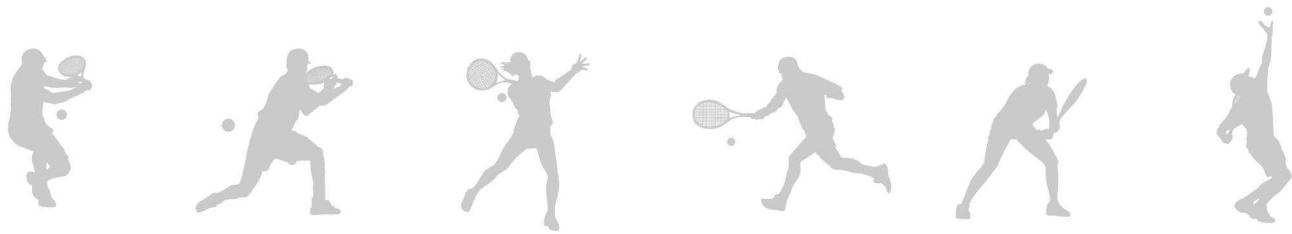
学生たちに囲まれ、監督は大粒の涙



最後に皆で写真撮影

「世界の壁は厚い。
でもそれを破っていくことが大事だ。
そのエネルギーを感じたんだから、
やるしかないだろう」(堀内監督)





チャリティーテニスクリニック

亞細亞大学国際オープンテニス個人スポンサーの方々



● 4/16 サービス編



● 5/14 サービス編



● 5/21 ストローク編



● 6/18 ネットプレー編



● 6/25 サービス編



● 7/23 ジャイロ400・フォアハンド編



● 10/8 サービス編



● 10/15 リターン編



● 10/29 バックハンド編



● 11/5 ボレー編



● 11/12 サークルスクラッチ・サービス編



● 12/10 ジャイロ400・ストローク編



● 12/24 サービス編



● 1/14 サービス・リターン編



● 1/21 ボレー編



● 2/4 ストローク編



● 2/18 バックハンド編



● 2/25 戦術・ポイント編

1年間で約20回のチャリティークリニックが行われ
総勢400人ちかくの方に参加して頂きました。
参加費用はすべてフューチャーズの運営費として使わせて頂いています。
フューチャーズの運営や試合に出る選手は
感謝の気持ちを持って取り組んでいきます。
また、チャリティークリニックがより良いものとなるように学生一同頑張りますので
またのご参加お待ちしております。

2017ご協賛いただきました企業・団体・個人の皆様

【企業・団体の皆様】

ブリヂストンスポーツ セールス ジャパン株式会社 〒105-6128 港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル	株式会社NIPPO 〒103-0028 中央区八重洲1-2-16 TGビルディング	株式会社テニスユニバース 〒183-0012 府中市押立町2-15-18	東急建設株式会社 〒150-8340 渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル
株式会社大都 〒552-0022 大阪市港区海岸通2-1-11	東京急行電鉄株式会社 〒150-8511 渋谷区桜丘町31-2 東急桜丘町ビル	株式会社アドヴァン 〒150-0001 渋谷区神宮前4-32-14	株式会社ロイヤル・アーツ 〒153-0042 目黒区青葉台2-16-11
橋本総業株式会社 〒103-0001 中央区日本橋小伝馬町9-9	株式会社ゴールドワイン 〒150-8517 渋谷区松濤2-20-6	合資会社アオヤマ 〒430-0932 静岡県浜松市中区肴町316-2	ヨネックス株式会社 〒113-0034 文京区湯島3-32-13
高木工業株式会社 〒112-0004 文京区後楽1-1-13 小野水道橋ビル5F	ダイドードリンコ株式会社 〒233-0013横浜市港南区丸山台3-40-1	株式会社 やまやコミュニケーションズ 〒813-0062 福岡県福岡市東区松島 5-27-5	有限会社藤野企画 〒190-0015 立川市泉町935-1 立川ルーデンステニスクラブ内
株式会社レック興発 〒151-0053 渋谷区代々木2-29-15 キクスイ南新宿ビル1階	エールインドアテニスクラブ 〒950-0983新潟市中央区神道寺2-1-16	ウインザー商事株式会社 〒190-0023 立川市柴崎町3-8-1 NAOビル1階	GSチャレンジ財団 〒155-0032 世田谷区代沢3-6-15
あきる野不動産株式会社 〒197-0804 あきる野市秋川3-6-1	三洋紙業株式会社 〒121-0824 足立区西伊興3-15-25	角辻医院 〒569-1142 大阪府高槻市宮田町2-16-14	グリーンテニスプラザ 〒334-0057 川口市安行原1646
ホリパインターナショナルテニス 〒106-0044 港区東麻布1-8-8 タワーサイドビル飯倉7階	株式会社ラケットショップフジ 国分寺店 〒185-0021 国分寺市南町3-19-1	スポーツサーフェス株式会社 〒103-0022 中央区日本橋室町4-2-10	東急エージェンシー 〒107-8417 港区赤坂4-8-18
東京学館新潟高等学校 〒950-1141 新潟市中央区鐘木185-1	名古屋高等学校 〒461-8676 名古屋市東区砂田橋2-1-58	県立岐阜商業高等学校 〒502-0931 岐阜市則武屋敷1861-6	浦和学院高等学校 〒336-0975 さいたま市緑区代山172
学校法人菅生学園 東海大学菅生高等学校 〒197-0801 あきる野市菅生1468	全日本学生テニス連盟 部長監督会 〒101-0052 千代田区神田小川町3-6-9 神田第2アメックスビル7階	関東学生テニス連盟 部長監督会 〒101-0052 千代田区神田小川町3-6-9 神田第2アメックスビル7階	関東テニス協会 〒151-0072 渋谷区幡ヶ谷1-1-2 朝日生命幡ヶ谷ビル2階
日本テニス学会 〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学	亜細亜学園学友会 〒180-8629 武藏野市境5-24-10	亜細亜学園体育会 〒180-8629 武藏野市境5-24-10	日の出町 〒190-0192 西多摩郡日の出町 大字平井2780

【個人・卒業生の皆様】

太公望 〒197-0804 あきる野市秋川1-2-6	ユニーク 〒190-0182 日の出町大久野8245-3	カラオケルームアデン 〒197-0804 あきる野市秋川2-2-2	塩野谷明
酒巻昭浩	高橋敬一	旗手ひかる	毛塚欣治
田中 晃	柴 廣一	阿部丈晴	右川史子
岡村麻千香	宇田川裕	✿	✿

上記に掲載させていただきました、企業、団体、個人、卒業生の皆様から、国際大会運営にご協賛を頂きました。皆様からのご厚意に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。
大変失礼ながら、誌面の都合上、敬称を略させていただきました。ご容赦ください。



世界がやつてきた。 日の出に

2007年亞細亞大学国際オープンテニス・総括

文◎武田 薫
記事提供◎テニスマガジン(2007年6月号)

思

い出せば、けっこう不思議な光景だった――。

東京の西の最果、武蔵野の面影残る日の出町は土砂降りの日曜。上がった雨が、また泣き出しそうな黄昏ときだ。ジャージ姿の学生たちがコートサイドに集まり、そこから女子大生の肩を抱いた中尾彬が転がるように現れた。女子大生は泣きじゃくり、中尾も大粒の涙。学生たちは胴上げとか笑いながら、いや、泣いている者もいた……。

よく見ると、中尾彬ではなく“ホッチ”こと亞細亞大学硬式テニス部の堀内昌一監督、よく見れば、英文の横断幕がネットに揺れている。〈F1亞細亞大学国際オープンテニス2007〉——3月から展開された男子テニスのフューチャーズ5大会、その幕開け、F1亞細亞が終わったところ。監督と女子学生が

涙する昭和の卒業式のような光景は、彼らにしかわからない物語だった。しかし、彼らだけの物語ではなかった。

フューチャーズは、ATPツアーのもとも下位の大会である。本戦で1勝して1ポイント、優勝すれば12ポイント獲得できる。F1亞細亞は本戦32ドローに予選は64ドロー、さらに予選のワイルドカード8本のうち4本を公開して予備予選(32ドロー)を行なっている。8勝してやっと1ポイントを手にする勘定になる。

1ポイントで念願の世界ランク1518位タイ、ざっと500人の名前が並んでいる。四大大会の予選カットは250位前後で、最低150ポイントは必要だ。ロジャー・フェデラーの7715ポイントは、なんと遙かなるアラモだらう。

「学生たちにランキングを持つチャンスを与え、学生テニスも世界と結びついでいることを再確認したい」というのがフューチャーズ主催に名乗を上げた理由だが、堀内監督の思惑はそこだけに止まらない。

日本には、以前からこうした大会は存在した。堀内監督も日本体育大学で活躍していた80年代前半、メーカーなどが主催して春季サーキットが開かれ、ジャパンオープン(現・楽天オープン)もそうした流れから誕生している。90年代にもサテライトが開かれたものの、辛うじて鈴木貴男をグランドスラムに送り出したくらいの成果しかなかった。

フューチャーズの登場でポイントが取りやすくなるとはいって、世界と結びつけ

ば近隣の強敵たちも来日する。終わってみればF1亞細亞では、ベテラン茶圓鉄也の8ポイントを筆頭に近藤大生が2、ほかに6選手が1ポイント獲得し、学生は杉田祐一(早稲田大・三菱電機)と亞大の新1年生・篠川智大がゲット。

杉田は〈学生〉の対象外だから、日本選手、まして学生のポイント獲得が難しいことには変わりがないのだ。ただ、これは想定内だった。テニスはやって楽しく、見て楽しい。読んで楽しい人は少なく、運営の楽しさを知った人も多くない。F1亞細亞は日本初、川廷尚弘スーパーバイザーによればアジア初の学生の自主運営による大会だった。

学生運営の大会は、堀内監督の20年来の夢だったという。早稲田大学との絡みでその機が巡ってきた。この秋、早稲田大は創立125周年を迎え、大々的に記念行事が行なわれる。杉田や卓球の福原愛の部外入学、ハンカチ王子こと齊藤祐樹投手の話題づくりとともに、早稲田大庭球部のフューチャーズ開催も記念行事活動と連動している。この動きを見て、単独では名乗りを上げられなかった亞細亞大が、千載一遇のチャンスとばかりアプローチショットを放って、ネットに出たのである。

「僕もアメリカに留学してサテライトを回りました。大会は手づくりの素朴なものでした。これまでの日本のフューチャーズも、みなさんが一生懸命手伝って温かい大会になりましたが、それを学生にやらせたかった。人と接することでたくさんのことを学び、テニスを別の角度から見ることで、テニスがもっと面白く、好きになれるはず」

自分たちのポイント獲得だけが目的ではないから、ワイルドカードの特権を他校の学生にもジュニアにも分けている。



平成19・20年卒業生がこの石碑を部室の前に立ててくれた。F1亞細亞大学国際オープンテニス2007開催を記念して、ここに紹介したテニスマガジン掲載記事と『大学から世界へ~学生の学生による学生のための国際大会開催の地』という文字が彫られている

予選には、内外から107人のプレーヤーが日の出町までサインアップにきた。55人の部員は選手全員の練習コートを手配、準備しなければならない。セミナーハウスを一泊二食付3000円で宿舎に開放し、近郊の昭島や八王子に滞在した選手の送迎の世話、洗濯の案内、自転車のレンタル、ツアープロの命綱・インターネット利用のため、大学から10台のコンピューターを借りた。画期的なディリープログラムの作成にブログの逐次更新。国際大会だから英語表記あり……。予算は限られていたから、試合進行とこうした周辺作業すべてを、学生自らの手でこなさなければならない。

運営が学生だろうが、選手からは手厳しい注文が飛び込んでくる。

「使わなかったボールは練習で使うから、返さないよ。練習ボールと質が違う」と言い張ったのは、ニュージーランドから予選参加したアダム・トンプソン、デ杯代表でもある。

「一応プロだ。いまは親が援助してくれる。もう24歳だから精神的にきつくてね。ホテルは一泊80ドルだぜ。ニュージーランドならヒルトンホテルに泊まる。どうしてもランキングを上げたいんだ」

健闘空しく予選落ちすれば、日本選手は恵まれているとヤケにもなる。シングルス本戦のWCをもらった大塚真之助は、1回戦敗退と同時に賞金・会計担当補佐に回っている。

「ボールの手配や水の準備、これまで当たり前に思ってきたことがけっこうたいへんで、貴重な経験でした」

あとから「何度計算しても5000円少なくて」と電話があり、慌てたこともあった。デスクの向こう側に座って初めて聞くツアープロのナマの声——間違いなく、

学生たちがテニスを見る目は変わっただろう。

ダブルスで準優勝した亞細亞大OBの佐藤博康がこんな感想を話した。

「日の出町でフューチャーズをやるとは思わなかった。OBとしてうれしいし、決勝を戦えてよかった」

日の出町という地域性も、このF1亞細亞の特徴だ。

日の出町は、1983年、中曾根康弘元首相の別荘での米国ロナルド・レーガン大統領とのロンヤス会談で話題になったことがある。新宿から中央線の立川で乗り換え、拝島で単線の五日市線に移って武藏引田駅下車——駅からの道端に野菜の無人販売所があり、テニスのプロ大会の開催地でこれほどの遠隔地はかつてのハケ岳くらいなものだろう。だが、フューチャーズは観客ではなく選手のための大會というところがミソなのだ。雨の中を訪れた青木國太郎町長はご祝儀を手にうれしそうである。

「26年前にゴミ焼却場を誘致してから、自然とスポーツがこの町のテーマでした。モラルを尊重するスポーツは、町民平和に結びつく。まして初めての国際大会です。ますます発展することを切に願っています」

学生は近隣住民にテニスクリニックを行い、地元の人たちはうどんコーナーを切り盛りし、商工会が特産品を並べて一体感を味わっていた。

かつて、デビューしたてのアンドレ・アガシが出席したボストン郊外の大会を取り材した。夕方になるとバーベキューの煙がコートに流れ、近所の人たちがビール片手にワイワイと賑やかだった。堀内監督にはそんなイメージもあり、地元アピールの場になればそれはまた別のおも

しろい展開になるかもしれない。

『世界は日の出を待っている』ではなく、日の出に世界がやってきた……。

大会中、寝泊りをともにした川廷スーパー・バイザーは二重丸をつけた。

「学生たちは毎晩反省会を開き、いつも交換するなど自分たちで決めてアドバイスを求めてきた。もっと教えなければいけないと思っていたんですが、いやあ、楽でした」

茶圓も「若いから、テキバキして気持ちよかったです」と拍手を送り、優勝した韓国の林奎泰はこうだ。

「学生だけで大会運営をやるなんて信じられませんよ。残念ながら、韓国の学生には真似できないな」

そんな声を聞けば、小川春男学長も、決勝戦の寒い中、朝から夕方まで付き合った甲斐があった。

「国際大会に相応しい緊張感あふれる試合でした。学生諸君も、雨の中で緊張感を維持し立派だった。いい勉強になったでしょう」

最終日は雨で試合開始が5時間も延期され、そのことも運営の経験になったと言うはたやすい。だが、すべてが初めてであり大きなリスクをともなう賭けだった。冒頭の不思議な光景、堀内監督の涙がその舞台裏を思わず物語っていた。

さて、このチャレンジは誰にでも可能だっただろうか。誰もが、いきなりアプローチショットを叩いてネットに出られるとは限らない。

テニスは大学の中だけでも日本の中だけでもない、世界を目指すことを忘れるな——堀内監督、森稔詞コーチの日常的な指導方針が下地にあることを忘れてはいけない。日の出町に出現した日本の新しいテニス風景に、期待したい。

『2007亞細亞大学国際オープンテニス』ダブルス決勝のあと、大会スタッフとして働いたテニス部員も加わり、入賞選手を囲んで記念撮影。中央にいる2ペアが優勝、準優勝ペア。右の2人が、惜しくも準優勝だった亞細亞大学OBの佐藤博康とそのパートナーの黎明



あなたも
サポーター

亜細亞大学国際オープンテニス チャリティーテニスクリニックに ご参加ください!

このクリニックの収益はすべて国際大会運営費に充てられます。

よってクリニック参加のみなさまは

大会サポーターであるとともに亜細亞大学テニス部のサポーターでもあります!

“テクニカルシリーズ”開講中!

2007年にスタートした『亜細亞大学国際テニス大会～チャリティーテニスクリニック “テクニカルシリーズ”』は、これまでに年間およそ20回、2017年現在までを数えるとおよそ200回ほど開催してまいりました。

クリニック開催の目的は大きく分けて2つあります。ひとつはテニス部員と一

般プレイヤーのみなさまとの交流機会を増やしたいということ。そしてもうひとつは、このクリニックでいただく参加費を『亜細亞大学国際テニス大会』の大会運営費用に充て、みなさま方ひとりひとりに大会サポーターとなっていただき、さらには、亜細亞大学テニス部のサポーターになって、応援していただきたいという思いがあります。

クリニックの講師は、テニス部の堀内

昌一監督、森稔詞コーチ、宮崎靖雄コーチのいずれかが務め、現役部員がサポートして、各回テーマに沿ったていねいな指導を心掛けています。もう一段階向上したいとお考えのテニスプレーヤーのみなさまに対して、期待に応える内容をご提供したいと思います。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

亜細亞大学テニス部一同

テーマは“テクニカルシリーズ”として細かく設定

例 サービス編 | レシーブ編 | ストローク編 | ボレー編 | プライベート編 など



情報およびお申し込み方法は、随時ブログに更新中!

亜細亞大学テニス部ブロガーEVER UPWARD!(意味は「限りなく向上せよ」)

<http://autennis.livedoor.biz/>

参加者を代表して

下田 敏雅さん



亞細亞大学テニス部との出会いで、テニスの面白さを実感出来、また改めて継続していくと感じました。

亞細亞大学庭球部関係者各位殿

この度は、テニスクリニックの感想の御依頼、御指名頂きまして誠に有難うございます。私は、文才は御座いませんが少しでもクリニックの体験の良さをお伝え出来ればと思っております。

まず、参加の切っ掛けは、他所で堀内監督・森コーチにテニスの御指導を受ける機会が有り、亞細亞大学でもクリニックをされておられる事を知り、幾度も参加させて頂くようになりました。

次にクリニックの感想です。

私にとって最初の収穫は、テニスエルボーになりかけた時、クリニックに参加したこと、体の機能的な使い方を教わり、大きな故障を未然に回避しテニスが出来た事です。テニス仲間は、現在テニス肘で痛みと戦っております。おかげさまで私は痛みとは現在無縁です。

次の収穫は、今更ですが再度基本を教わったことにより、少しづつ試合でのラリーが安定してきました。各上の対戦相手に対して以前は不安を抱いておりましたが、勝敗は別にしてミスが少くなりゲームが少し楽しめるようになりました。現在下部ですが、実業団の対抗試合に出場させて頂き、団体戦なので特に勝ちを意識しますが、ベースになる球が安定的に打てるようになってから、戦術戦略を考えられるようになりました。勝ち進めるのは大変嬉しいです。

次の収穫ですが、クリニック参加で御指導頂く学生さんやテニスを上達したいと志が同じ他のクリニック生の方々と多くお知り合いにな

れた事です。知り合いになった学生さんが学生の大会で御活躍されている試合を行ないますと、試合のテクニックや応援が自分にとってとても参考になり、実業団の試合にも生かせます。また、他のクリニック生様とは、志が同じせいか意外と悩みが共通なので、第三者の立場から悩みを理解でき、自分の弱点の改善に役立ちました。

最後の収穫ですが、クリニックの参加費用が、フューチャーズの大会に充てられ開催されますので、プロ選手の試合やテクニックが大学のコートで間近で観戦出来ます。また、プロ選手と知り合える切っ掛けが有り、その選手が他の大会でも御活躍されると、何か訳もなく大変嬉しいです。有明コロシアムでお会い出来ますと、声を掛けずにいられません。

このような素晴らしい機会をお与え下さいまして大変感謝しております。

堀内監督・森コーチ・宮崎プロ

今後とも末永く、このクリニックを継続されることを切に願っております。



小原 崇さん



熱心に取り組んでくれるテニス部の皆さんとテニスをするのが楽しくて楽しくてしょうがないのです。

ます。

1.指導者(監督、コーチ)の説明が

分かりやすく、実行しやすい

夫婦そろって30過ぎてからテニスを始めることもありはある程度理論的に説明してもらえないとなかなか実行できないことが多いのですが、説明が非常にわかりやすく納得して取り組むことが出来ます。また、個別へのアドバイスが非常に適切ですぐに成果が出ることが多いです。この辺りは多種多様な部員を一人前の選手になるように指導してきた経験が大きものを言っているように感じます。

2.テニス部の皆さんのが熱心で

接していく心地よい

クリニックでは生徒2~3人に一人といった割合でテニス部の皆さんのが指導についてしっかりこちらのプレーを見てサポートしてくれる体制になっています。テニス愛好家という立場でこのレベルのプレイヤーがマンツーマンに近い形で見てくれるという環境はなかなか無いと思います。

また、教える事の上手い下手といった個人差は当然ありますが皆さん非常に熱心でなんとか上手くなつて欲しいという熱意が伝わってきますので自ずとこちらもその思いに答えるといふ気持ちがわいてきてモチベーションが高まります。

3.日本テニスの発展に

多少なりとも貢献できる

チャリティークリニックの収益は毎年3月に亞

細亞大学で行われるフューチャーズ大会の開催資金に充てられます。錦織圭選手らの活躍でグランドスラムなどでの大会の注目度が高まっていますが、ほとんどのプロテニス選手はまずフューチャーズ大会でポイントを稼ぐことによってさらに上のレベルにチャレンジしていきます。この登竜門であるフューチャーズ大会はアメリカやヨーロッパではほぼ毎週のようにどこかで開催されていますが日本では数が少なくプロとして活躍する最初の時点での日本の選手はハンデを抱えていると言えます。そういう意味でも亞細亞大学などで春先に開催されるフューチャーズのシリーズは日本人選手にとって非常に重要な位置づけとなっています。チャリティークリニックに参加することでフューチャーズ大会の開催に協力できるという事は日本テニスの発展に多少なりとも貢献できるということにつながると言えると思います。テニスを教えてもらう上に日本のテニスにも貢献できるなんてなんて素晴らしいことでしょう!

これから出てくる若いプレーヤーのためにもフューチャーズ大会は続けて欲しいですし、そのための協力は続けたいと思っています。ただ、そういうのを抜きにしても素晴らしい指導者の教えを請いながら熱心に取り組んでくれるテニス部の皆さんとテニスをするのが楽しくて楽しいのです。夫婦してこれからも片道2時間の道のりを通り続けるつもりですので今後ともよろしくお願ひいたします。

2018亞細亞大学国際オープンテニス

F1 Asia University International Open Tennis

大会要項 (予定)

日程

予選	2018年3月3日(土)～5日(月)※	シングルス 64名 (DA56 WC8)
本戦	2018年3月6日(火)～11日(日)※	シングルス 32名 (DA20 QF8 WC4) ダブルス 16組 (DA13 WC3)

※予選サインイン 2018年3月2日(金) 午後6時まで 大会会場にて

賞金ブレークダウン

US\$15,000

	SINGLES (\$賞金・ポイント)	DOUBLES (/TEAM) (\$賞金・ポイント)
WINNER	2160 18	930 18
FINALIST	1272 10	540 10
SEMI-FINALIST	753 6	324 6
QUARTER-FINALIST	438 2	192 0
ROUND OF 16	258 1	108 0
ROUND OF 32	156 0	— —

2018亞細亞大学国際女子オープンテニス

Asia University International Women's Open Tennis

大会要項 (予定)

日程

予選	2018年3月17日(土)～19日(月)※	シングルス 64名 (DA56 WC8)
本戦	2018年3月20日(火)～25日(日)※	シングルス 32名 (DA20 QF8 WC4) ダブルス 16組 (DA13 WC3)

※予選サインイン 2018年3月16日(金) 午後6時まで 大会会場にて

賞金ブレークダウン

US\$15,000

	SINGLES (\$賞金・ポイント)	DOUBLES (/TEAM) (\$賞金・ポイント)
WINNER	2352 12	955 12
FINALIST	1470 7	515 7
SEMI-FINALIST	734 4	294 4
QUARTER-FINALIST	367 2	147 1
ROUND OF 16	294 1	74 0
ROUND OF 32	147 0	— —

ホテル	●東横イン東京秋川北口駅
試合方法	●トーナメント方式(ベストオブ3セットマッチ6ゲームオール後タイブレーク採用)
予選	●US40S
会場	●亞細亞大学日の出キャンパス テニスコート(ハードコート8面) 〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井1449-1 TEL042-588-5817 FAX042-588-5817

詳細は…

国際テニス連盟(ITF) <http://www.itftennis.com/procircuit/>日本テニス協会(JTA) <http://www.jta-tennis.or.jp/>亞細亞大学テニス部公式サイト <http://www.asia-tennis.com>

※2016年6月現在の予定。大会開催時期は申請済みです。